National

保管用 屋内専用

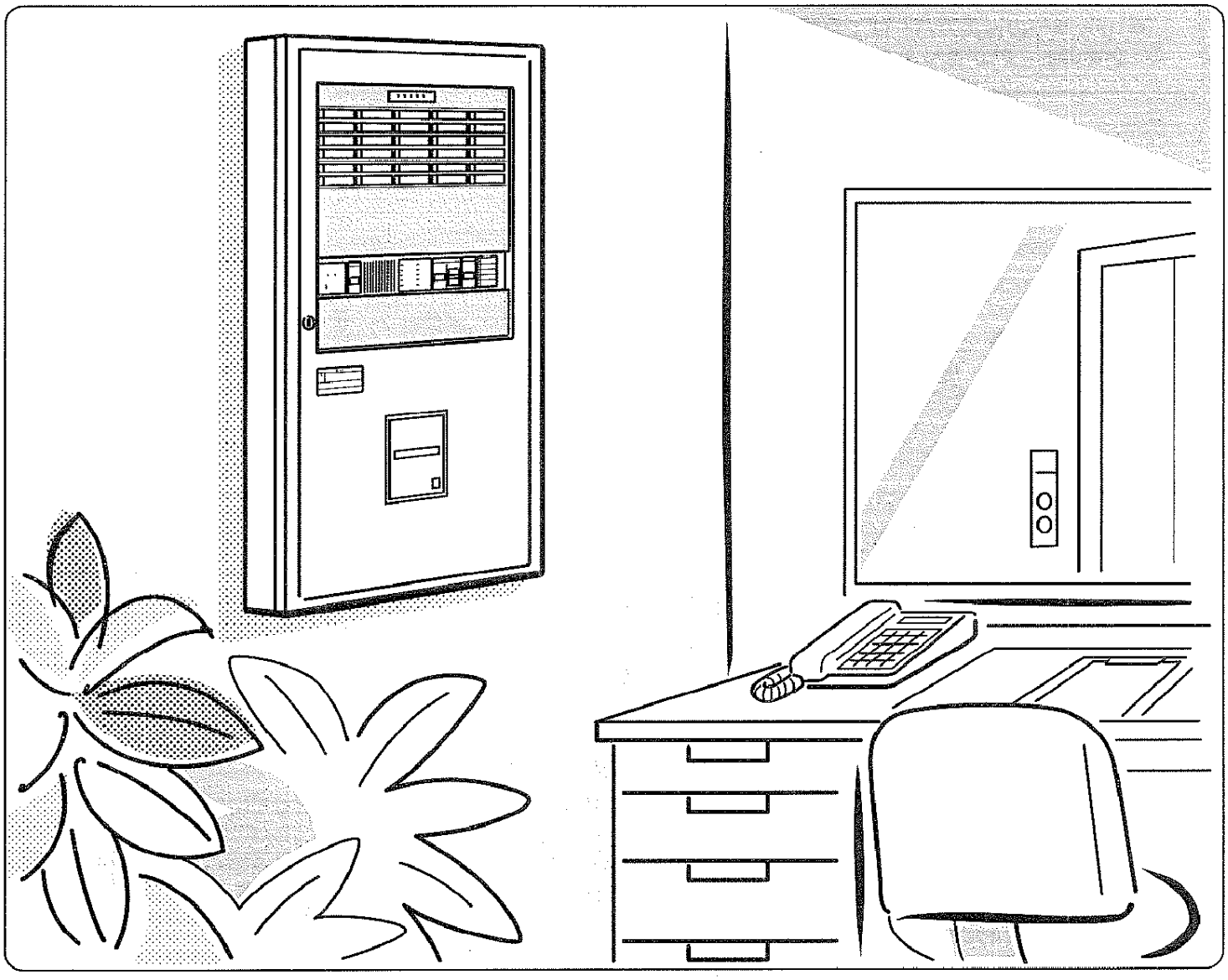
FR5

R型複合受信機

BVR210□□KH
BVR210□□2KH(部屋番号表示機能付)(□□は回線数)

施工説明書

●正しい施工をしていただくために必ずお読みください。



施工されるまえに

●施工するには電気工事士・消防設備士(甲種第4類)の資格が必要です。
●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書をお渡しください。
●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合は責任を負い兼ねることがあります。
●火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

●受信機の連動データなどのソフト設定内容の記録は施工責任者が保管してください。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

⚠警告

- ぬれた手で受信機をさわったり、水をつけたり、水をかけたりしないでください。
  感電・故障の原因になります。
- 電池は必ず接続してください。電池が接続してないと停電時に機能しません。
- AC100V専用です。接続まえに入力電圧の確認をしてください。
  それ以外の電圧では故障の原因になります。
- 受信機は施工説明書にしたがい、その質量に十分耐えるように強固に取り付けてください。
  安易な取り付けは脱落によりケガの原因になります。
- 100V端子の保護カバーは工事終了後、必ず取り付けてください。
  感電のおそれがあります。

⚠注意

- アースの接続は確実に行ってください。
  使用時や漏電のときに感電するおそれがあります。

もくじ

1. 付属品 ―― 1
2. 施工上のご注意 ―― 1
3. 機能設定 ―― 2～3
4. 地区表示・諸警報表示・その他のラベル表示について ―― 4
5. 取付方法 ―― 6～7
6. 全体の接続方法 ―― 8～9
7. 出荷時設定 ―― 10
8. 接続個数 ―― 10
9. 地区ベルとの接続 ―― 11
10. 非常放送設備との接続 ―― 12～13
11. 防排煙側との接続 ―― 13
12. 施工後の確認方法 ―― 裏表紙

1.付属品

■BVR210□□KHの場合（□□は回線数）

- ●取付用部品 工事用（終端器、プリンター用紙など）…… 1セット
- ●予備品 保管用（ヒューズなど）…… 1セット
- ●電話機…… 2台
- ●電池 ……1コ
- ●施工説明書（本紙） …… 1冊
- ●取扱説明書……1冊
- ●掲示板（自動火災報知設備の取り扱いについて）…1枚
- ●非常放送連動停止ご注意ラベル……1枚
- ●設定マニュアル……1冊
- ●設定シート……8枚
- ●設定表……5枚

■BVR210□□2KHの場合（□□は回線数）

- ●取付用部品 工事用（終端器、プリンター用紙など）…… 1セット
- ●予備品 保管用（ヒューズなど）…… 1セット
- ●電話機…… 2台
- ●電池 ……1コ
- ●施工説明書（本紙） …… 1冊
- ●取扱説明書……1冊
- ●掲示板（自動火災報知設備の取り扱いについて）…1枚
- ●非常放送連動停止ご注意ラベル……1枚
- ●設定マニュアル……1冊
- ●設定シート……9枚
- ●設定表……6枚

2.施工上のご注意

- ●この商品は 屋内専用 です。
  屋外・屋側には設置しないでください。
- ●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

■地区ベル接続時のご注意

- ●必ず受信機の地区ベル接続容量以内でご使用ください。

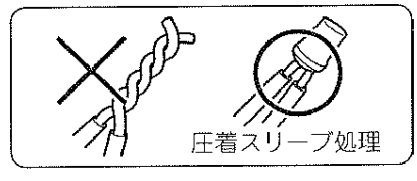
■次のような場所には設置しないでください。

（誤動作や故障の原因となります。）

- ●直射日光の当たる場所
- ●水滴、蒸気、ほこりなどがかかる場所
- ●周囲に操作上支障となる障害物のある場所
- ●衝撃、振動などの影響を受ける場所
- ●常に人がいなくてようすを確かめられない場所

施工時のご注意

- ●工事・施工時のゴミなどは機器の中に残さないください。
  ショートや故障の原因となります。
- ●電線接続部は圧着スリーブなどで行い、絶縁処理をしてください
  [電線をよじっただけでは、長期使用中に電線表面が酸化接触不良をおこし誤報の原因となります。]



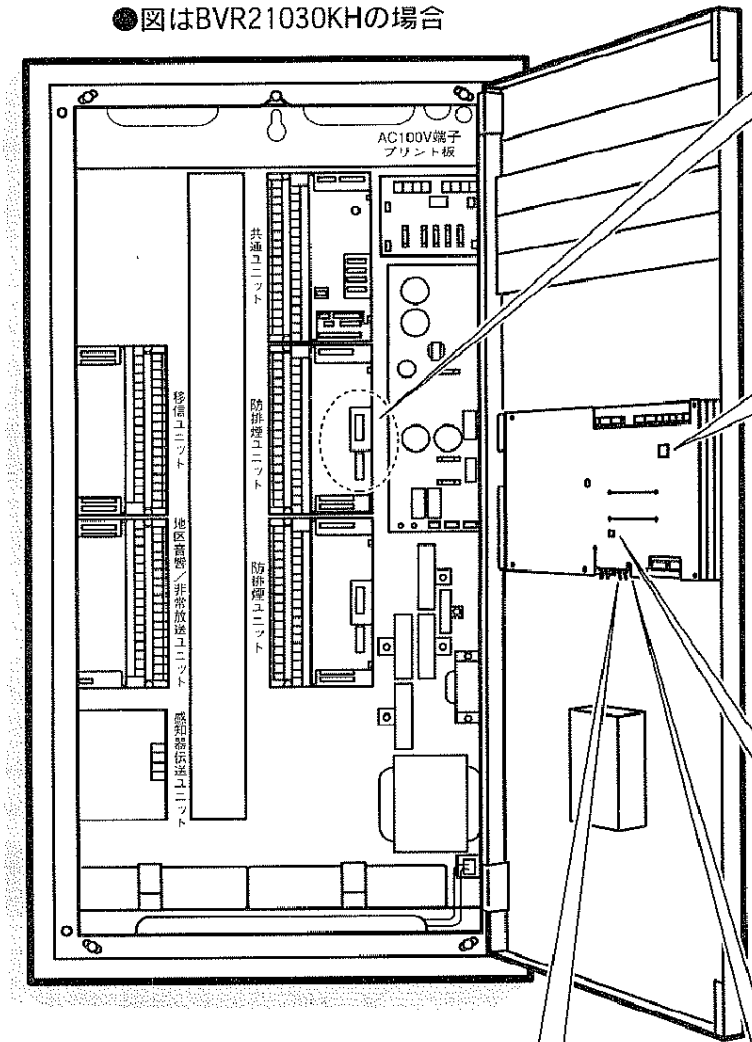
- ●接続方法に示す機器以外の機器を接続する場合には、当社へご相談ください。
  不適切な接続は誤作動・故障の原因となります。
- ●アースは必ず接続してください。（D種（第3種）接地相当以上（100Ω以下）としてください。）
- ●地区音響配線は、コモン線（BC端子）を各回線ごとに独立して配線し、終端に付属の終端器（BVS9903）を取り付け、終端器ラベル（付属）を貼り付けてください。
- ● FR アドレスアダプタ（BVR9450K）を接続したときは、2次側の感知器配線の終端に FR アドレスアダプタに付属の終端器を取り付け、終端器ラベル（FR アドレスアダプタに付属）を貼り付けてください。
- ●蓄積型感知器および蓄積式中継器・火災表示灯〔BV9402・BV9403K〕・中継リレー〔BV9475〕は、接続できません。
- ● IS 感知器および IS アドレスアダプタは接続できません。

3.機能設定

注 ●この受信機は自動試験機能を搭載しているため、トラブル音響の非鳴動設定はできません。
●自動解除時間(TA)、一斉鳴動移行時間(TC)を変更するときは、電池のコネクタを抜いて、交流電源スイッチを「切」側にしてから設定してください。

●自火報・防排煙兼用回線を自火報として使用する場合は、該当回線〔30回線の場合は、16～30回線(L16～L30)〕の地区ラベル(黄)を付属の取付用部品 工事用 の中の地区ラベル(白)と交換してください。

●図はBVR21030KHの場合

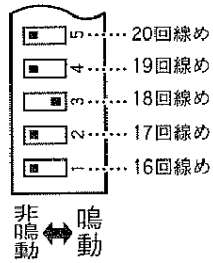


❶ 防排煙作動音響切替スイッチ

【例】〔16回線～25回線ユニットの場合〕

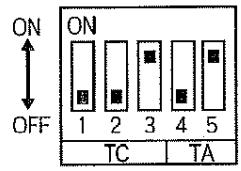
下図は、18回線めのみ「L18」を鳴動に設定した場合を示します。

※防排煙ユニットにあります。

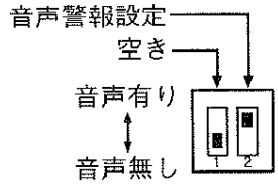


❷ タイマー設定スイッチ

●下図は一斉鳴動移行時間(TC)を約6分、自動解除時間(TA)を約4分に設定した場合を示します。

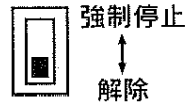


❸ 音声警報設定スイッチ



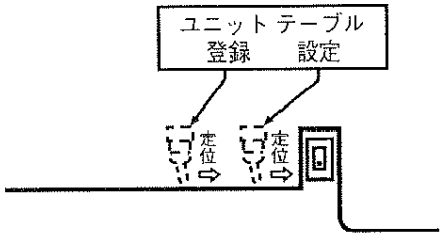
❹ 地区音響強制停止スイッチ

●図は解除に設定した場合を示します。



※このスイッチは使用しません。

注 ●左側にすると受信機は動作しません。
(「定位」側にしてください。)



❶ 防排煙作動回線(ロック作動時)の音響の鳴動・非鳴動の設定方法

出荷時設定
すべて「非鳴動」側

特定の回線を音響鳴動したい場合は、本体内部の防排煙作動音響切替スイッチを「鳴動」側にしてください。

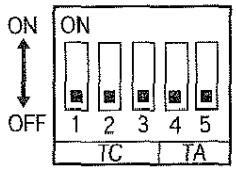
❷ タイマー設定スイッチ(取扱説明書13・14ページ参照)

●自動解除時間(TA)と一斉鳴動移行時間(TC)の設定ができます。

自動解除時間(TA) …地区音響鳴動時に地区音響一時停止スイッチで停止した地区音響の停止状態を自動的に解除して再鳴動させるまでの時間です。

一斉鳴動移行時間(TC) …火災第1報を受信してから地区音響を自動的に全回線一斉鳴動させるまでの時間です。

出荷時設定



●一斉鳴動移行時間(TC):約4分
●自動解除時間(TA):約2分

注

●自動解除時間(TA)の設定時間は、一斉鳴動移行時間(TC)より短くなるように設定してください。長くした場合は、一斉鳴動移行時間(TC)の設定時間に関係なく自動解除時間(TA)の経過後に一斉鳴動します。ただし、地区音響一時停止スイッチで地区音響を停止させなかった場合は、一斉鳴動移行時間(TC)経過後に一斉鳴動します。

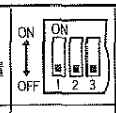
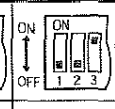
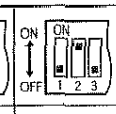
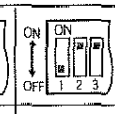
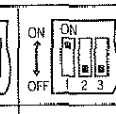
●一斉鳴動移行時間(TC)の設定が「OFF」の場合は、区分鳴動動作します。

●非常放送設備と接続する場合は、地区音響を区分鳴動させるために一斉鳴動移行時間(TC)を「OFF」に設定してください。

●非常放送連動端子(EF)は、発信機の発報が入ったとき、または第2報めの火災発報が入ったときに出力します。それ以外は出力しません。

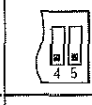
●一斉鳴動移行時間(TC)

※設定時間は所轄の消防署に確認してください。

タイマー設定スイッチの位置					
一斉鳴動移行時間(TC)	約4分	約6分	約8分	約10分	OFF 2・3の位置は「ON」「OFF」側のどちらでもかまいません。

●自動解除時間(TA)

※設定時間は所轄の消防署に確認してください。

タイマー設定スイッチの位置				
自動解除時間(TA)	約2分	約4分	約6分	約8分

❸ 音声警報の設定方法

出荷時設定
音声警報あり

●各警報を音声にて知らせる機能です。
音声警報を鳴動させない場合は、本体内部の音声警報設定スイッチを「音声無し」側に設定してください。

❹ 地区音響強制停止スイッチ(点検時のみ使用してください。)

出荷時設定
「解除」側 (地区音響鳴動あり)

●点検時、地区音響を鳴動させない場合は、地区音響強制停止スイッチを「強制停止」側にしてください。「強制停止」状態のときは、地区音響強制停止灯とスイッチ注意灯が点滅し、警戒中灯が消灯し、約1分間隔でピッ音が鳴ります。

点検終了後は、地区音響強制停止スイッチを「解除」側にしてください。

4.地区表示・諸警報表示・その他のラベル表示について

1. 地区表示

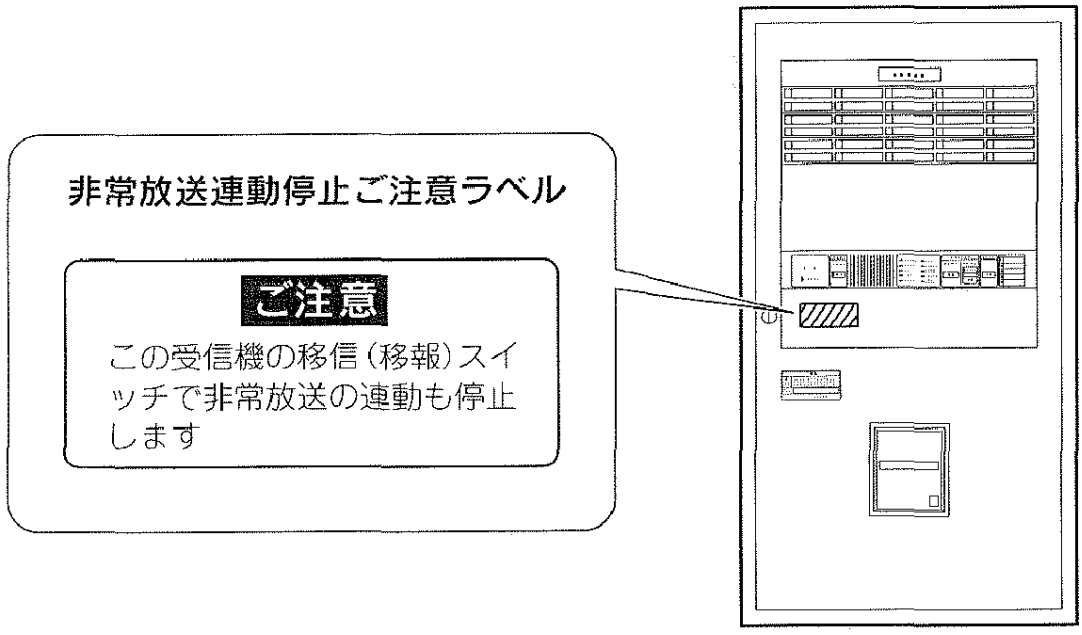
●取扱説明書の「地区ラベルの交換」(43ページ) を参照してください。

2. 諸警報表示

●取扱説明書の「諸警報台紙について」(44ページ) を参照してください。

3. 非常放送連動停止ご注意ラベル

●非常放送設備 (音声警報機能付) と接続する場合は、
付属の下記ラベルを斜線部に貼り付けてください。



4. 自動火災報知設備専用ラベル

●専用ブレーカーの近くに貼り付けてください。

5. 掲示板 (自動火災報知設備の取り扱いについて)

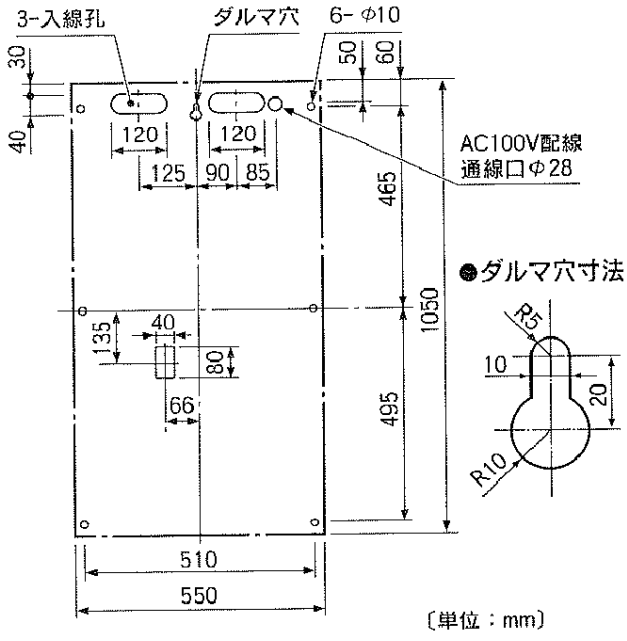
●受信機の近くに掲示してください。

MEMO

5.取付方法

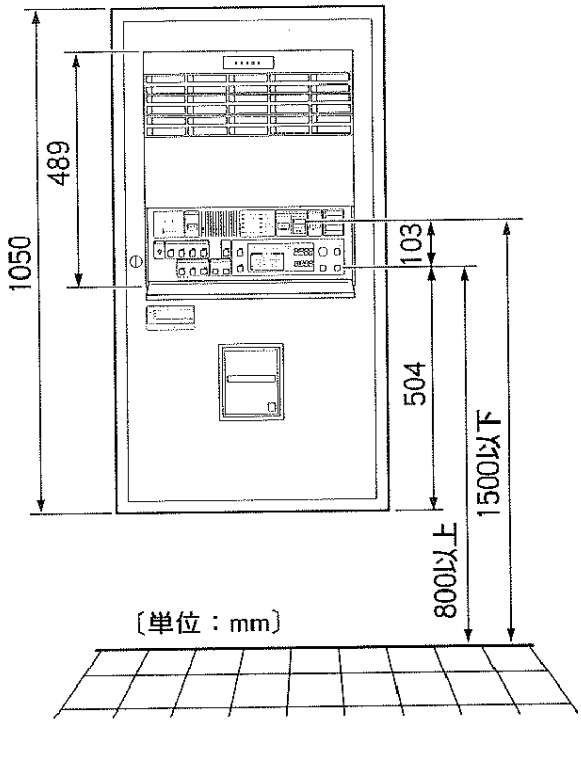
取付寸法図

●30～50回線の場合



〔単位：mm〕

図1 ●30～50回線の場合



〔単位：mm〕

1 取付位置を決め、取付用プラグボルトを打ち込む。

●プラグボルト(M8)(市販品)の打ち込みと、配線を引き込む位置は左図の取付寸法図のとおりです。
●中央部のプラグボルトは、露出ボックス取り付け時の位置決め用としてご利用ください。
●この商品の取付穴寸法はφ10です。
●露出ボックスの底上げは28mmです。
●AC100V配線と小勢力配線を左図の位置より引き出してください。

注 ●本体の操作スイッチ部が床面から800mm～1500mmの位置になるように取り付けてください。**図1参照**

2 入線を行う。

●AC100V配線および小勢力配線を分割して入線してください。

3 露出ボックスを取り付ける。**図2参照**

注 ●上下を間違わないように通線口が正面から右側にくるように取り付けてください。
●床面に対し、垂直になるように取り付けてください。傾斜角が大きいと受信機の扉の開き方が悪くなる場合があります。

4 露出ボックスに引っ掛け用ネジを取り付け、本体の扉をあけ、A部を露出ボックスのB部に引っ掛ける。**図3参照**

5 取付ネジ(4カ所)は、初めに仮止めする。

●本体の取付ネジ穴4カ所は、すべて長穴(5.5×14)となっていますので、露出ボックス側面に本体枠側面を合わせながら、取付ネジをしめつけてください。

6 配線する。 ※「接続方法」(8～13ページ)参照

注 ●AC100V配線を接続する場合、電源端子カバーをはずして接続してください。
●結線後、電源端子カバーを必ず元に戻してください。

7 交流電源スイッチを「入」側にする。

8 電池のコネクタを取り付ける。

9 本体の扉をしめる。

10 プリンター用紙をプリンターにセットする。

●取扱説明書の「プリンター用紙の交換方法」(45ページ)を参照してください。

移報端子接続表、諸警報地区窓部台紙、および
この台紙に貼る諸警報地区窓名称ラベルは、取付用部品 工事用 に入っています。

取扱説明書、施工説明書、設定マニュアル、設定シート、設定表は大切に保管してください。

図2

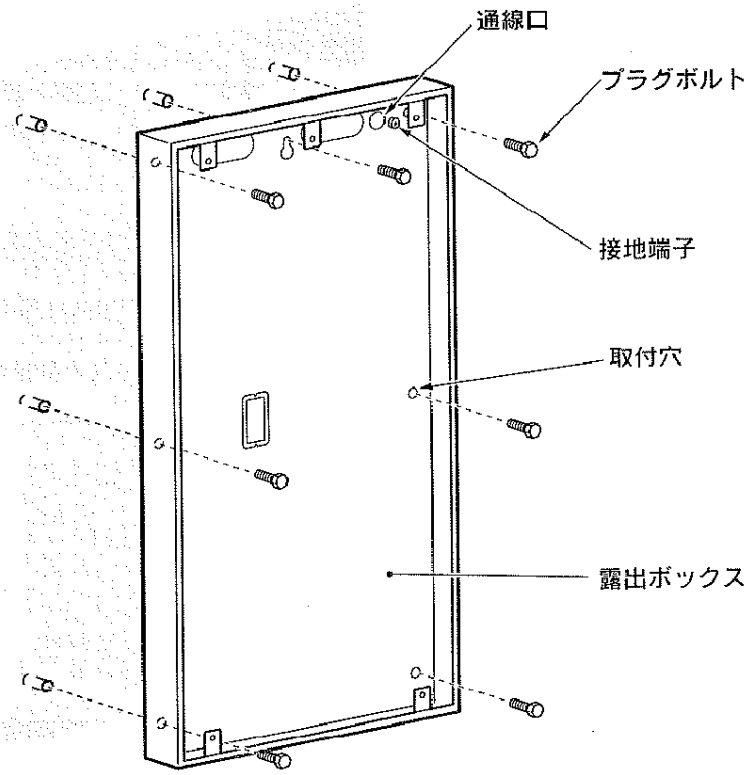
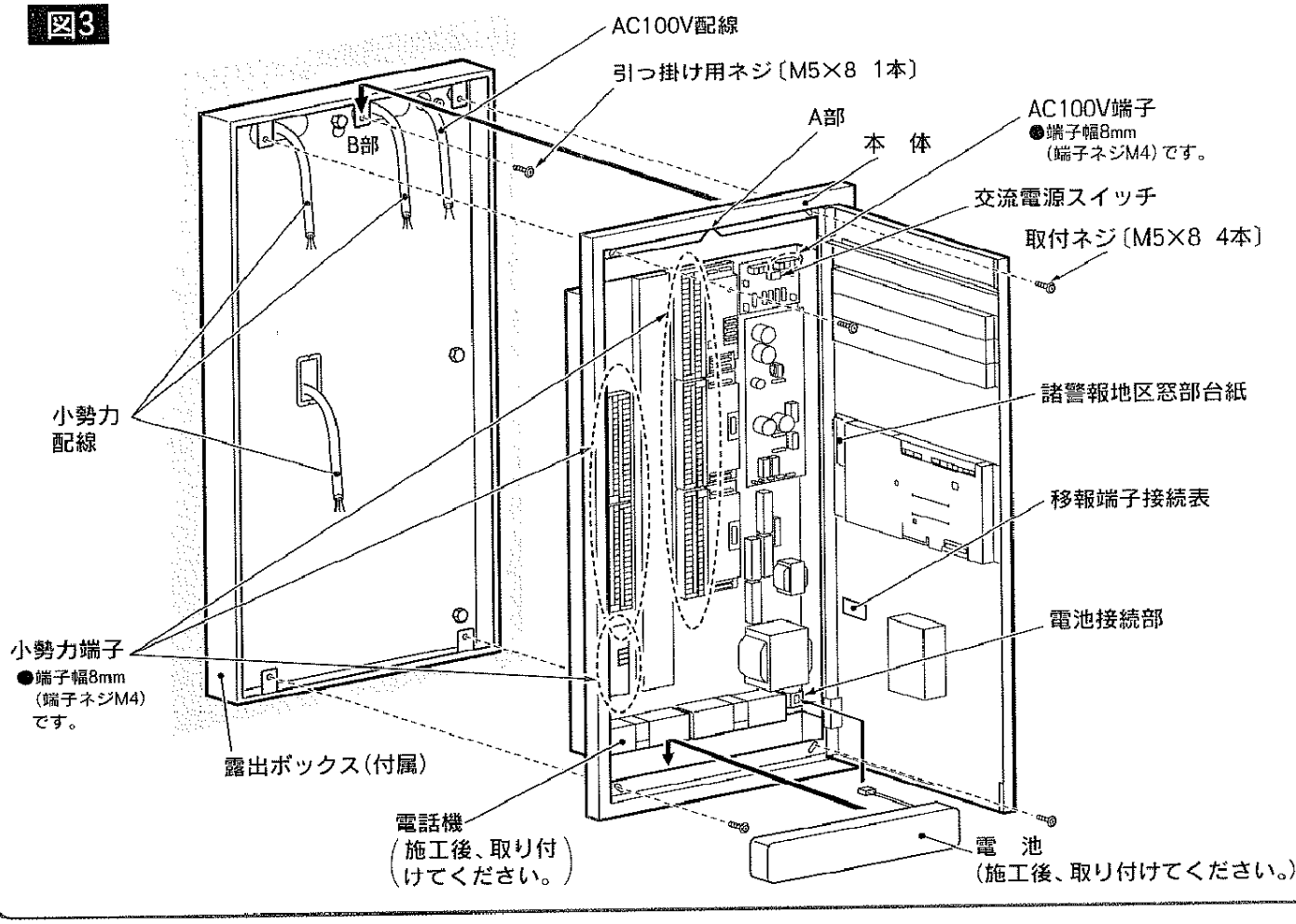

通線口
プラグボルト（M8）
接地端子
取付穴
露出ボックス

図3

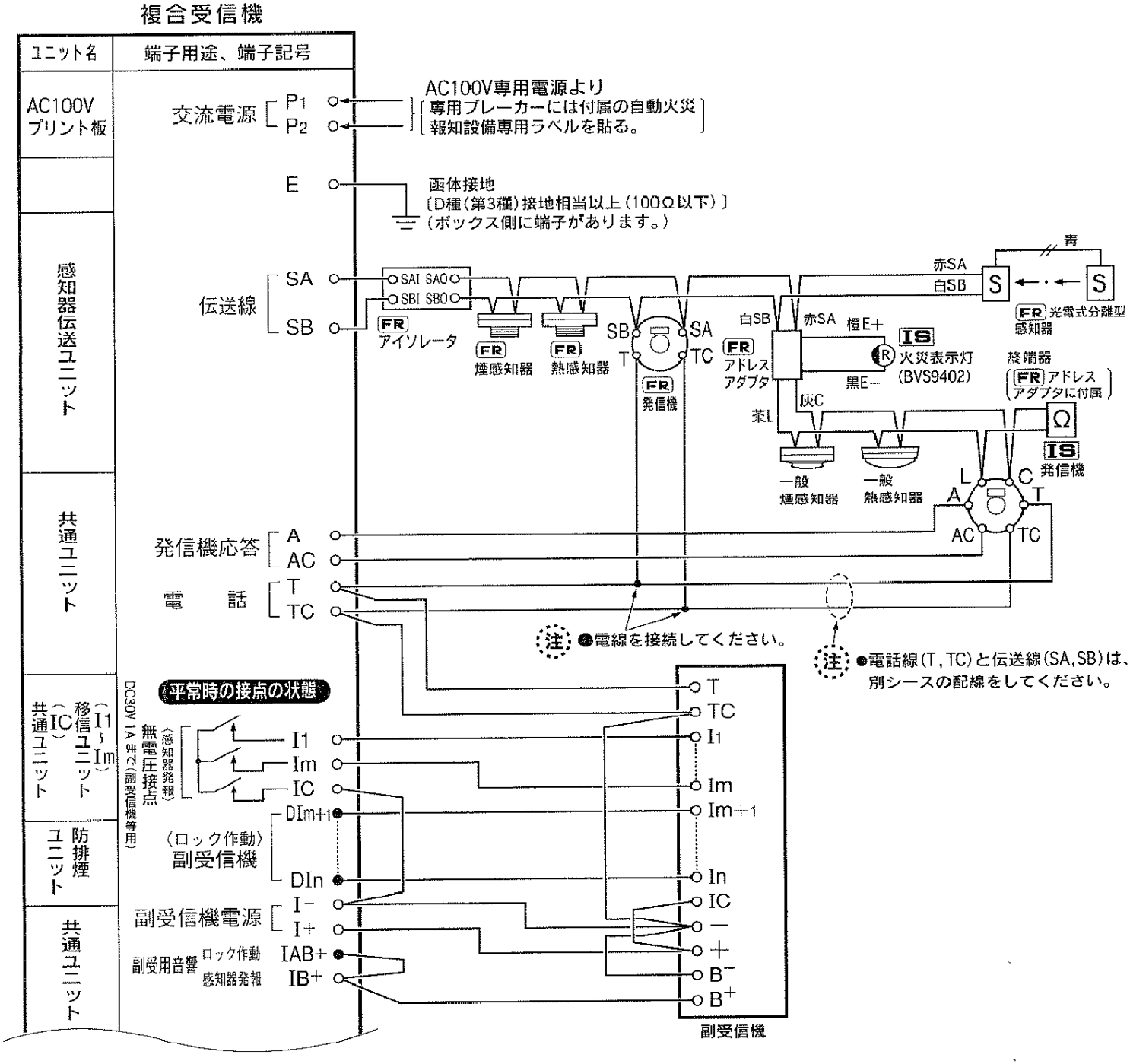

AC100V配線
引っ掛け用ネジ〔M5×8　1本〕
B部
A部
本　体
AC100V端子
●端子幅8mm
（端子ネジM4）です。
交流電源スイッチ
取付ネジ〔M5×8　4本〕
小勢力
配線
諸警報地区窓部台紙
移報端子接続表
電池接続部
小勢力端子
●端子幅8mm
（端子ネジM4）
です。
露出ボックス（付属）
電話機
（施工後、取り付けてください。）
電　池
（施工後、取り付けてください。）

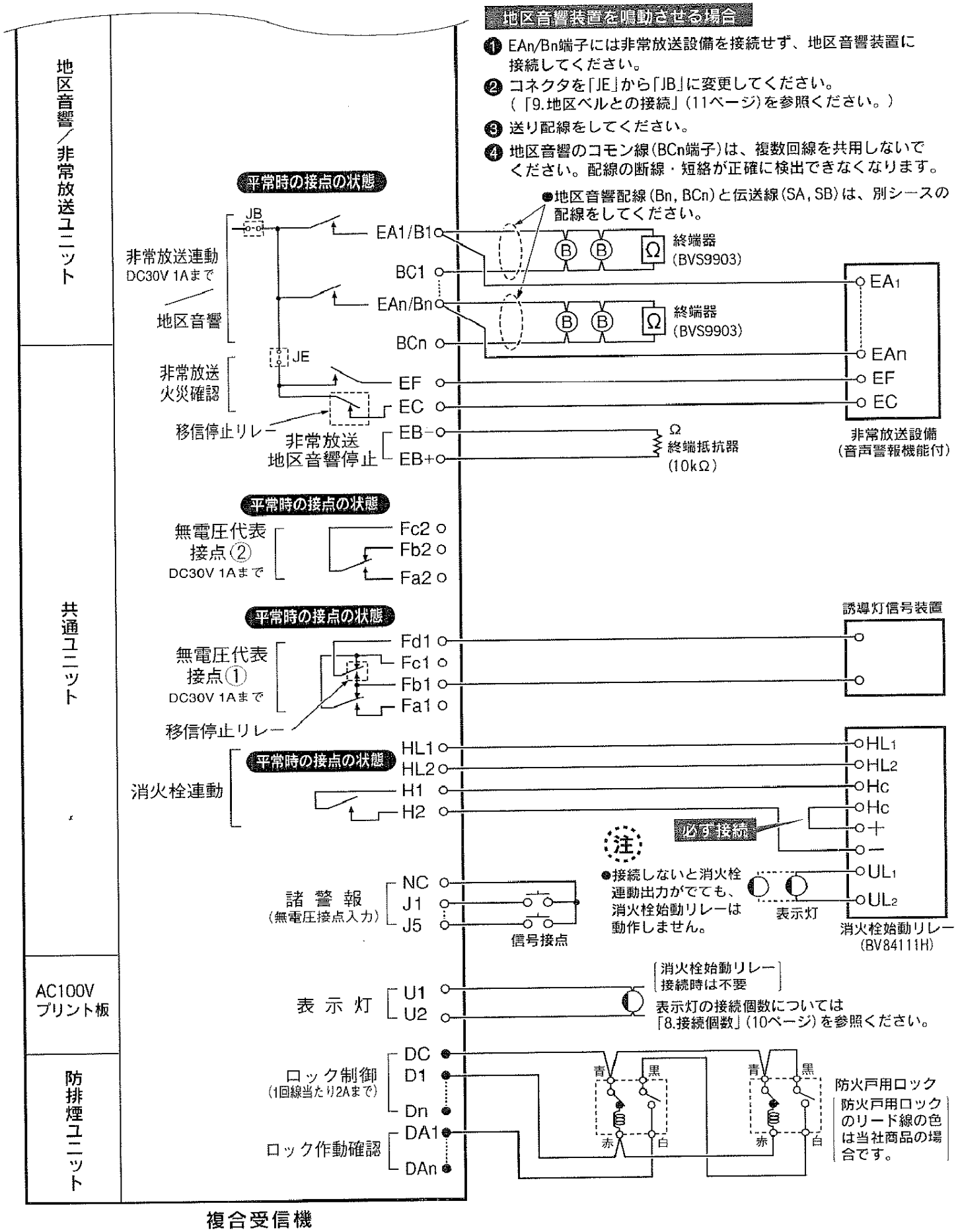
6.全体の接続方法

⚠警告

●AC100V配線の端子ネジは、確実にしめつけてください。感電や発熱・故障の原因になります。
●電線のしめつけが不十分な場合、発熱するおそれがありますので確実にしめつけてください。
●電源(AC100V)を切り、電池を取りはずした状態で施工してください。
活線工事は感電や発熱・故障の原因となります。

注 ●非常放送地区音響停止端子〔EB+—EB-〕に終端抵抗器が接続されていないとトラブル灯が点滅し液晶表示部に 非常放送配線断線 表示が点灯します。非常放送設備を設置しない場合または地区音響を接続しない場合は、終端抵抗器を受信機のEB+—EB-間に接続してください。
●伝送線(SA, SB)とその他の配線(電話線、地区音響配線など)は、別シースの配線をしてください。




地区音響／非常放送ユニット
共通ユニット
AC100V プリント板
防排煙ユニット
地区音響装置を鳴動させる場合
❶ EAn/Bn端子には非常放送設備を接続せず、地区音響装置に接続してください。
❷ コネクタを「JE」から「JB」に変更してください。（「9.地区ベルとの接続」（11ページ）を参照ください。）
❸ 送り配線をしてください。
❹ 地区音響のコモン線（BCn端子）は、複数回線を共用しないでください。配線の断線・短絡が正確に検出できなくなります。
平常時の接点の状態
●地区音響配線（Bn, BCn）と伝送線（SA, SB）は、別シースの配線をしてください。
JB
非常放送連動 DC30V 1Aまで
地区音響
EA1/B1
BC1
EAn/Bn
BCn
終端器 (BVS9903)
終端器 (BVS9903)
EA1
EAn
EF
EC
非常放送設備（音声警報機能付）
JE
非常放送火災確認
EF
EC
移信停止リレー
非常放送地区音響停止
EB−
EB+
Ω 終端抵抗器 (10kΩ)
平常時の接点の状態
無電圧代表接点② DC30V 1Aまで
Fc2
Fb2
Fa2
平常時の接点の状態
誘導灯信号装置
無電圧代表接点① DC30V 1Aまで
Fd1
Fc1
Fb1
Fa1
移信停止リレー
平常時の接点の状態
消火栓連動
HL1
HL2
H1
H2
HL1
HL2
Hc
Hc
＋
−
必ず接続
注
●接続しないと消火栓連動出力がでても、消火栓始動リレーは動作しません。
UL1
UL2
表示灯
消火栓始動リレー (BV84111H)
諸警報（無電圧接点入力）
NC
J1
J5
信号接点
表示灯
U1
U2
［消火栓始動リレー接続時は不要］
表示灯の接続個数については「8.接続個数」（10ページ）を参照ください。
ロック制御（1回線当たり2Aまで）
DC
D1
Dn
ロック作動確認
DA1
DAn
青
黒
赤
白
青
黒
赤
白
防火戸用ロック
防火戸用ロックのリード線の色は当社商品の場合です。
複合受信機

7.出荷時設定

注 ●ロック制御はDC24V出力になります。無電圧出力が必要な場合は、連動用継電器（Uオーダー品）（別売）などをご使用ください。

出荷時は、下記のように設定されています。施工後には、使用目的に応じて各種設定を行ってください。
設定方法については、「設定マニュアル」を参照してください。

注 ●自火報・防排煙兼用回線を防排煙として使用する回線は、必ず防排煙用感知器回線設定を行ってください。
設定しないと、防排煙連動用感知器の作動で拡大警報動作をします。
拡大警報動作については、取扱説明書13・14ページを参照してください。

30回線の場合〔自火報15回線〔L1～L15〕／自火報・防排煙兼用15回線〔L16～L30〕〕

Ln：感知器回線を示す。　Dn：防排煙制御回線を示す。
Bn：地区音響回線を示す。　nは回線数を示す。

出荷時設定				
地区音響鳴動	自火報固定回線 L1→B1～B15 … L15→B1～B15	●左記のような自火報固定回線では、感知器回線L1が発報すれば、地区音響回線B1～B15が出力し、**自火報・防排煙兼用回線では、感知器回線L16が発報すれば地区音響回線B1～B15が出力するとともに、防排煙制御回線D16が出力します。**	非蓄積回線	感知器回線L1～L30は蓄積動作をします。
防排煙制御	自火報・防排煙兼用回線 L16→B1～B15 D16 … L30→B1～B15 D30		防排煙用感知器回線	防排煙用感知器回線に設定すると、発報時は下記動作になります。 1. 火災代表移信出力はしない。 2. 副受信機音響出力はしない。 3. 非常放送火災確認移信出力はしない。 4. 音声警報は火災第1報めのメッセージに固定。 5. 地区音響は逐次鳴動動作および拡大警報動作をしない。
感知器アドレス	L1→アドレス1～アドレス4 L2→アドレス5、アドレス6 … L30→アドレス11	●アドレス1の感知器が発報すれば、感知器回線L1（地区灯L1）が発報表示します。		
アイソレータアドレス	設定なし		※1 部屋番号	アドレス感知器の発報アドレスが、そのまま部屋番号表示部に発報表示します。 （例）●アドレス1の感知器が発報した場合「－001」

※1 部屋番号の設定については、BVR210□□2KH（□□は回線数）の場合のみ設定します。

8.接続個数

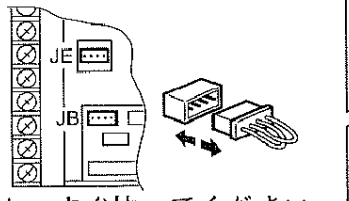
●配線方法は8・9ページを参照ください。

接続機器			接続個数	
地区音響装置	DC24V 10mA		80コまで	
表示灯	発光ダイオードタイプ		40コまで	
	白熱球タイプ（30V 2Wタイプ）		14コまで	
アドレス端末	❶FR感知器		255コまで	●❶❷❸❹❺が混在して接続されているときは下記の2つの式を満足してください。 ❶＋❷＋❸＋❹＋❺≦255（アドレス数による制限） ❶＋❷＋3×❸＋5×❹＋5×❺≦300（電流容量による制限）
	❷FR発信機		255コまで	
	❸FR アドレスアダプタ		100コまで	
	❹FR アイソレータ		20コまで	
	❺FR 光電式分離型		30コまで	
一般感知器（FR アドレスアダプタ 2次側）	1回路用	当社煙感知器（A）：1回線当たり20コまで 当社炎感知器（B）：1回線当たり20コまで 当社光電式分離型感知器（C）：1回線当たり1コまで 当社熱サイバーセンサ（D）：1回線当たり30コまで ●上記感知器が混在する場合は、下記の方程式により接続数を決めてください。 3(A+B)+60C+2D≦60		●システムトータルでの接続個数は次の式を満足してください。 B+C+D≦500（電流容量による制限）
	4回路用	当社煙感知器（A）：1回線当たり20コまで 当社炎感知器（B）：1回線当たり20コまで 当社光電式分離型感知器（C）：1回線当たり1コまで 当社熱サイバーセンサ（D）：1回線当たり80コまで ●上記感知器が混在する場合は、下記の方程式により接続数を決めてください。 4(A+B)+80C+D≦80		

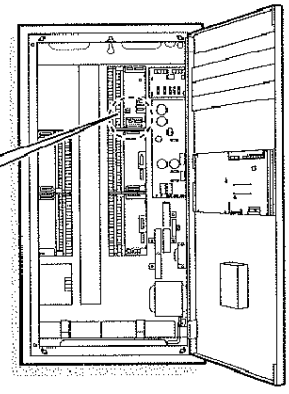
9.地区ベルとの接続

注 1.必ず受信機の地区ベル接続容量以内でご使用ください。
2.地区音響のコモン線(BCn端子)は、複数回線を共用しないでください。
配線の断線・短絡が正確に検出できなくなります。

●コネクタの抜き差し方



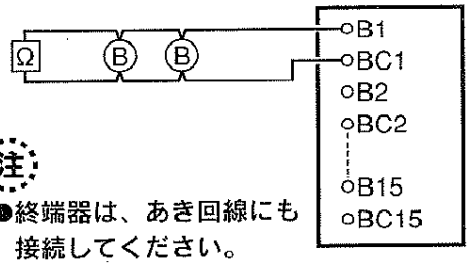
●コネクタを「JB」に変更してください。
(出荷時は「JE」に接続してあります。)



注
●コネクタを変更するときは、受信機の電池を取りはずし、交流電源スイッチを「切」側にしてからコネクタを変更してください。
受信機の電源が「入」側の状態でコネクタを変更すると、非常放送と地区音響の切替が正しく動作しません。

注 ●自火報・防排煙兼用回線を防排煙として使用する回線は、必ず防排煙用感知器回線設定を行ってください。(「設定マニュアル」を参照ください。)
設定しないと防排煙連動用感知器の作動で拡大警報動作をします。

【1】一斉鳴動

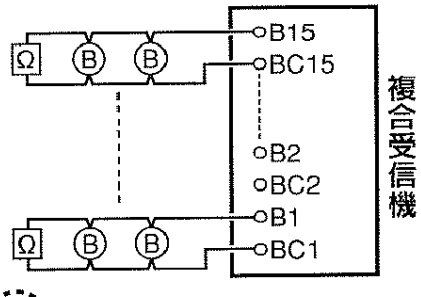


注 ●終端器は、あき回線にも接続してください。
●Ωは終端器を示します。

注 ●地区音響鳴動設定で階設定を「ALL」階に設定し、回線設定は自火報回線だけを設定してください。
●鳴動設定は「設定マニュアル」を参照ください。
●Bn端子とBCn端子を接続してください。
●地区音響端子(B1～Bn)のどの端子と接続してもかまいません。

【2】ブロック鳴動

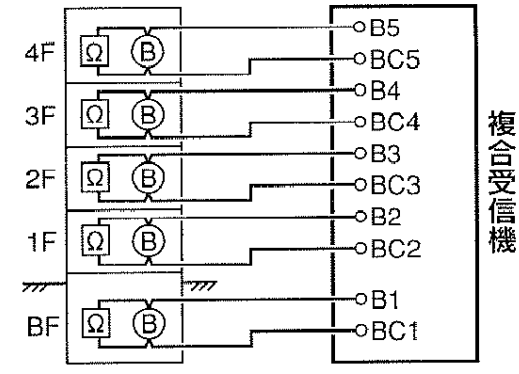
注 ●鳴動設定は「設定マニュアル」を参照ください。



注 ●終端器は、あき回線にも接続してください。
●Ωは終端器を示します。

【3】出火階・直上階鳴動

注 ●鳴動設定は「設定マニュアル」を参照ください。



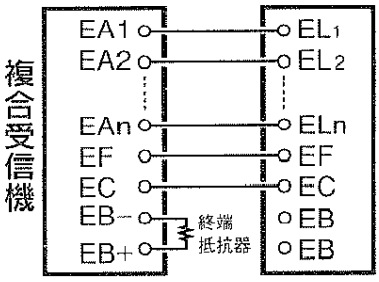
注 ●終端器は、あき回線にも接続してください。
●Ωは終端器を示します。

10.非常放送設備との接続

注 ●一斉鳴動移行時間(TC)の設定は、「OFF」に設定してください。(3ページ参照)
●接続後は、受信機の電源を入れてから非常放送設備の電源を入れてください。
●絶縁抵抗試験をするときは、非常放送設備の内部回路が破損するおそれがありますので、必ず非常放送設備への配線をはずしてから行ってください。
●非常放送側の接続端子に終端抵抗器10kΩを接続してください。
●地区音響装置接続時は、EAn端子のかわりにIn端子を使用してください。
EC—EF接点が閉じるのは、発信機発報および第2報めの感知器発報の場合です。
一斉鳴動移行時間(TC)による動作では、EC—EF接点は閉じません。

非常放送設備(音声警報機能付)

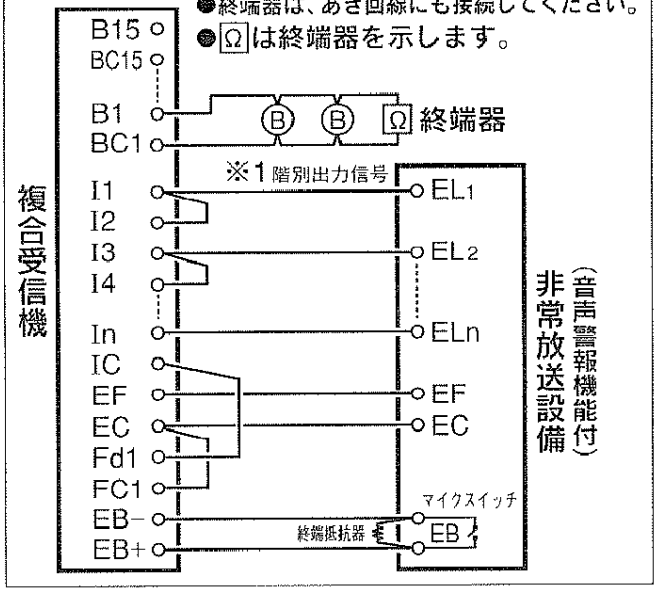
【1】地区ベルを接続しない場合

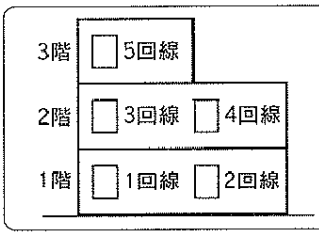


注 ●鳴動設定は「設定マニュアル」を参照ください。

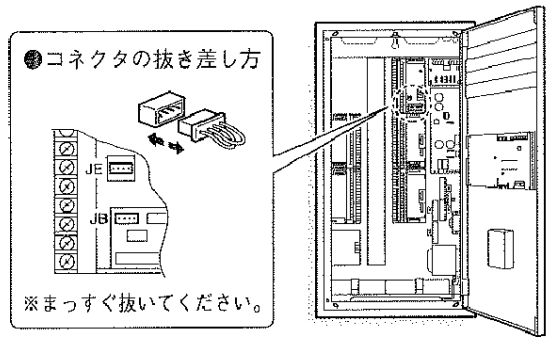
【2】地区ベルを接続する場合(一斉鳴動)

注 ●地区音響鳴動設定で階設定を「ALL」階に設定し、回線設定は自火報回線だけを設定してください。
●鳴動設定は「設定マニュアル」を参照ください。
●Bn端子とBCn 端子を接続してください。
●地区音響端子(B1~Bn)のどの端子と接続してもかまいません。
●終端器は、あき回線にも接続してください。
●Ωは終端器を示します。





※1
●3階の建物で1階に1・2回線、2階に3・4回線、3階に5回線を使用した場合を示します。

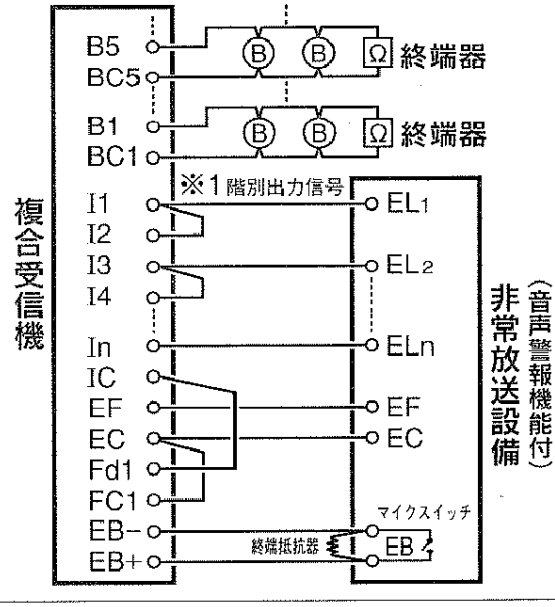


●【2】【3】の接続の場合、コネクタを「JB」に変更してください。
(出荷時は「JE」に接続してあります。)

注 ●コネクタを変更するときは、受信機の電池を取りはずし、交流電源スイッチを「切」側にしてからコネクタを変更してください。受信機の電源が「入」側の状態でコネクタを変更すると、非常放送と地区音響の切替が正しく動作しません。

【3】出火階・直上階鳴動

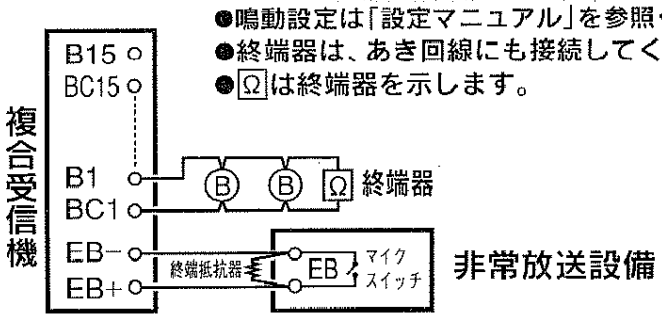
注 ●鳴動設定は「設定マニュアル」を参照ください。
●終端器は、あき回線にも接続してください。
●Ωは終端器を示します。



非常放送設備（音声警報機能なし）

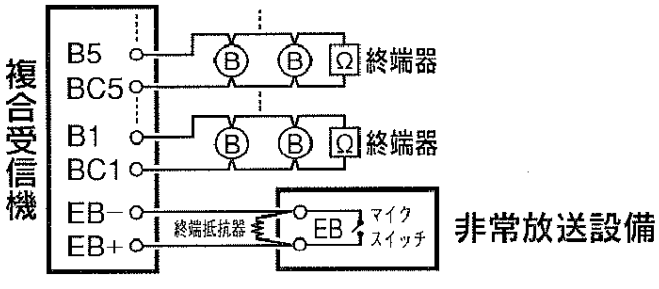
【1】一斉鳴動

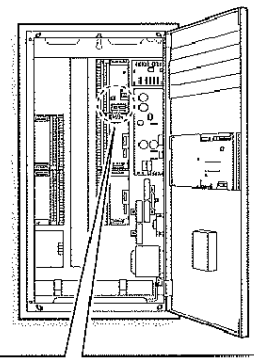
注 ●地区音響鳴動設定で階設定を「ALL」階に設定し、回線設定は自火報回線だけを設定してください。
●鳴動設定は「設定マニュアル」を参照ください。
●終端器は、あき回線にも接続してください。
●Ωは終端器を示します。

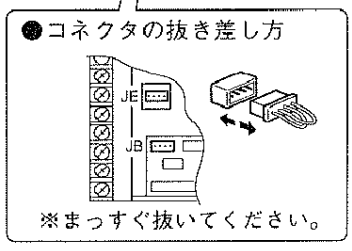


【2】出火階・直上階鳴動

注 ●鳴動設定は「設定マニュアル」を参照ください。
●終端器は、あき回線にも接続してください。
●Ωは終端器を示します。







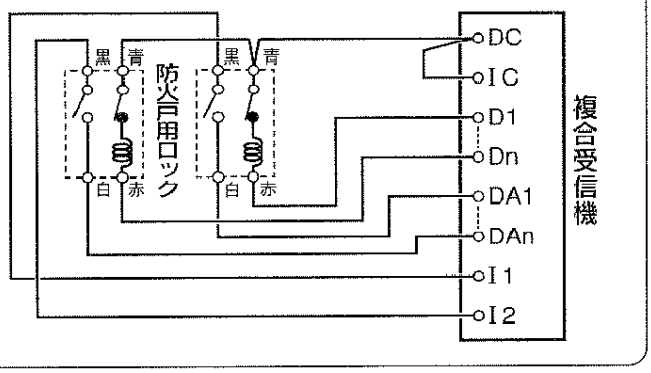
●コネクタを「JB」に変更してください。
（出荷時は「JE」に接続してあります。）

注 ●コネクタを変更するときは、受信機の電池を取りはずし、交流電源スイッチを「切」側にしてからコネクタを変更してください。受信機の電源が「入」側の状態でコネクタを変更すると、非常放送と地区音響の切替が正しく動作しません。

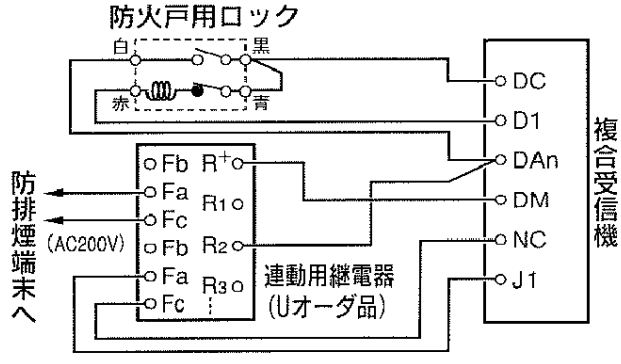
11.防排煙側との接続

注 ●防火戸用ロックのリード線の色は、当社商品の場合です。

●防火戸手動閉鎖で地区灯を点灯させない場合



●防排煙端末制御



12.施工後の確認方法

●受信機は、下記の試験をしてください。

1. 火災試験（各回線ごと）……取扱説明書　30ページ参照
2. 火災試験（各アドレスごと）……取扱説明書　31・32ページ参照
3. 一斉試験 ……取扱説明書　33・34ページ参照
4. 予備電源試験 ……取扱説明書　35ページ参照
5. 防排煙個別起動 ……取扱説明書　36ページ参照

●受信機は、下記の時刻を設定してください。

1. 現在時刻……取扱説明書　39・40ページ参照
2. 自動試験時刻……取扱説明書　41ページ参照

●接続した感知器は下記の動作試験をしてください。

注 ●詳細は、各試験器に付属の取扱説明書を参照してください。

1. 熱感知器（差動式・定温式スポット型）の場合は、加熱試験器で加熱試験をしてください。
2. 煙感知器（光電式スポット型）の場合は、加煙試験器で加煙試験をしてください。
3. 受信機側で火災発報した感知器アドレス、感知器種別が正しいか確認してください。（火災発報時のプリンター印字で確認できます。）

〔〒571-8686〕大阪府門真市門真1048　松下電工株式会社　TEL (06) 6908-1131（大代表）
8A2 J50 00001
1204-1Ⓚ Ⓐ

National

FR5

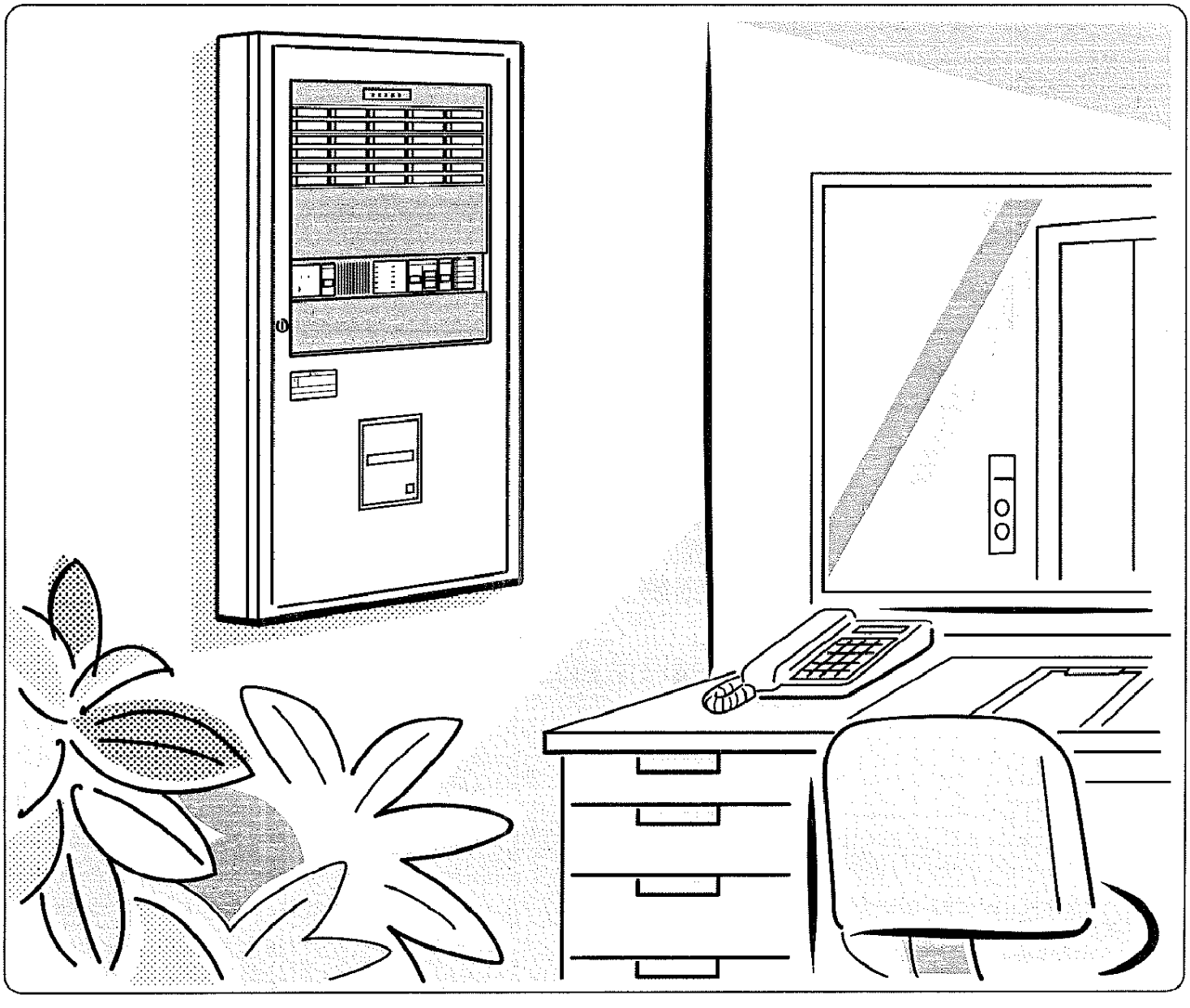
R型複合受信機

設定マニュアル

BVR210□□KH
BVR210□□2KH(部屋番号表示機能付)（□□は回線数）

正しくお使いいただくため、この説明書を大切に保管してください。

● 設定作業は、「消防設備士甲種4類」の資格が必要です。



●受信機の連動データなどのソフト設定内容の記録は施工責任者が保管してください。

もくじ

ご使用まえに …… 1～2
- 出荷時設定 —— 1
- 地区灯の表示について —— 2

設定まえの準備／設定後の状態 …… 3～4

設定方法1 （地区音響／非常放送鳴動回線→感知器回線設定）…… 5～12
- 設定方法 —— 6
- 確認方法 —— 7
- 変更方法 —— 8
- 設定例 —— 9～12

設定方法2 （感知器回線→感知器アドレス設定）
（感知器回線→2信号感知器アドレス（3種発報用）設定）…… 13～22
- 設定方法 —— 14～15
- 確認方法 —— 16
- 変更方法 —— 17～18
- 設定例 —— 19～22

設定方法3 （感知器→防排煙制御設定）…… 23～29
- 変更方法 —— 24
- 確認方法 —— 25
- 設定例 —— 26～29

設定方法4 （防排煙監視→防排煙制御設定）…… 30～37
- 設定方法 —— 31
- 確認方法 —— 32
- 変更方法 —— 33
- 設定例 —— 34～37

設定方法5 （防排煙制御→感知器設定）
（防排煙制御→防排煙監視設定） …… 38～44
変更方法 …… 39～40
確認方法 …… 41
設定例 …… 42～44

設定方法6 （接続するアイソレータアドレス設定） …… 45～50
設定方法 …… 46
確認方法 …… 47
変更方法 …… 48
設定例 …… 49～50

設定方法7 （非蓄積とする感知器回線設定） …… 51～56
設定方法 …… 52
確認方法 …… 53
変更方法 …… 54
設定例 …… 55～56

設定方法8 （防排煙用感知器回線設定） …… 57～62
設定方法 …… 58
確認方法 …… 59
変更方法 …… 60
設定例 …… 61～62

設定方法9 （部屋番号→感知器アドレス設定） …… 63～74
設定方法 …… 64～65
確認方法 …… 66
変更方法 …… 67～69
設定例 …… 70～74

ご使用まえに

ご注意

●一度設定すれば、停電になっても設定内容は消えません。出荷時、下記のような出力で設定されていますので、設定内容を変更、消去するときは変更方法の項を参照ください。また操作中に電源が切れると、設定はされませんので、最初からやり直してください。

(注)●**自火報・防排煙兼用回線を防排煙として使用する回線は、必ず防排煙用感知器回線設定を行ってください。設定しないと防排煙連動用感知器の作動で拡大警報動作をします。拡大警報動作については取扱説明書13・14ページを参照してください。**

■出荷時設定

●30回線の場合 〔自火報15回線〔L1～L15〕／自火報・防排煙兼用15回線〔L16～L30〕〕

Ln：感知器回線を示す。
Bn：地区音響回線を示す
Dn：防排煙制御回線を示す。
nは回線数を示す。

●下記のように設定されています。

出荷時設定			設定が必要な場合	設定が不要な場合	設定方法
地区音響鳴動	自火報固定回線 L1→B1～B15 … L15→B1～B15	●左記のような自火報固定回線では、感知器回線L1が発報すれば、地区音響回線B1～B15が出力し、**自火報・防排煙兼用回線では、感知器回線L16が発報すれば**地区音響回線B1～B15が出力するとともに、**防排煙制御回線D16が出力します。**	●出火階・直上階の鳴動の場合。 ●ブロック鳴動の場合。 ●非常放送設備(音声警報機能付)との連動で階別出力の場合。	●一斉鳴動の場合。	設定方法1を参照してください。
防排煙制御	自火報・防排煙兼用回線 L16→B1～B15 D16 … L30→B1～B15 D30		●連動マトリクスがある場合。	●すべての回線が個別連動の場合。	設定方法3、設定方法4、設定方法5を参照してください。
感知器アドレス	L1→アドレス1～アドレス4 L2→アドレス5、アドレス6 … L30→アドレス11	●アドレス1の感知器が発報すれば、感知器回線L1(地区灯L1)が発報表示します。	●アドレス感知器の発報をどの感知器回線(地区灯)に表示させるかの対応を設定してください。	———	設定方法2を参照してください。
アイソレータアドレス	設定なし		●アイソレータを接続する場合。	●アイソレータを接続しない場合。	設定方法6を参照してください。
非蓄積回線	L1→蓄　積 … L30→蓄　積	●感知器回線L1～L30は蓄積動作します。	●非蓄積動作をさせる感知器がある場合。	●すべての感知器回線を蓄積動作させる場合。	設定方法7を参照してください。
防排煙用感知器回線	L1→自火報 … L30→自火報	●防排煙用感知器回線に設定すると、発報時は下記動作になります。 1. 火災代表移信出力はしない。 2. 副受信機音響出力はしない。 3. 非常放送火災確認移信出力はしない。 4. 音声警報は火災第1報めのメッセージに固定。 5. 地区音響は逐次鳴動動作および拡大警報動作をしない。	●特定の感知器回線において、防排煙用感知器回線設定の動作をさせる場合。	●防排煙用感知器回線設定の動作をさせない場合。	設定方法8を参照してください。
※1 部屋番号	●アドレス感知器の発報アドレスが、そのまま部屋番号表示部に発報表示します。 (例)●アドレス1の感知器が発報した場合 「—001」		●アドレス感知器の発報をどの部屋番号として表示させるかの対応を設定してください。	———	設定方法9を参照してください。

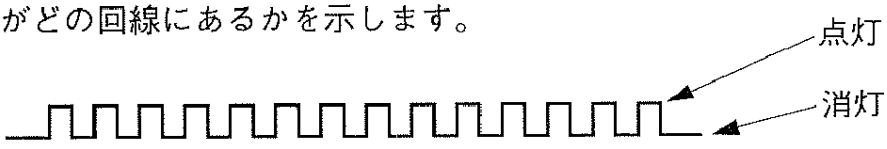
※1 部屋番号の設定については、BVR210□□2KH(□□は回線数)の場合のみ設定します。

■地区灯の表示について

●各種の設定において、複数の感知器回線または制御回線を設定するとき、地区灯の点滅表示で確認すると便利です。

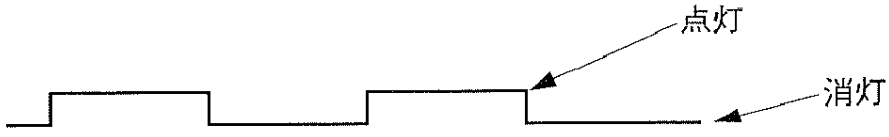
①速　い　点　滅

選択スイッチがどの回線にあるかを示します。



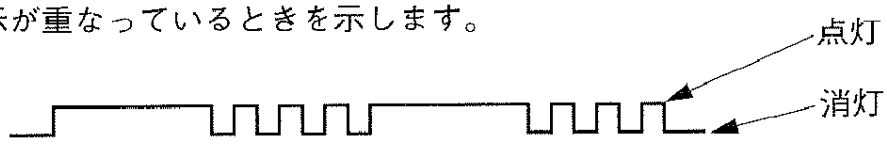
②遅　い　点　滅

感知器回線や制御回線などが設定された状態を示します。



③速い／遅い交互点滅

①と②の表示が重なっているときを示します。

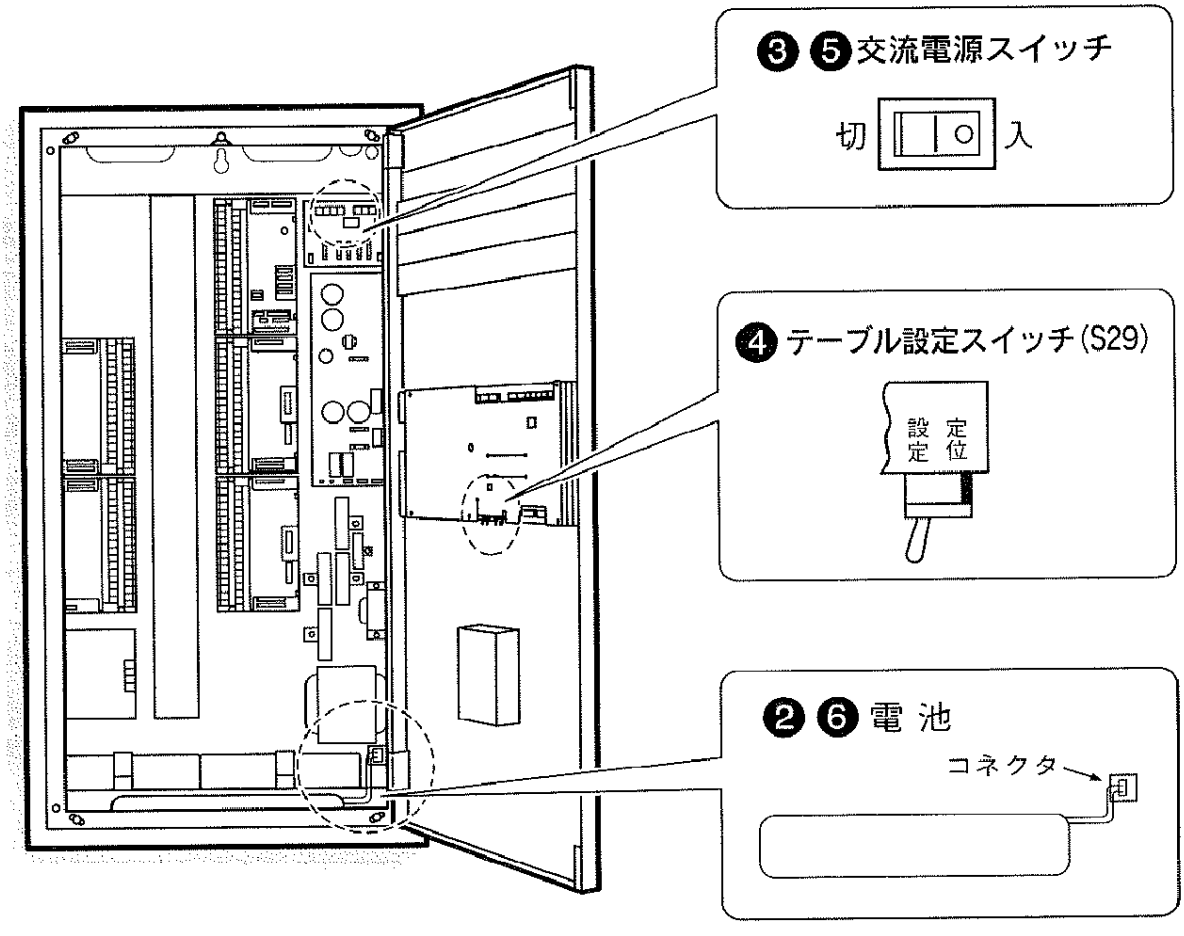


設定まえの準備／設定後の状態

設定まえの準備

1 扉をあけてからの手順

❶ 扉をあける。
❷ 電池をはずす。
❸ 交流電源スイッチを「切」側にする。
❹ テーブル設定スイッチ(S29)を「設定」側にする。
❺ 交流電源スイッチを「入」側にする。
(交流電源灯が点灯し、ビー音が鳴ります。)
❻ 電池を取り付ける。
❼ 扉をしめる。

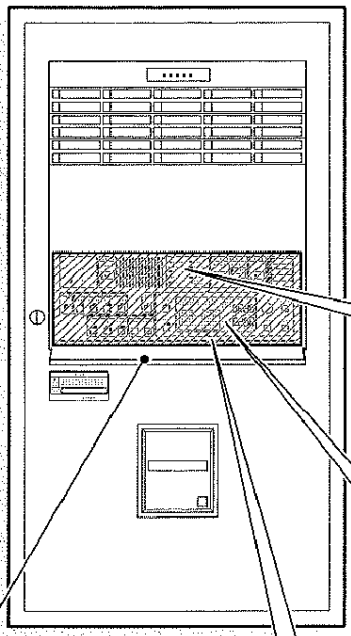


2 扉をしめてからの手順

❽点検用スイッチカバーをあける。

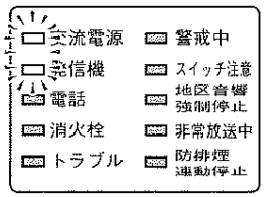
❾電源投入後、約10秒後に「テーブル設定を開始します。」と音声が鳴り、液晶表示部が点滅し、発信機灯が点灯します。

❿斜線部に設定シートを取り付ける。

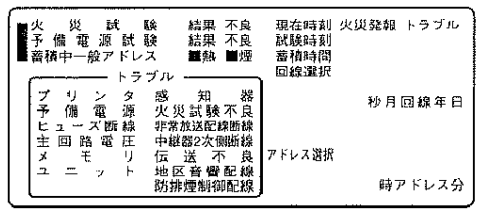


❽点検用スイッチカバー

❾発信機灯は点灯

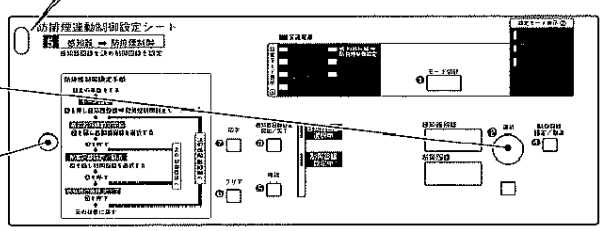


❾液晶表示部は点滅

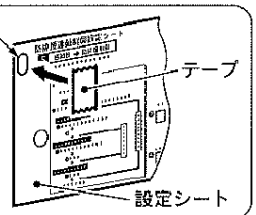


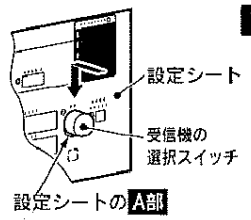
❿設定シートの取付位置・取付方法

※防排煙連動制御設定シートの場合を示す。

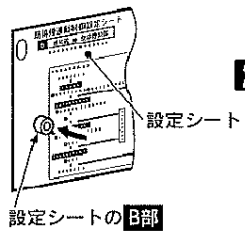


注 ●設定シートの取付状態が不安定なときは、取付補助穴部にテープを貼り付けてください。





1 設定シートのA部を受信機の選択スイッチのおくまで差し込み下にずらし、選択スイッチに引っ掛ける。



2 設定シートのB部を受信機の電話ジャックのおくまで差し込む。

設定後の状態

注 ●「定位」側にしないと、設定データは書きかわりません。（受信機の電源を切らずに行ってください。）

①扉をあける。
②テーブル設定スイッチ(S29)を「定位」側にする。
③「テーブル設定を終了します。」と音声が鳴ります。
④その後(約30秒～60秒後)、平常時の状態(警戒状態)に戻ります。
⑤扉をしめる。

テーブル設定スイッチ (S29)

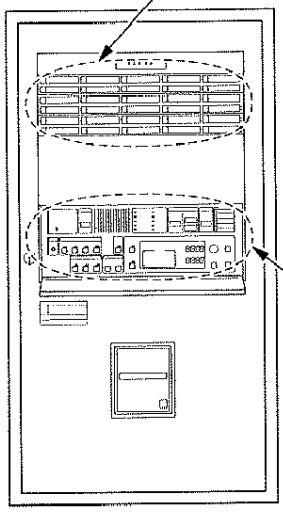
設定方法1　（地区音響／非常放送鳴動回線→感知器回線設定）

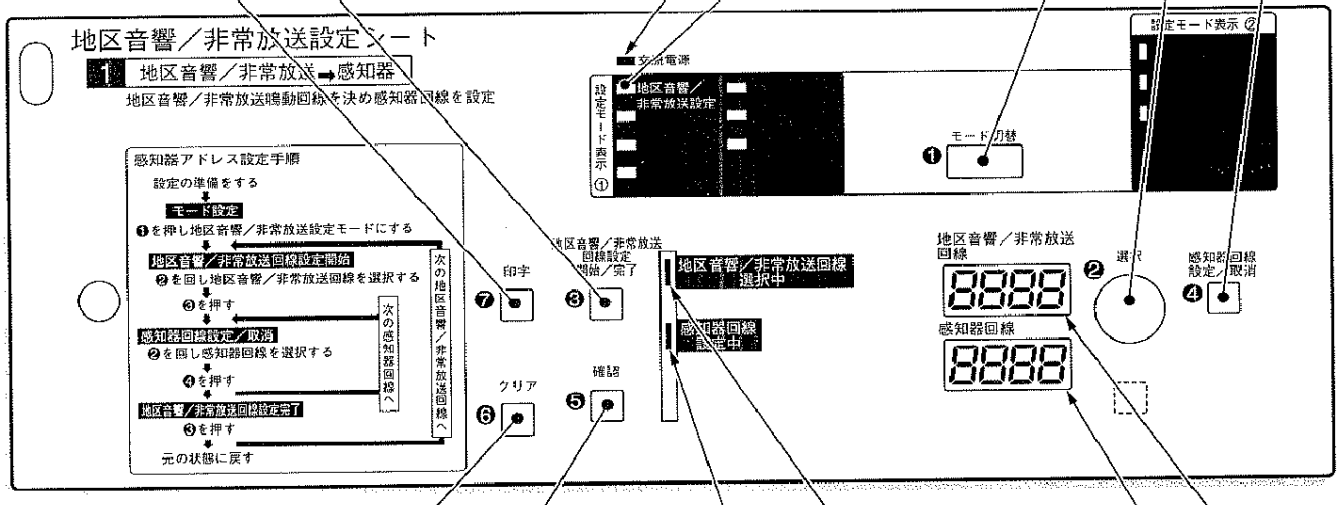
地区音響／非常放送設定シート

地区音響／非常放送鳴動回線→感知器回線設定

●感知器回線の発報信号によって、地区音響／非常放送を鳴動させる場合の設定に使います。
（地区音響／非常放送鳴動回線を決め、鳴動もととなる感知器回線を設定）

注 ●あらかじめ地区音響／非常放送出力は、一斉鳴動の出力が設定されています。
（例：感知器回線1回線発報→B1／EA1～B15／EA15出力　設定済）
ただし、「地区音響／非常放送鳴動設定」を行うと一斉鳴動の出力はすべて消去されます。





設定方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	地区音響／非常放送回線表示部	感知器回線表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、地区音響／非常放送設定に合わす。	地区音響／非常放送回線 選択中 感知器回線 設定中	(注)1) 点灯 地区音響／非常放送回線 non	感知器回線	―
地区音響／非常放送鳴動回線の設定開始	1. 選択スイッチをまわし、地区音響／非常放送鳴動回線を選択する。	地区音響／非常放送回線 選択中 感知器回線 設定中	(注)2) 点滅 地区音響／非常放送回線 1	感知器回線	―
	2. 地区音響／非常放送回線設定開始／完了スイッチを押す。	地区音響／非常放送回線 選択中 感知器回線 設定中	点灯 地区音響／非常放送回線 1	感知器回線	―
※1 感知器回線の設定	連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、感知器回線を選択する。	地区音響／非常放送回線 選択中 感知器回線 設定中	点灯 地区音響／非常放送回線 1	点滅 感知器回線 3	該当の感知器回線の地区灯が速く点滅する。
	※2 2. 感知器回線設定／取消スイッチを押す。	地区音響／非常放送回線 選択中 感知器回線 設定中	点灯 地区音響／非常放送回線 1	点灯 感知器回線 3	地区灯の点滅が上記より遅くなる。
地区音響／非常放送鳴動回線の設定完了	1. 地区音響／非常放送回線設定開始／完了スイッチを押す。	地区音響／非常放送回線 選択中 感知器回線 設定中	点滅 地区音響／非常放送回線 2 地区音響／非常放送鳴動回線の設定開始で表示された次の数字を点滅表示する。	感知器回線	―

連続して行う場合

設定後の状態にする（4ページ参照）

●複数の地区音響／非常放送鳴動回線を設定するには、「地区音響／非常放送鳴動回線の設定開始」「感知器回線の設定」「地区音響／非常放送鳴動回線の設定完了」の操作を繰り返します。

※1●1つの地区音響／非常放送鳴動回線に対して複数の感知器回線を設定するには、「感知器回線の設定」の操作を繰り返します。

■操作中に感知器回線の設定を間違えた場合

※2●「感知器回線の設定」の操作2のあと、感知器回線設定／取消スイッチを再度、押してください。
その感知器回線の設定は取り消されます。

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、non 表示がでます。

2) 地区音響／非常放送回線の表示について

ALL→1→2→3→…→15

ALL…すべての回線を鳴動するときに使います。

設定方法1　（地区音響／非常放送鳴動回線→感知器回線設定）

確認方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	▌表　示	地区音響／非常放送回線表示部	感知器回線表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、地区音響／非常放送設定に合わす。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	注1) 地区音響／非常放送回線	感知器回線	―
※1 地区音響／非常放送鳴動回線の確認	連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、確認したい地区音響／非常放送鳴動回線を選択する。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	注2) 点滅 地区音響／非常放送回線	感知器回線	―
	2. 確認スイッチを押す。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	点灯 地区音響／非常放送回線	感知器回線	選択された回線に対する登録済みの感知器回線の地区灯が点滅する。

設定後の状態にする（4ページ参照）

※1 ●続けて確認するには、「地区音響／非常放送鳴動回線の確認」の操作を繰り返します。

■プリンター印字で確認する場合

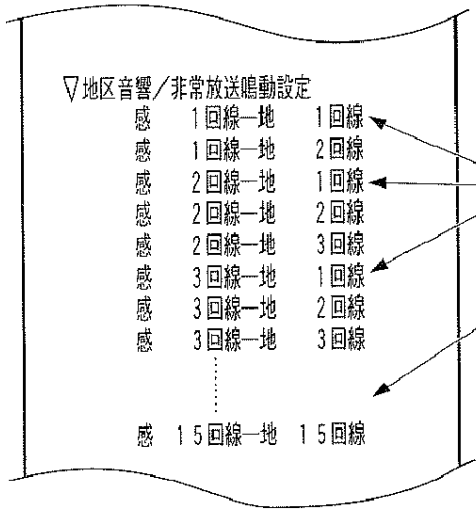
「モード設定」の操作のあと、印字スイッチを押してください。
「地区音響／非常放送設定」の内容が一括で印字されます。

注 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、non 表示がでます。

2) 地区音響／非常放送回線の表示について

ALL→1→2→3→…→15

ALL…すべての回線を鳴動するときに使います。



注 ●設定操作中は、それまで設定した内容がプリンター印字されますが、テーブル設定スイッチを「定位」側にし、「テーブル設定を終了します。」と音声が鳴るまで設定データは書き変わりません。

●地区音響／非常放送鳴動回線の1回線めには、感知器回線 ①②③ が設定されていることを示します。

●感知器回線 ⑮ が発報すれば、地区音響／非常放送回線 15 が鳴動します。

※この印字例の場合、感知器回線 ⑯ 以降については、地区音響／非常放送鳴動回線への設定がされていません。したがって、感知器回線 ⑯ 以降が発報しても、地区音響／非常放送は鳴動しません。

変更方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	地区音響／非常放送回線表示部	感知器回線表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、地区音響／非常放送設定に合わす。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	(注)1) 地区音響／非常放送回線	感知器回線	――
地区音響／非常放送鳴動回線の設定開始	1. 選択スイッチをまわし、地区音響／非常放送鳴動回線を選択する。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	(注)2) 点滅 地区音響／非常放送回線 1	感知器回線	――
	2. 地区音響／非常放送回線設定開始／完了スイッチを押す。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	点灯 地区音響／非常放送回線 1	感知器回線	選択された回線に対する登録済みの感知器回線の地区灯が点滅する。
感知器回線の消去	1. クリアスイッチを押す。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	点灯 地区音響／非常放送回線 1	感知器回線	点滅していた地区灯が消灯する。
※1 感知器回線の設定	連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、感知器回線を選択する。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	点灯 地区音響／非常放送回線 1	感知器回線 点滅 3 表示部に感知器回線が点滅表示	該当の感知器回線の地区灯が速く点滅する。
	※2 2. 感知器回線設定／取消スイッチを押す。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	点灯 地区音響／非常放送回線 1	点灯 感知器回線 3	地区灯の点滅が上記より遅くなる。
地区音響／非常放送鳴動回線の設定完了	1. 地区音響／非常放送回線設定開始／完了スイッチを押す。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	地区音響／非常放送回線 2 点滅 地区音響／非常放送鳴動回線の設定開始で表示された次の数字を点滅表示する。	感知器回線	――

連続して行う場合

設定後の状態にする（4ページ参照）

●複数の地区音響／非常放送鳴動回線を変更するには、「地区音響／非常放送鳴動回線の設定開始」「感知器回線の消去」「感知器回線の設定」「地区音響／非常放送鳴動回線の設定完了」の操作を繰り返します。

※1 ●感知器回線の消去だけの場合は、「感知器回線の設定」の操作は不要です。

※1 ●1つの地区音響／非常放送鳴動回線に対して複数の感知器回線を設定するには、「感知器回線の設定」の操作を繰り返します。

(注)

1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、non 表示がでます。

2) 地区音響／非常放送回線の表示について

ALL→1→2→3→…→15

ALL…すべての回線を鳴動するときに使います。

■操作中に感知器回線の設定を間違えた場合

※2 ●「感知器回線の設定」の操作2のあと、感知器回線設定／取消スイッチを再度、押してください。その感知器回線の設定は取り消されます。

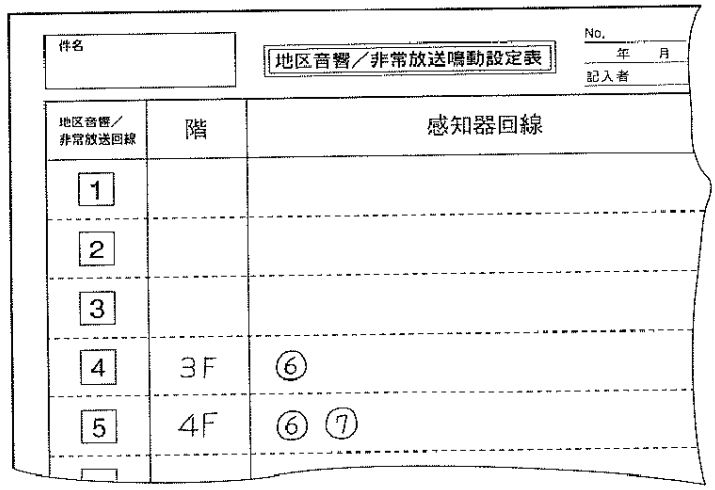
設定方法1　（地区音響／非常放送鳴動回線→感知器回線設定）

設定例

●地区音響／非常放送回線 [4]（3階）に感知器回線⑥、地区音響／非常放送回線 [5]（4階）に感知器回線⑥⑦を設定する。

操作手順

1 添付の地区音響／非常放送鳴動設定表に必要事項を記載する。



件名

地区音響／非常放送鳴動設定表

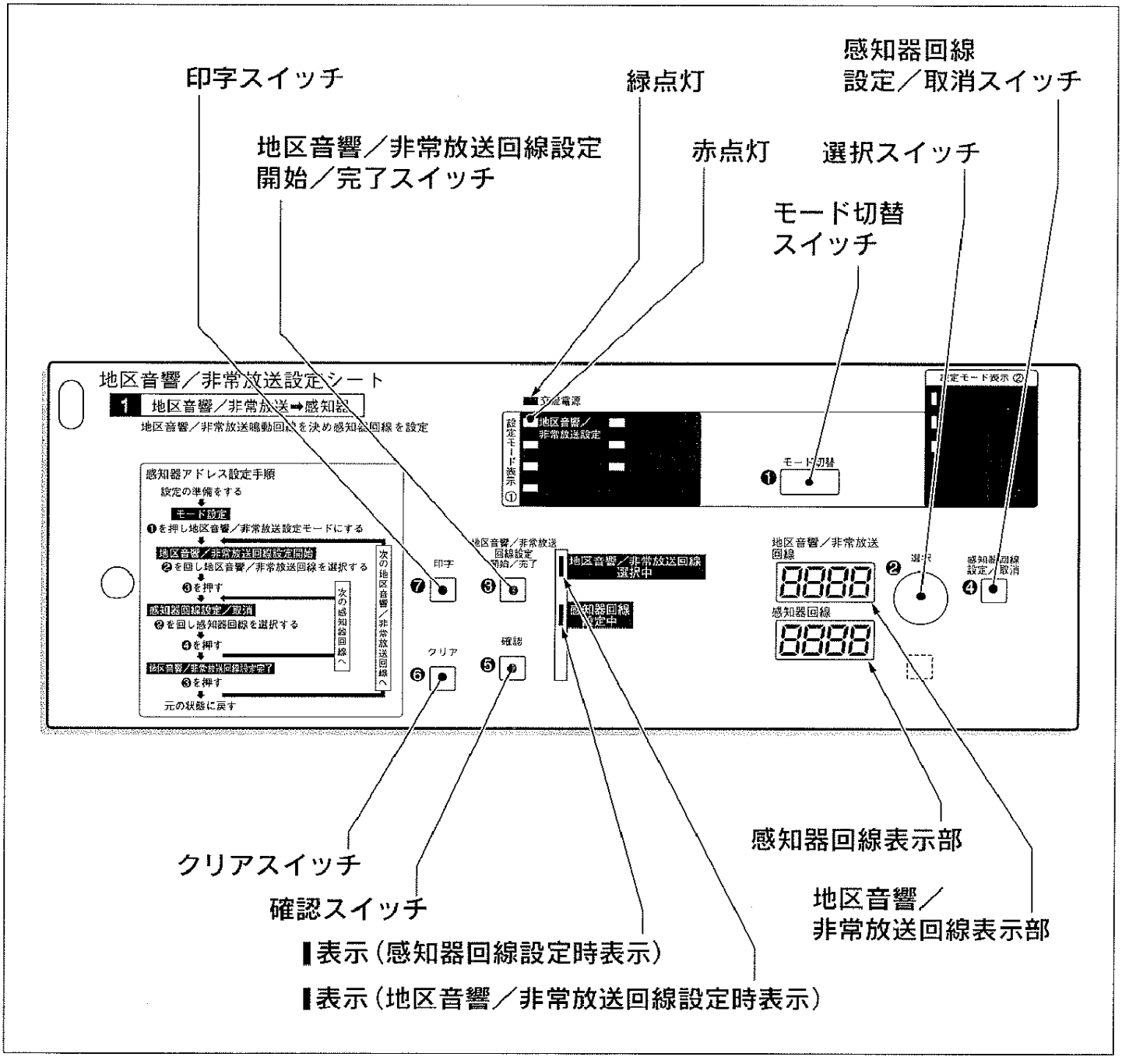
No.
年　月
記入者

地区音響／非常放送回線	階	感知器回線
1		
2		
3		
4	3F	⑥
5	4F	⑥ ⑦

2 設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

次ページに続く

3 下記の手順で操作する。



次ページに続く

設定方法1　（地区音響／非常放送鳴動回線→感知器回線設定）

操作方法

	各　部	操作方法	表　示	地区音響／非常放送回線表示部	感知器回線表示部	地区灯の表示
	❶ モード切替	1. モード切替スイッチを押し、地区音響／非常放送設定に合わす。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	(注)1) 点灯 地区音響／非常放送回線 non	感知器回線	―
地区音響／非常放送回線 4 の設定	❷ 選択	2. 選択スイッチをまわし、地区音響／非常放送鳴動回線 4 を選択する。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	(注)2) 点滅 地区音響／非常放送回線 4	感知器回線	―
	地区音響／非常放送回線設定開始／完了 ❸	3. 地区音響／非常放送回線設定開始／完了スイッチを押す。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	点灯 地区音響／非常放送回線 4	感知器回線	―
	❷ 選択	4. 選択スイッチをまわし、感知器回線 ⑥ を選択する。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	点灯 地区音響／非常放送回線 4	点滅 感知器回線 6	6回線めの地区灯が速く点滅する。
	感知器回線設定／取消 ❹	5. 感知器回線設定／取消スイッチを押す。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	点灯 地区音響／非常放送回線 4	点灯 感知器回線 6	6回線めの地区灯の点滅が上記より遅くなる。
地区音響／非常放送回線 5 の設定	地区音響／非常放送回線設定開始／完了 ❸	6. 地区音響／非常放送回線設定開始／完了スイッチを押す。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	点滅 地区音響／非常放送回線 5	感知器回線	―
	地区音響／非常放送回線設定開始／完了 ❸	7. 地区音響／非常放送回線設定開始／完了スイッチを押す。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	点灯 地区音響／非常放送回線 5	感知器回線	―
	❷ 選択	8. 選択スイッチをまわし、感知器回線 ⑥ を選択する。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	点灯 地区音響／非常放送回線 5	点滅 感知器回線 6	6回線めの地区灯が速く点滅する。
	感知器回線設定／取消 ❹	9. 感知器回線設定／取消スイッチを押す。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	点灯 地区音響／非常放送回線 5	点灯 感知器回線 6	6回線めの地区灯の点滅が上記より遅くなる。

次ページに続く

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、non 表示がでます。
2) 地区音響／非常放送回線の表示について
ALL→1→2→3→…→15　● ALL…すべての回線を鳴動するときに使います。

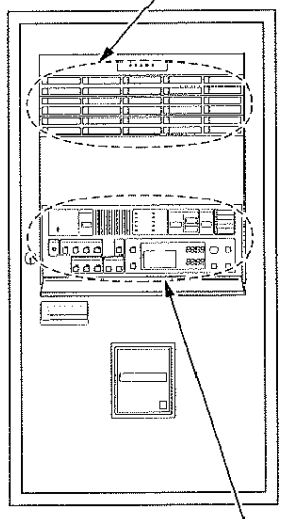
地区音響／非常放送回線 5 の設定

各　部	操作方法	表　示	地区音響／非常放送回線表示部	感知器回線表示部	地区灯の表示
❷ 選択	10.選択スイッチをまわし、感知器回線 ⑦ を選択する。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	点灯 地区音響／非常放送回線 5	点滅 感知器回線 7	7回線めの地区灯が速く点滅する。 このとき6回線めの地区灯も点滅しています。
❹ 感知器回線設定／取消	11.感知器回線設定／取消スイッチを押す。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	点灯 地区音響／非常放送回線 5	点灯 感知器回線 7	7回線めの地区灯の点滅が上記より遅くなる。 このとき6回線めの地区灯も点滅しています。
❸ 地区音響／非常放送回線設定開始／完了	12.地区音響／非常放送回線設定開始／完了スイッチを押す。	地区音響／非常放送回線選択中 感知器回線設定中	点滅 地区音響／非常放送回線 6	感知器回線	―

4 設定後の状態にする （4ページ参照）

設定方法2

（感知器回線→感知器アドレス設定）
（感知器回線→2信号感知器アドレス（3種発報用）設定）



感知器アドレス設定シート

感知器回線→感知器アドレス設定

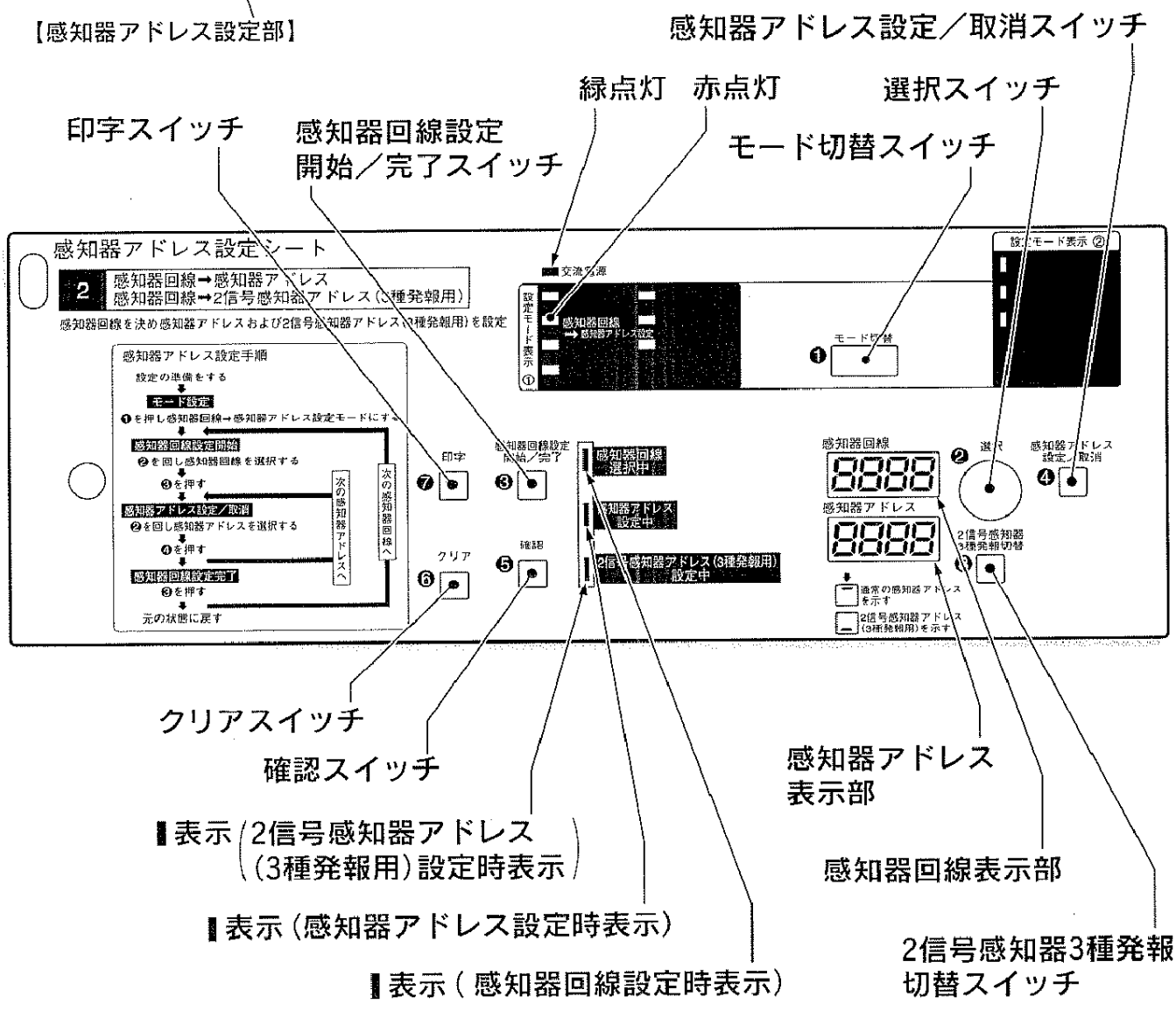
感知器回線→2信号感知器アドレス（3種発報用）設定

●アドレス感知器の発報信号を、どの感知器回線（地区灯）に表示させるかの設定に使います。（感知器回線を決め、感知器アドレスを設定）

●アドレス2信号感知器については、発報信号をどの感知器回線（地区灯）に表示させるかの設定（感知器回線を決め、感知器アドレスを設定）に加えて、3種発報信号をどの感知器回線（地区灯）に表示させるかの設定（感知器回線を決め、2信号感知器アドレス（3種発報用）を設定）が必要です。

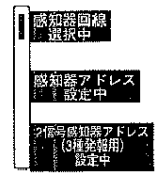
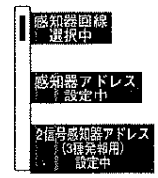
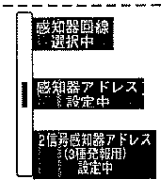
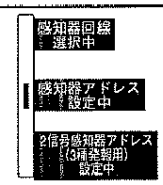
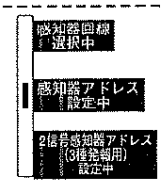
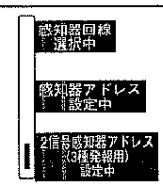
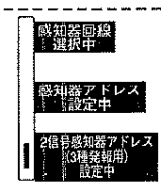
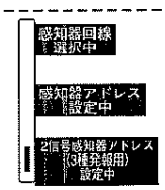
（注）●接続する感知器のアドレスは、すべて忘れずに設定してください。設定忘れがありますと、設定を忘れたアドレスの感知器は発報せず、受信機に伝送不良トラブルを表示します。

また、あらかじめ出荷時設定されている感知器アドレスは、「感知器アドレス設定」を行うことですべて消去できます。



設定方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	感知器回線表示部	感知器アドレス表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、感知器回線→感知器アドレス設定に合わす。		(注)1) 感知器回線 点灯 non	感知器アドレス	——
感知器回線の設定開始	1. 選択スイッチをまわし、感知器回線を選択する。		感知器回線 点滅 16	感知器アドレス	——
	2. 感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。		感知器回線 点灯 16	感知器アドレス	——
※1 感知器アドレス/2信号感知器アドレス（3種発報用）の設定	**感知器アドレスの場合** 連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、感知器アドレスを選択する。		感知器回線 点灯 16	(注)2) 感知器アドレス 点滅 003	——
	※2 2. 感知器アドレス設定／取消スイッチを押す。		感知器回線 点灯 16	感知器アドレス 点灯 003	——
	2信号感知器アドレス(3種発報用)の場合 ※3　1.2信号感知器3種発報切替スイッチを押す。		感知器回線 点灯 16	感知器アドレス 点滅 _003	——
	連続して行う場合 2. 選択スイッチをまわし、感知器アドレスを選択する。		感知器回線 点灯 16	(注)2) 感知器アドレス 点滅 _004	——
	※2 3. 感知器アドレス設定／取消スイッチを押す。		感知器回線 点灯 16	感知器アドレス 点灯 _004	——

連続して行う場合

次ページに続く

設定方法2

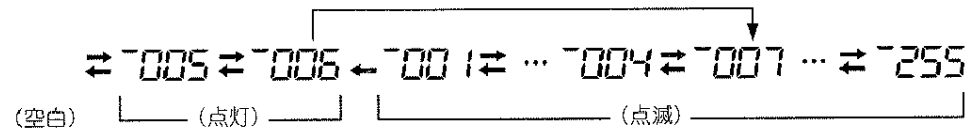
(感知器回線→感知器アドレス設定)
(感知器回線→2信号感知器アドレス(3種発報用)設定)

連続して行う場合

項　目	操作方法	▌表　示	感知器回線表示部	感知器アドレス表示部	地区灯の表示
感知器回線の設定完了	1. 感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス(3種発報用)設定中	点滅 感知器回線 17 感知器回線の設定開始で表示された次の数字を点滅表示する。	感知器アドレス	—

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、 表示がでます。

2) 感知器アドレスの表示について



(空白) …先頭を示します。
(点灯) …すでに設定済みのアドレスがあれば、優先して点灯表示します。
(点滅) …まだ設定されていないアドレスを、点滅表示します。
001 …感知器アドレスを示します。
_001 …2信号感知器アドレス(3種発報用)を示します。

設定後の状態にする (4ページ参照)

●複数の感知器回線を設定するには、「感知器回線の設定開始」「感知器アドレス／2信号感知器アドレス(3種発報用)の設定」「感知器回線の設定完了」の操作を繰り返します。

※1 ●1つの感知器回線に対して複数の感知器アドレス／2信号感知器アドレス(3種発報用)を設定するには、「感知器アドレス／2信号感知器アドレス(3種発報用)の設定」の操作を繰り返します。

■操作中に感知器アドレスの設定を間違えた場合

※2 ●「感知器アドレス／2信号感知器アドレス(3種発報用)の設定」の操作2または操作3のあと、感知器アドレス設定／取消スイッチを再度、押してください。
その感知器アドレスの設定は取り消されます。

■感知器アドレス設定中に、間違えて2信号感知器アドレス(3種発報用)のモードに切り替えた場合

※3 ●「2信号感知器アドレス(3種発報用)の場合」の操作1のあと、2信号感知器3種発報切替スイッチを再度、押してください。
通常の感知器アドレスのモードに戻ります。

確認方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	▮表　示	感知器回線表示部	感知器アドレス表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、感知器回線→感知器アドレス設定に合わす。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス（3種発報用）設定中	(注)1) 感知器回線	感知器アドレス	――
※1 感知器回線の確認	連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、確認したい感知器回線を選択する。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス（3種発報用）設定中	点滅 感知器回線 16	感知器アドレス	――
	2. 確認スイッチを押す。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス（3種発報用）設定中	点灯 感知器回線 16	(注)2) 点灯 感知器アドレス 003	――

設定後の状態にする（4ページ参照）

※1 ●続けて確認するには、「感知器回線の確認」の操作を繰り返します。

■プリンター印字で確認する場合

「モード設定」の操作のあと、印字スイッチを押してください。
「感知器回線ー感知器アドレス設定」の内容が一括で印字されます。

▽感知器回線ー感知器番号設定
感　1回線ー　001番
感　1回線ー　002番
感　2回線ー　004番
感　2回線ー　005番
……
感　16回線ー　003番
感　16回線ー連004番
……
感　30回線ー　061番
感　30回線ー　062番

●感知器回線の1回線めには、感知器アドレス「1」「2」が設定されていることを示します。

●2信号感知器（感知器アドレス「4」）については、2種発報が感知器回線②、3種発報が感知器回線⑯に設定されていることを示します。

●アドレス61の感知器が発報すれば、感知器回線㉚（地区灯㉚）が発報表示します。

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、nOn 表示がでます。

2) 感知器アドレスの確認表示について
- ●なにも設定されていないときは、空白となります。
- ●複数アドレス設定されているときは、設定されているアドレスを約5秒間隔で順番に表示します。

(注) ●設定操作中は、それまで設定した内容がプリンター印字されますが、テーブル設定スイッチを「定位」側にし、「テーブル設定を終了します。」と音声が鳴るまで設定データは書き変わりません。

設定方法2

（感知器回線→感知器アドレス設定）
（感知器回線→2信号感知器アドレス（3種発報用）設定）

変更方法

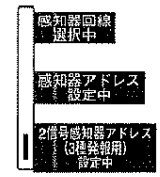
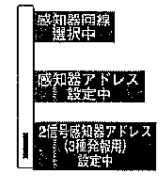
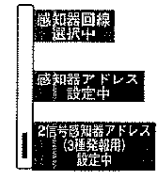
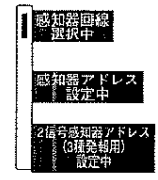
設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	感知器回線表示部	感知器アドレス表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、感知器回線→感知器アドレス設定に合わす。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス（3種発報用）設定中	（注）1) 感知器回線	感知器アドレス	――
感知器回線の設定開始	1. 選択スイッチをまわし、感知器回線を選択する。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス（3種発報用）設定中	点滅 感知器回線 16	感知器アドレス	――
	2. 感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス（3種発報用）設定中	点灯 感知器回線 16	感知器アドレス	――
感知器アドレス/2信号感知器アドレス（3種発報用）の消去	1. クリアスイッチを押す。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス（3種発報用）設定中	点灯 感知器回線 16	感知器アドレス	――
※1 感知器アドレス/2信号感知器アドレス（3種発報用）の設定	**感知器アドレスの場合** 連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、感知器アドレスを選択する。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス（3種発報用）設定中	点灯 感知器回線 16	（注）2) 点滅 感知器アドレス 003	――
	※2 2. 感知器アドレス設定／取消スイッチを押す。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス（3種発報用）設定中	点灯 感知器回線 16	点灯 感知器アドレス 003	――

連続して行う場合

次ページに続く

連続して行う場合

項　目	操作方法	表　示	感知器回線表示部	感知器アドレス表示部	地区灯の表示
※1 感知器アドレス/2信号感知器アドレス(3種発報用)の設定	2信号感知器アドレス(3種発報用)の場合 ※3　1. 2信号感知器3種発報切替スイッチを押す。		点灯 感知器回線 16	点滅 感知器アドレス _003	――
連続して行う場合 2. 選択スイッチをまわし、確認したい感知器回線を選択する。			点灯 感知器回線 16	(注2) 点滅 感知器アドレス _004	――
※2 3. 感知器アドレス設定／取消スイッチを押す。			点灯 感知器回線 16	点灯 感知器アドレス _004	――
感知器回線の設定完了	1. 感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。		点滅 感知器回線 17 感知器回線の設定開始で表示された次の数字を点滅表示する。	感知器アドレス	――

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、non 表示がでます。

2) 感知器アドレスの表示について

⇄005⇄006←001⇄…004⇄007…⇄255

(空白)　(点灯)　(点滅)

(空白)…先頭を示します。
(点灯)…すでに設定済みのアドレスがあれば、優先して点灯表示します。
(点滅)…まだ設定されていないアドレスを点滅表示します。
001…感知器アドレスを示します。
_001…2信号感知器アドレス(3種発報用)を示します。

設定後の状態にする (4ページ参照)

※1 ●複数の感知器回線を変更するには、「感知器回線の設定開始」「感知器アドレス／2信号感知器アドレス(3種発報用)の消去」「感知器アドレス／2信号感知器アドレス(3種発報用)の設定」「感知器回線の設定完了」の操作を繰り返します。
●感知器アドレス／2信号感知器アドレス(3種発報用)の消去だけの場合は、「感知器アドレス／2信号感知器アドレス(3種発報用)の設定」の操作は不要です。
●1つの感知器回線に対して複数の感知器アドレス／2信号感知器アドレス(3種発報用)を設定するには、「感知器アドレス／2信号感知器アドレス(3種発報用)の設定」の操作を繰り返します。

■操作中に感知器アドレスの設定を間違えた場合

※2 ●「感知器アドレス／2信号感知器アドレス(3種発報用)の設定」の操作2または操作3のあと、感知器アドレス設定／取消スイッチを再度、押してください。その感知器アドレスの設定は取り消されます。

■感知器アドレス設定中に、間違えて2信号感知器アドレス(3種発報用)のモードに切り替えた場合

※3 ●「2信号感知器アドレス(3種発報用)の場合」の操作1のあと、2信号感知器3種発報切替スイッチを再度、押してください。通常の感知器アドレスのモードに戻ります。

設定方法2

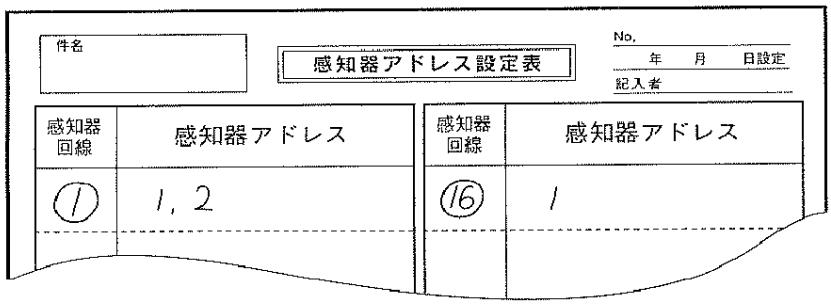
（感知器回線→感知器アドレス設定）
（感知器回線→2信号感知器アドレス（3種発報用）設定）

設定例

●感知器回線 ①（地区灯1）に2信号感知器（感知器アドレス「1」）および1信号の感知器（感知器アドレス「2」）の発報信号を表示させ、感知器回線 ⑯（地区灯16）に2信号感知器（感知器アドレス「1」）の3種発報信号を表示させる場合の設定

操作手順

1 添付の感知器アドレス設定表に必要事項を記載する。



件名

感知器アドレス設定表

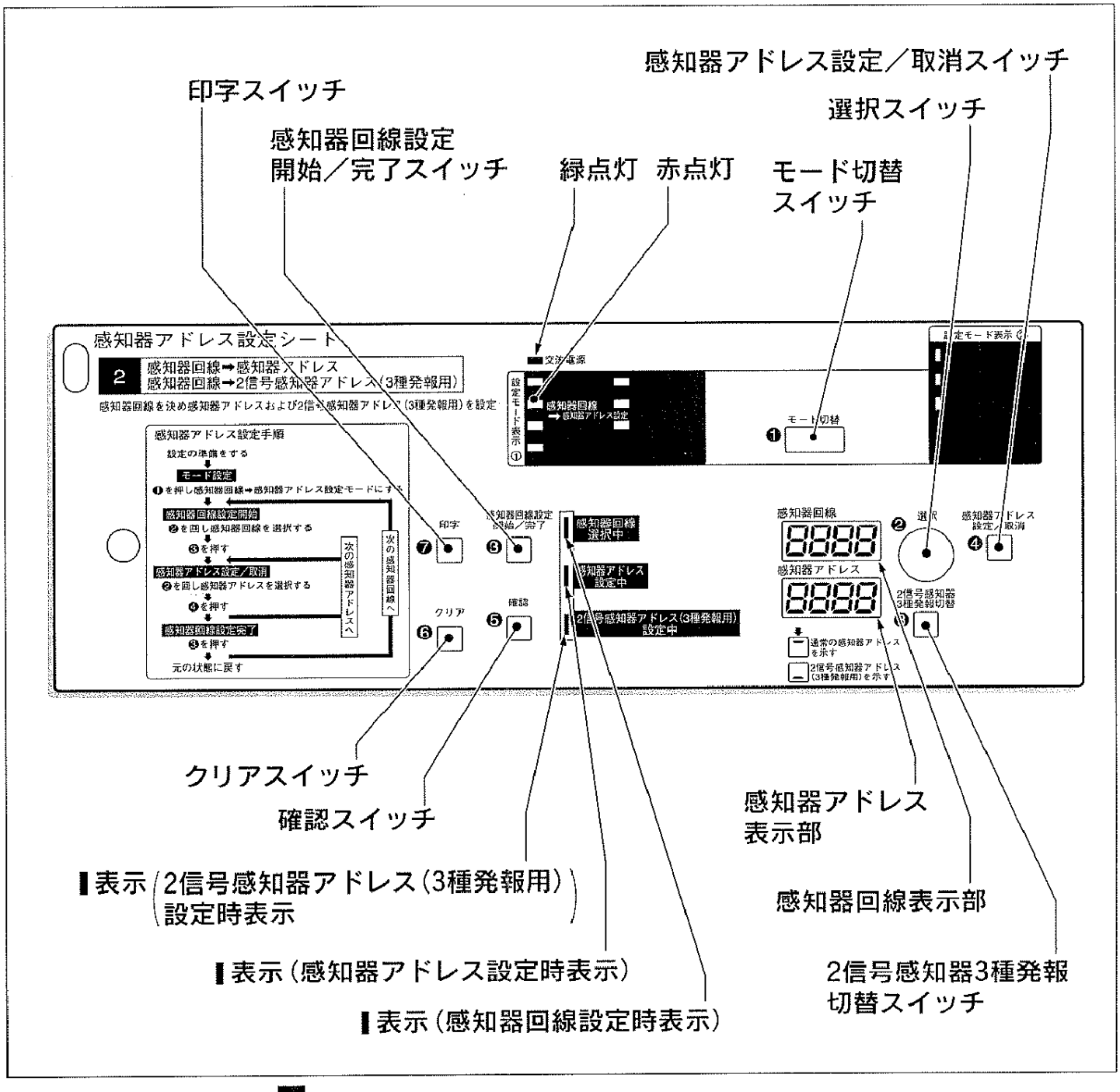
No.
年 月 日設定
記入者

感知器回線	感知器アドレス	感知器回線	感知器アドレス
①	1, 2	⑯	1

2 設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

次ページに続く

3 下記の手順で操作する。



次ページに続く

設定方法2

（感知器回線→感知器アドレス設定）
（感知器回線→2信号感知器アドレス（3種発報用）設定）

操作方法

感知器回線①の設定

各部	操作方法	表示	感知器回線表示部	感知器アドレス表示部	地区灯の表示
❶ モード切替	1. モード切替スイッチを押し、感知器回線→感知器アドレス設定に合わす。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス（3種発報用）設定中	(注)1) 感知器回線 点灯 n0n	感知器アドレス	—
❷ 選択	2. 選択スイッチをまわし、感知器回線①を選択する。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス（3種発報用）設定中	感知器回線 点滅 1	感知器アドレス	—
感知器回線設定開始／完了 ❸	3. 感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス（3種発報用）設定中	感知器回線 点灯 1	感知器アドレス	—
❷ 選択	4. 選択スイッチをまわし、感知器アドレス「1」を選択する。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス（3種発報用）設定中	感知器回線 点灯 1	(注)2) 感知器アドレス 点滅 001	—
感知器アドレス設定／取消 ❹	5. 感知器アドレス設定／取消スイッチを押す。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス（3種発報用）設定中	感知器回線 点灯 1	感知器アドレス 点灯 001	—
❷ 選択	6. 選択スイッチをまわし、感知器アドレス「2」を選択する。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス（3種発報用）設定中	感知器回線 点灯 1	(注)2) 感知器アドレス 点滅 002	—
感知器アドレス設定／取消 ❹	7. 感知器アドレス設定／取消スイッチを押す。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス（3種発報用）設定中	感知器回線 点灯 1	感知器アドレス 点灯 002	—
感知器回線設定開始／完了 ❸	8. 感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス（3種発報用）設定中	感知器回線 点滅 2	感知器アドレス	—

次ページに続く

	各　部	操作方法	表　示	感知器回線表示部	感知器アドレス表示部	地区灯の表示
感知器回線⑯の設定	❷ 選択	9.選択スイッチをまわし、感知器回線⑯を選択する。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス(3種発報用)設定中	点滅 感知器回線 16	感知器アドレス	――
	感知器回線設定開始／完了 ❸	10.感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス(3種発報用)設定中	点灯 感知器回線 16	感知器アドレス	――
	2信号感知器3種発報切替 ❽	11.2信号感知器3種発報切替スイッチを押す。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス(3種発報用)設定中	点灯 感知器回線 16	感知器アドレス	――
	❷ 選択	12.選択スイッチをまわし、感知器アドレス「1」を選択する。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス(3種発報用)設定中	点灯 感知器回線 16	(注)2) 点滅 感知器アドレス _001	――
	感知器アドレス設定／取消 ❹	13.感知器アドレス設定／取消スイッチを押す。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス(3種発報用)設定中	点灯 感知器回線 16	点灯 感知器アドレス _001	――
	感知器回線設定開始／完了 ❸	14.感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線選択中 感知器アドレス設定中 2信号感知器アドレス(3種発報用)設定中	点滅 感知器回線 17	感知器アドレス	――

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、
non 表示がでます。

2) 感知器アドレスの表示について

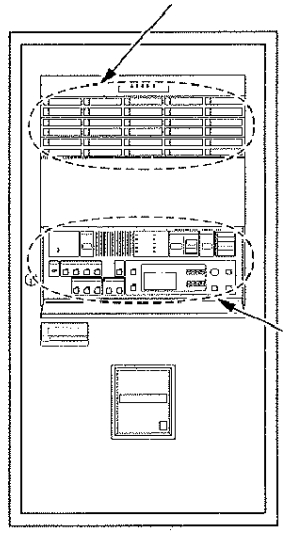
⇄ 005 ⇄ 006 ← 001 ⇄ … 004 ⇄ 007 … ⇄ 255
(空白) (点灯) (点滅)

(空白) …先頭を示します。
(点灯) …すでに設定済みのアドレスがあれば、優先して点灯表示します。
(点滅) …まだ設定されていないアドレスを点滅表示します。
¯001 …感知器アドレスを示します。
_001 …2信号感知器アドレス(3種発報用)を示します。

4 設定後の状態にする (4ページ参照)

設定方法3

（感知器→防排煙制御設定）

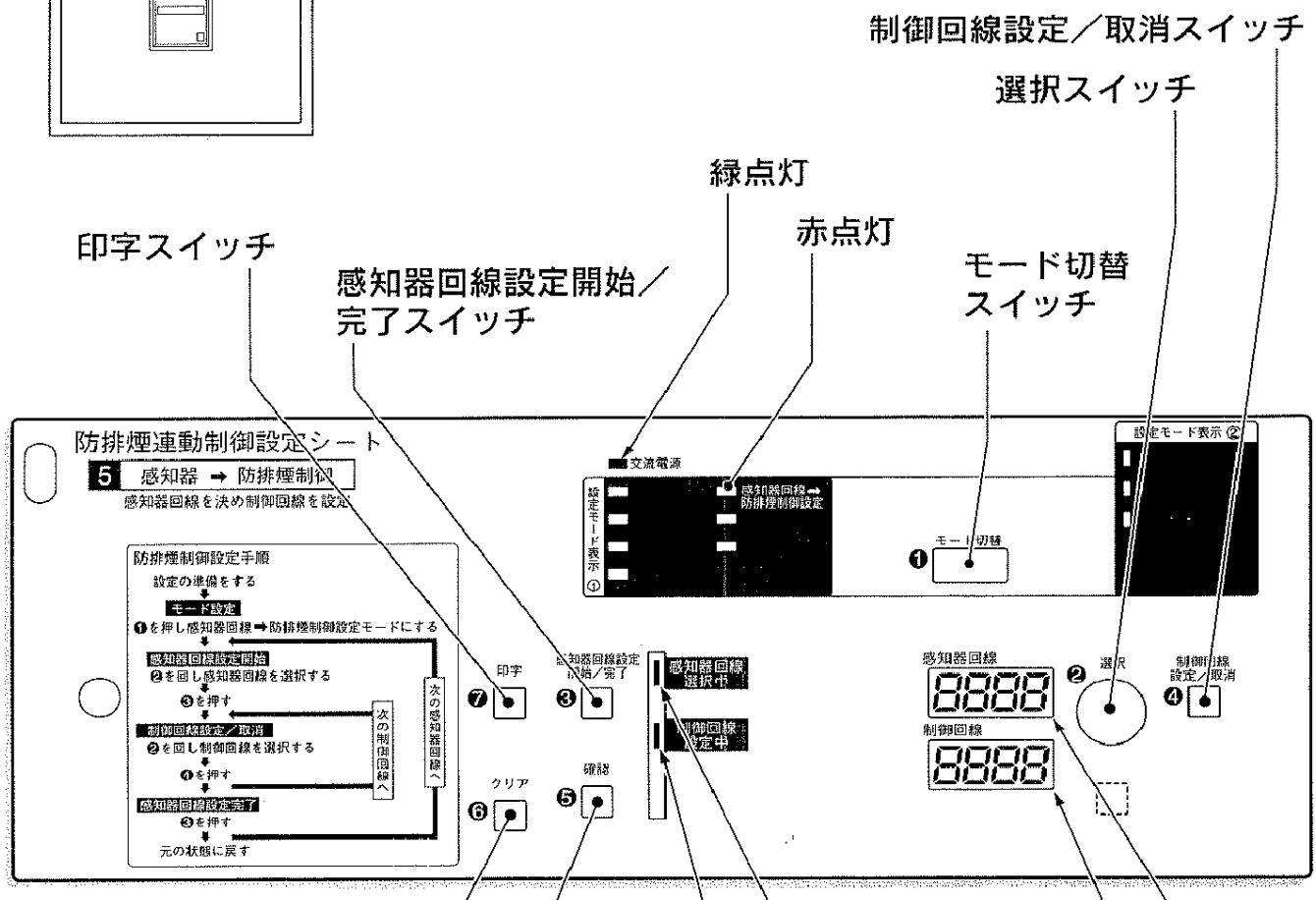


防排煙連動制御設定シート

感知器→防排煙制御設定

●感知器回線の発報信号によって、防排煙機器を作動させる場合の設定に使います。（感知器回線を決め、制御回線を設定）

注 ●防排煙連動制御設定を設定方法3または、設定方法4で行った場合は、設定方法5の操作は不要です。



変更方法

感知器→防排煙制御設定は出荷時1対1の連動で設定されています。
(1ページ参照)

設定まえの準備をする (3・4ページ参照)

連続して行う場合

項　目	操作方法	表　示	感知器回線表示部	制御回線表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、感知器→防排煙制御設定に合わす。	感知器回線選択中 制御回線設定中			――
感知器回線の設定開始	1. 選択スイッチをまわし、感知器回線を選択する。	感知器回線選択中 制御回線設定中	(注)1) 点滅 1		――
	2. 感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線選択中 制御回線設定中	点灯 1		選択された感知器回線に対する登録済みの該当の制御回線の地区灯が点滅する。
制御回線の消去	1. クリアスイッチを押す。	感知器回線選択中 制御回線設定中	点灯 1		点滅していた地区灯が消灯する。
※1 制御回線の設定	連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、制御回線を選択する。	感知器回線選択中 制御回線設定中	点灯 1	(注)2) 点滅 16	該当の制御回線の地区灯が速く点滅する。
	※2 2. 制御回線設定／取消スイッチを押す。	感知器回線選択中 制御回線設定中	点灯 1	点灯 16	地区灯の点滅が上記より遅くなる。
感知器回線の設定完了	1. 感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線選択中 制御回線設定中	点滅 2 感知器回線の設定開始で表示された次の数字を点滅表示する。		――

設定後の状態にする (4ページ参照)

●複数の感知器回線を設定するには、「感知器回線の設定開始」「制御回線の消去」「制御回線の設定」「感知器回線の設定完了」の操作を繰り返します。

※1 ●1つの感知器回線に対して複数の制御回線を設定するには、「制御回線の設定」の操作を繰り返します。

※1 ●制御回線の消去だけの場合は、「制御回線の設定」の操作は不要です。

■操作中に制御回線の設定を間違えた場合

※2 ●「制御回線の設定」の操作2のあと、制御回線設定／取消スイッチを再度、押してください。
その制御回線の設定は取り消されます。

(注)1) 感知器回線の表示について

1→2→3→4→□

(□は受信機の最大回線を表示します。)

2) 制御回線の表示について

その受信機に該当する防排煙機器回線を表示します。

設定方法3

（感知器→防排煙制御設定）

確認方法

設定まえの準備をする（2・3ページ参照）

項　目	操作方法	▌表　示	感知器回線表示部	制御回線表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、感知器→防排煙制御設定に合わす。	感知器回線選択中 制御回線設定中			―
※1 感知器回線の確認	連続して行う場合 1. 確認したい感知器回線を選択スイッチで選択する。	感知器回線選択中 制御回線設定中	(注)1) 点滅		―
	2. 確認スイッチを押す。	感知器回線選択中 制御回線設定中	点灯		選択された感知器回線に対する登録済みの該当の制御回線の地区灯が点滅する。

設定後の状態にする（4ページ参照）

※1●続けて確認するには、「感知器回線の確認」の操作を繰り返します。

(注) 1) 感知器回線の表示について

1→2→3→4→□

（□は受信機の最大回線を表示します。）

■プリンター印字で確認する場合

「モード設定」の操作のあと、印字スイッチを押してください。
「防排煙連動制御設定」の内容が一括で印字されます。

▽感知器回線ー防排煙制御回線設定
感　1回線ー制　16回線
感　16回線ー制　16回線
感　17回線ー制　17回線
感　18回線ー制　18回線
感　19回線ー制　19回線
感　20回線ー制　20回線
感　21回線ー制　21回線
感　22回線ー制　22回線
感　23回線ー制　23回線
感　24回線ー制　24回線
感　25回線ー制　25回線
感　26回線ー制　26回線
感　27回線ー制　27回線
感　28回線ー制　28回線
感　29回線ー制　29回線
感　30回線ー制　30回線

●感知器回線L1が発報すれば、防排煙制御回線D16が出力します。

(注) ●設定操作中は、それまで設定した内容がプリンター印字されますが、テーブル設定スイッチを「定位」側にし、「テーブル設定を終了します。」と音声が鳴るまで設定データは書き変わりません。

設定例

●感知器回線L16に対し防排煙制御回線D16,D19,D20(防火戸16, 防火ダンパ19,20)
感知器回線L17に対し防排煙制御回線D18(防火戸18)が作動する場合の設定

操作手順

1 添付の感知器→防排煙制御設定表に必要事項を記載する。

件名

感知器→防排煙制御設定表

No
年 月 日
記入者

防排煙制御回線 / 感知器回線	防火戸	防火ダンパ
	ER	∅
L16	D16	D19, D20
L17	D18	

(□部は出荷時設定されていますので、L16→D16の設定は不要です。)

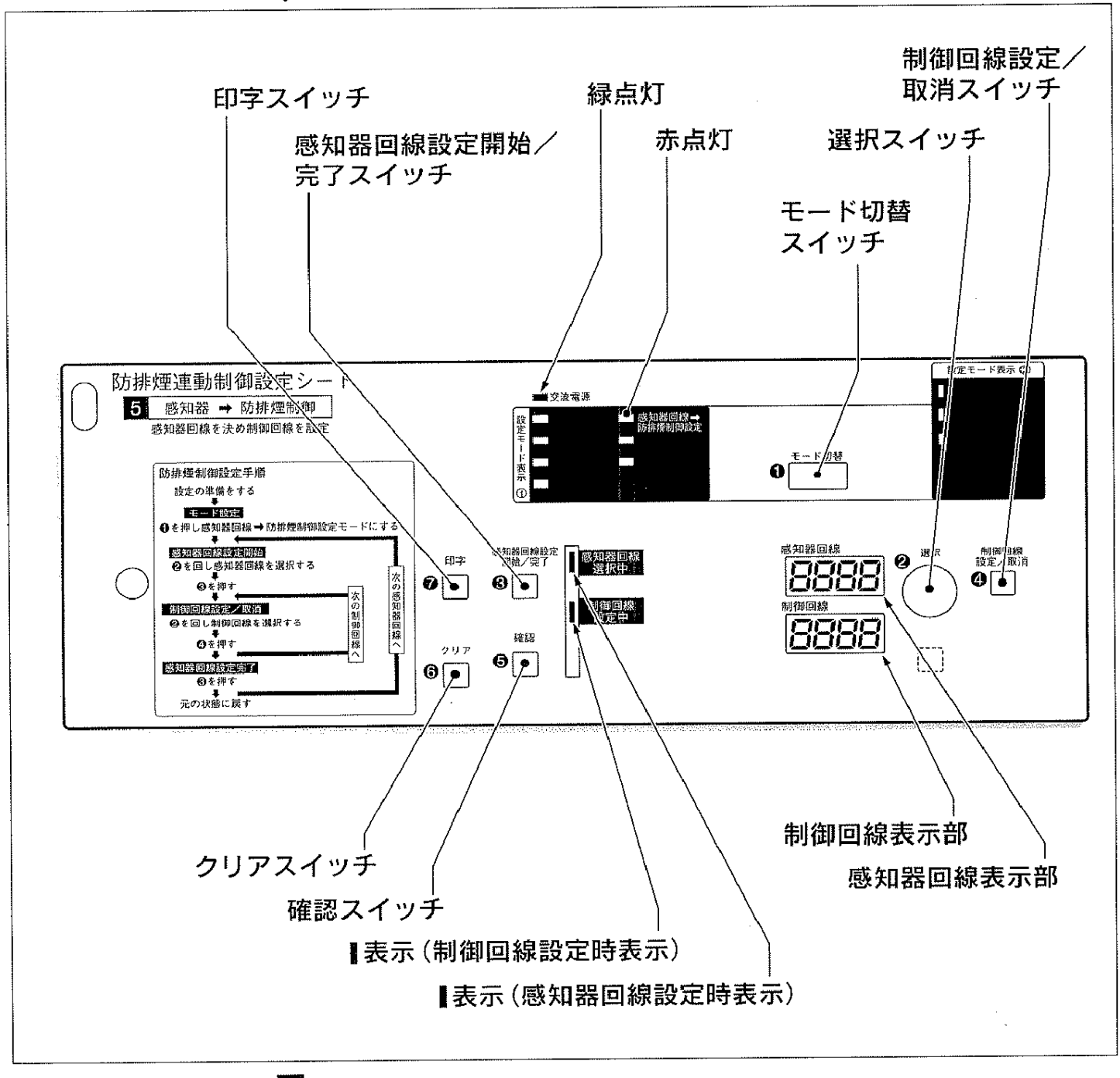
2 設定まえの準備をする (3・4ページ参照)

次ページに続く

設定方法3

（感知器→防排煙制御設定）

3 下記の手順で操作する。



次ページに続く

操作方法

	各部	操作方法	表示	感知器回線表示部	制御回線表示部	地区灯の表示
感知器回線L16の設定	❶ モード切替	1. モード切替スイッチを押し、感知器→防排煙制御設定に合わす。	感知器回線選択中 制御回線設定中			―
	❷ 選択	2. 選択スイッチをまわし、感知器回線L16を選択する。	感知器回線選択中 制御回線設定中	点滅 16		―
	感知器回線設定開始／完了 ❸	3. 感知器回線設定開始/完了スイッチを押す。	感知器回線選択中 制御回線設定中	点灯 16		(注) 16回線めの地区灯が点滅する。
	❷ 選択	4. 選択スイッチをまわし、制御回線D19を選択する。	感知器回線選択中 制御回線設定中	点灯 16	点滅 19	19回線めの地区灯が速く点滅する。 このとき16回線めの地区灯も点滅しています。
	制御回線設定／取消 ❹	5. 制御回線設定／取消スイッチを押す。	感知器回線選択中 制御回線設定中	点灯 16	点灯 19	19回線めの地区灯が速く点滅する。 このとき16回線めの地区灯も点滅しています。
	❷ 選択	6. 選択スイッチをまわし、制御回線D20を選択する。	感知器回線選択中 制御回線設定中	点灯 16	点滅 20	20回線めの地区灯が速く点滅する。 このとき16回線め、19回線めの地区灯も点滅しています。
	制御回線設定／取消 ❹	7. 制御回線設定／取消スイッチを押す。	感知器回線選択中 制御回線設定中	点灯 16	点灯 20	20回線めの地区灯の点滅が上記より遅くなる。 このとき16回線め、19回線めの地区灯も点滅しています。

次ページに続く

(注) ●当該感知器回線に対応する制御回線への1対1の連動はあらかじめ設定されています。
(例：L16入力→D16出力 設定済)

設定方法3

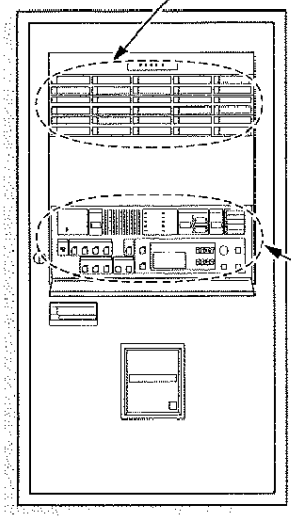
（感知器→防排煙制御設定）

	各　部	操作方法	▌表　示	感知器回線表示部	制御回線表示部	地区灯の表示
感知器回線 L16の設定	感知器回線設定 開始／完了 ❸	8. 感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線選択中 制御回線設定中	点滅 17		―
感知器回線 L17の設定	感知器回線設定 開始／完了 ❸	9. 感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線選択中 制御回線設定中	点灯 17		17回線めの地区灯が点滅する。
	クリア ❻	10. クリアスイッチを押す。	感知器回線選択中 制御回線設定中	点灯 17		点滅していた地区灯が消灯する。
	選択 ❷	11. 選択スイッチをまわし、制御回線D18を選択する。	感知器回線選択中 制御回線設定中	点灯 17	点滅 18	18回線めの地区灯が速く点滅する。
	制御回線 設定／取消 ❹	12. 制御回線設定／取消スイッチを押す。	感知器回線選択中 制御回線設定中	点灯 17	点灯 18	18回線めの地区灯の点滅が上記より遅くなる。
	感知器回線設定 開始／完了 ❸	13. 感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線選択中 制御回線設定中	点滅 18		―

4　設定後の状態にする（4ページ参照）

設定方法4

（防排煙監視→防排煙制御設定）

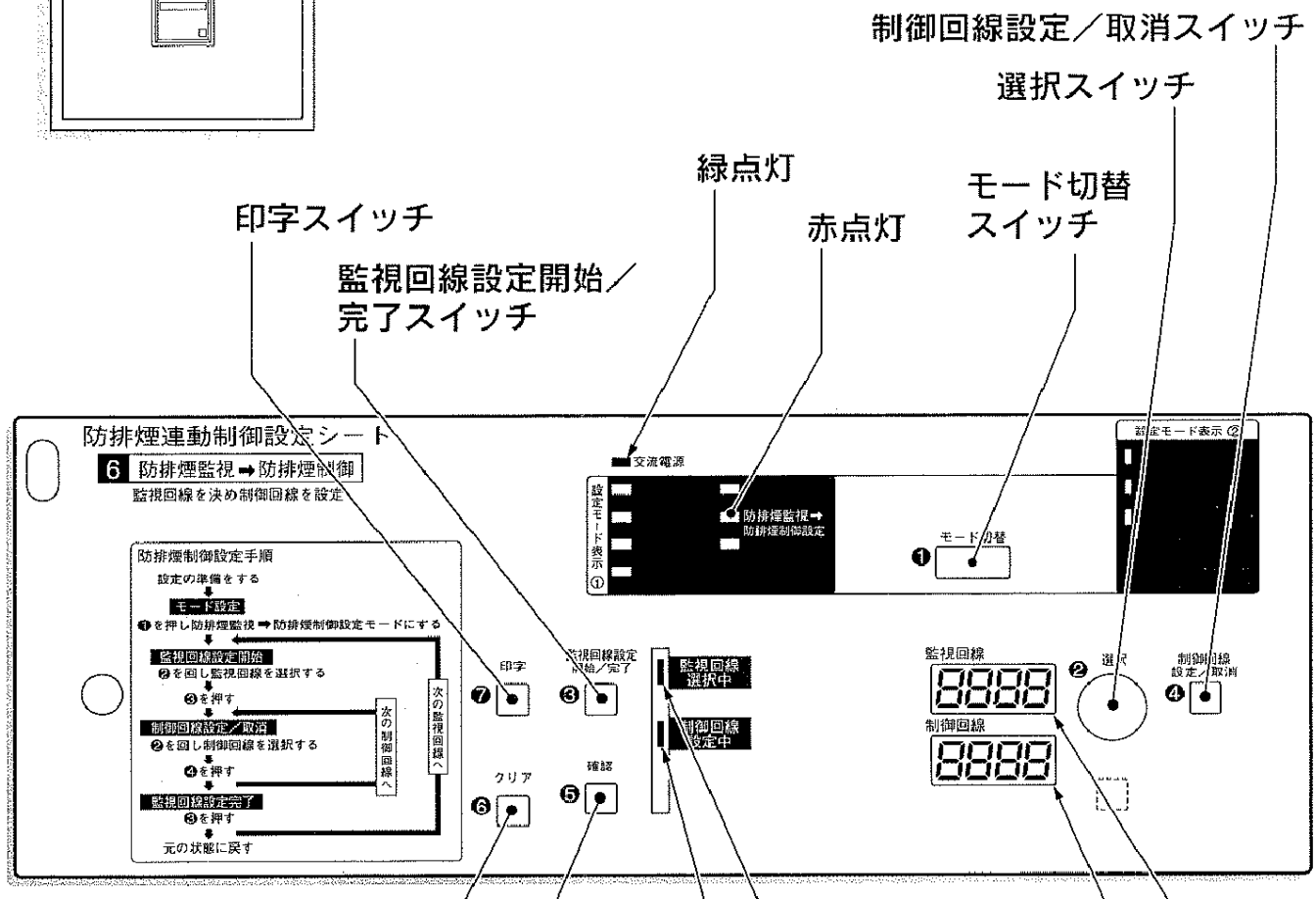


防排煙連動制御設定シート

防排煙監視→防排煙制御設定

●防排煙機器の作動信号によって、防排煙機器を作動させる場合の設定に使います。（監視回線を決め、制御回線を設定）

（注）●防排煙連動制御設定を設定方法3または、設定方法4で行った場合は、設定方法5の操作は不要です。



設定方法4

（防排煙監視→防排煙制御設定）

設定方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	監視回線表示部	制御回線表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、防排煙監視→防排煙制御設定に合わす。	監視回線選択中 制御回線設定中	(注)1) 点灯 nON		—
監視回線の設定開始	1. 選択スイッチをまわし、監視回線を選択する。	監視回線選択中 制御回線設定中	(注)2) 点滅 16		—
	2. 監視回線設定開始／完了スイッチを押す。	監視回線選択中 制御回線設定中	点灯 16		—
※1 制御回線の設定	連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、制御回線を選択する。	監視回線選択中 制御回線設定中	点灯 16	(注)2) 点滅 17	該当の制御回線の地区灯が速く点滅する。
	※2 2. 制御回線設定／取消スイッチを押す。	監視回線選択中 制御回線設定中	点灯 16	点灯 17	地区灯の点滅が上記より遅くなる。
監視回線の設定完了	1. 監視回線設定開始／完了スイッチを押す。	監視回線選択中 制御回線設定中	点滅 17 監視回線の設定開始で表示された次の数字を点滅表示する。		—

連続して行う場合

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、nON表示がでます。
2) 監視回線、制御回線の表示について
その受信機に該当する防排煙機器回線を表示します。

設定後の状態にする（4ページ参照）

●複数の監視回線を設定するには、「監視回線の設定開始」「制御回線の設定」「監視回線の設定完了」の操作を繰り返します。

※1 ●1つの監視回線に対して複数の制御回線を設定するには、「制御回線の設定」の操作を繰り返します。

■操作中に制御回線の設定を間違えた場合

※2 ●「操作回線の設定」の操作2のあと、制御回線設定／取消スイッチを再度、押してください。
その制御回線の設定は取り消されます。

確認方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	監視回線表示部	制御回線表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、防排煙監視→防排煙制御設定に合わす。	監視回線選択中 制御回線設定中			―
※1 監視回線の確認	連続して行う場合 1. 確認したい監視回線を選択スイッチで選択する。	監視回線選択中 制御回線設定中	(注)1) 点滅 16		―
	2. 確認スイッチを押す。	監視回線選択中 制御回線設定中	点灯 16		選択された監視回線に対する登録済みの該当の制御回線の地区灯が点滅する。

(注)1）監視回線の表示について
その受信機に該当する防排煙機器回線を表示します。

設定後の状態にする（4ページ参照）

※1 ●続けて確認するには、「監視回線の確認」の操作を繰り返します。

■プリンター印字で確認する場合

「モード設定」の操作のあと、印字スイッチを押してください。「防排煙連動制御設定」の内容が一括で印字されます。

▽防排煙監視回線―防排煙制御回線設定
監　16回線―制　17回線
監　16回線―制　21回線
監　16回線―制　22回線
監　17回線―制　22回線

(注)●設定操作中は、それまで設定した内容がプリンター印字されますが、テーブル設定スイッチを「定位」側にし、「テーブル設定を終了します。」と音声が鳴るまで設定データは書き変わりません。

●防排煙監視回線の16回線めには、防排煙制御回線D17・D21・D22が設定されていることを示します。

●17回線めの防排煙機器の作動信号によって、22回線めの防排煙機器に対して制御出力します。

設定方法4

（防排煙監視→防排煙制御設定）

変更方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	監視回線表示部	制御回線表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、防排煙監視→防排煙制御設定に合わす。	監視回線選択中 制御回線設定中			—
監視回線の設定開始	1. 選択スイッチをまわし、監視回線を選択する。	監視回線選択中 制御回線設定中	(注)1)　点滅 16		—
	2. 監視回線設定開始/終了スイッチを押す。	監視回線選択中 制御回線設定中	点灯 16		選択された監視回線に対する登録済みの該当の制御回線の地区灯が点滅する。
制御回線の消去	1. クリアスイッチを押す。	監視回線選択中 制御回線設定中	点灯 16		点滅していた地区灯が消灯する。
※1 制御回線の設定	連続して行う場合 → 1. 選択スイッチをまわし、制御回線を選択する。	監視回線選択中 制御回線設定中	点灯 16	(注)1)　点滅 17	該当の制御回線の地区灯が速く点滅する。
	連続して行う場合 → ※2 2. 制御回線設定/取消スイッチを押す。	監視回線選択中 制御回線設定中	点灯 16	点灯 17	地区灯の点滅が上記より遅くなる。
監視回線の設定完了	1. 監視回線設定開始/終了スイッチを押す。	監視回線選択中 制御回線設定中	点滅 17 監視回線の設定開始で表示された次の数字を点滅表示する。		—

連続して行う場合

設定後の状態にする（4ページ参照）

●複数の監視回線を変更するには、「監視回線の設定開始」「制御回線の消去」「制御回線の設定」「監視回線の設定完了」の操作を繰り返します。

※1 ●制御回線の消去だけの場合は、「制御回線の設定」の操作は不要です。

■操作中に制御回線の設定を間違えた場合

※2 ●「制御回線の設定」の操作2のあと、制御回線設定／取消スイッチをその制御回線の設定は取り消されます。

(注)1) 監視回線・制御回線の表示について

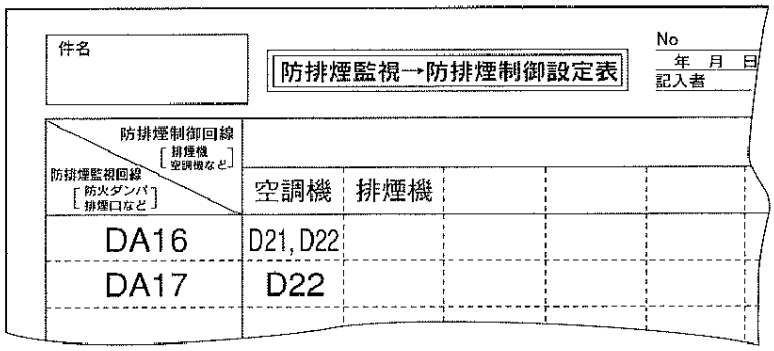
その受信機に該当する防排煙機器回線を表示します。

設定例

●防排煙監視回線DA16（防火ダンパ16）に対し、防排煙制御回線D21,D22（空調機21,22）防排煙監視回線DA17（防火ダンパ17）に対し、防排煙制御回線D22（空調機22）が作動する場合の設定

操作手順

1 添付の防排煙監視→防排煙制御設定表に必要事項を記載する。



件名

防排煙監視→防排煙制御設定表

No
年 月 日
記入者

防排煙監視回線［防火ダンパ 排煙口など］ ＼ 防排煙制御回線［排煙機 空調機など］	空調機	排煙機			
DA16	D21, D22				
DA17	D22				

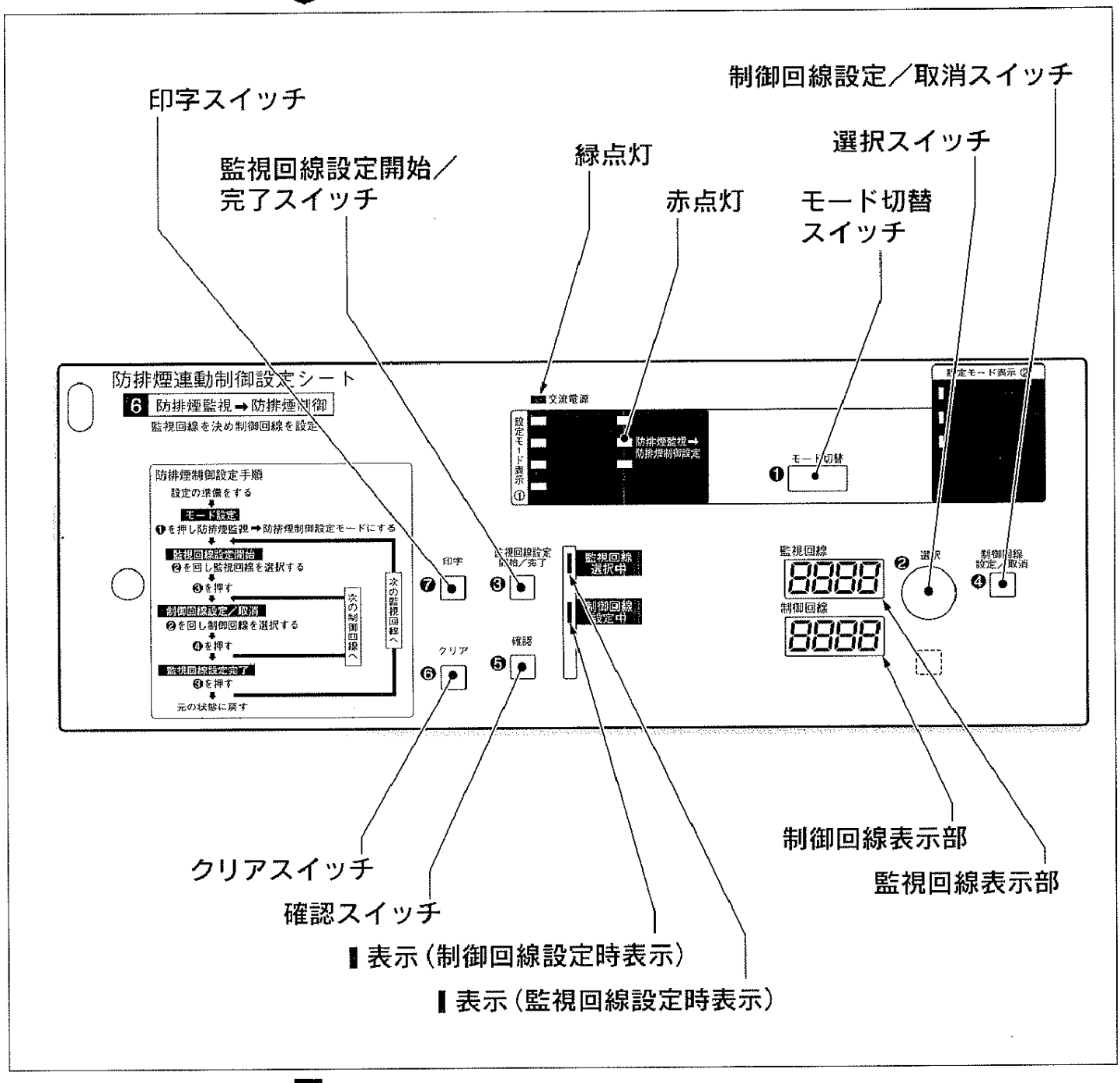
2 設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

次ページに続く

設定方法4

（防排煙監視→防排煙制御設定）

3 下記の手順で操作する。



次ページに続く

操作方法

	各　部	操作方法	表　示	監視回線表示部	制御回線表示部	地区灯の表示
	❶ モード切替	1. モード切替スイッチを押し、防排煙監視→防排煙制御設定に合わす。	監視回線選択中 制御回線設定中	(注)1) 点灯 non		—
監視回線DA16の設定	❷ 選択	2. 選択スイッチをまわし、監視回線DA16を選択する。	監視回線選択中 制御回線設定中	点滅 16		—
	監視回線設定開始／完了 ❸	3. 監視回線設定開始／完了スイッチを押す。	監視回線選択中 制御回線設定中	点灯 16		—
	❷ 選択	4. 選択スイッチをまわし、制御回線D21を選択する。	監視回線選択中 制御回線設定中	点灯 16	点滅 21	21回線めの地区灯が速く点滅する。
	制御回線設定／取消 ❹	5. 制御回線設定／取消スイッチを押す。	監視回線選択中 制御回線設定中	点灯 16	点灯 21	21回線めの地区灯の点滅が上記より遅くなる。
	❷ 選択	6. 選択スイッチをまわし、制御回線D22を選択する。	監視回線選択中 制御回線設定中	点灯 16	点滅 22	22回線めの地区灯が速く点滅する。 このとき21回線めの地区灯も点滅しています。
	制御回線設定／取消 ❹	7. 制御回線設定／取消スイッチを押す。	監視回線選択中 制御回線設定中	点灯 16	点灯 22	22回線めの地区灯の点滅が上記より遅くなる。 このとき21回線めの地区灯も点滅しています。

次ページに続く

(注) 1) なにも設定されていないときは、「モード設定」の操作時に non 表示がでます。

設定方法4

（防排煙監視→防排煙制御設定）

	各　部	操作方法	表　示	監視回線表示部	制御回線表示部	地区灯の表示
監視回線DA17の設定	監視回線設定開始／完了 ❸	8. 監視回線設定開始／完了スイッチを押す。	監視回線選択中 制御回線設定中	点滅 17		—
	監視回線設定開始／完了 ❸	9. 監視回線設定開始／完了スイッチを押す。	監視回線選択中 制御回線設定中	点灯 17		—
	❷ 選択	10. 選択スイッチをまわし、制御回線D22を選択する。	監視回線選択中 制御回線設定中	点灯 17	点滅 22	22回線めの地区灯が速く点滅する。
	制御回線設定／取消 ❹	11. 制御回線設定／取消スイッチを押す。	監視回線選択中 制御回線設定中	点灯 17	点灯 22	22回線めの地区灯の点滅が上記より遅くなる。
	監視回線設定開始／完了 ❸	12. 監視回線設定開始／完了スイッチを押す。	監視回線選択中 制御回線設定中	点滅 18		—

4 設定後の状態にする（4ページ参照）

設定方法5

（防排煙制御→感知器設定）
（防排煙制御→防排煙監視設定）

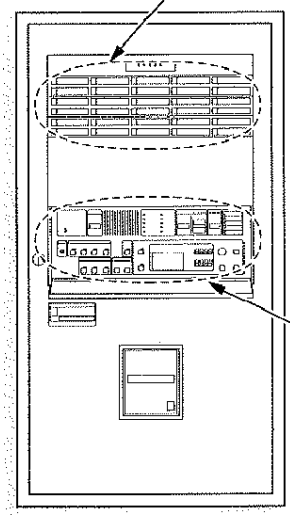
防排煙連動制御設定シート

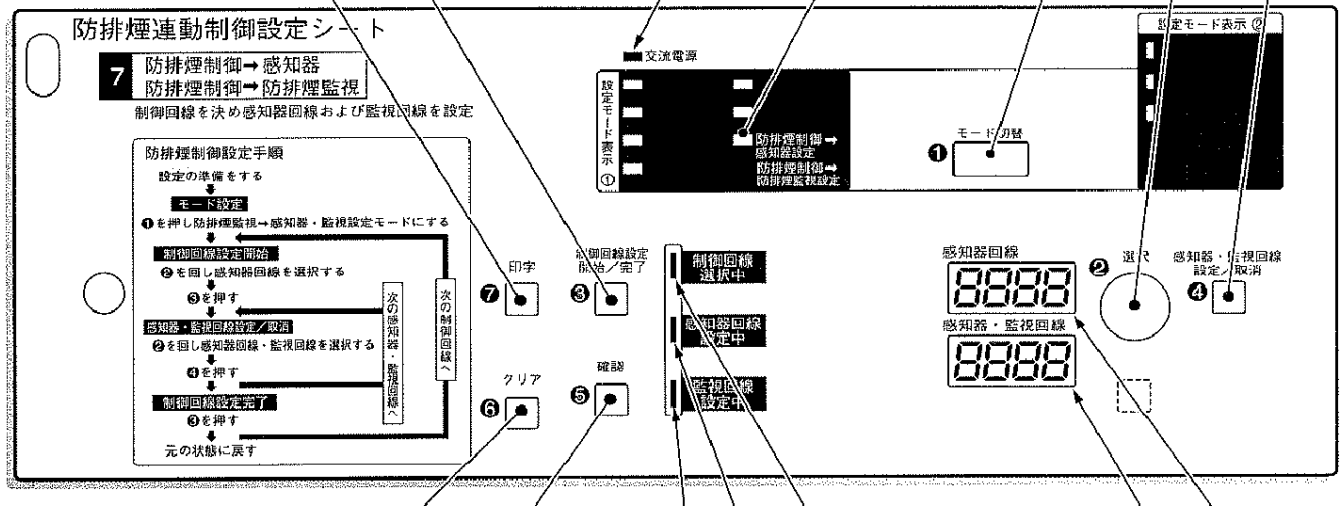
防排煙制御→感知器設定

防排煙制御→防排煙監視設定

●防排煙制御回線を決め、その防排煙回線を制御する連動のきっかけとなる火災信号（感知器回線）と作動信号（監視回線）を設定することで、火災発報時および作動信号入力時に自動的に防排煙機器の連動制御を行う場合の設定に使います。

注 ●防排煙連動制御設定を設定方法3または、設定方法4で行った場合は、設定方法5の操作は不要です。





感知器・監視回線
設定／取消スイッチ

選択スイッチ

印字スイッチ

緑点灯　赤点灯

モード切替
スイッチ

制御回線設定開始／
完了スイッチ

クリアスイッチ

確認スイッチ

感知器・監視
回線表示部

▌表示（監視回線設定時表示）

▌表示（感知器回線設定時表示）

▌表示（制御回線設定時表示）

制御回線表示部

設定方法5

（防排煙制御→感知器設定）
（防排煙制御→防排煙監視設定）

変更方法　防排煙制御→感知器・防排煙監視設定は出荷時1対1の連動で設定されています。（1ページ参照）

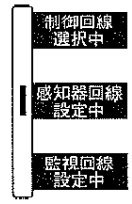
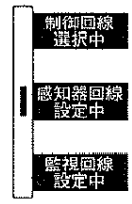
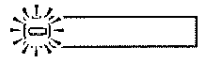
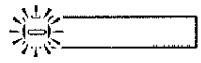
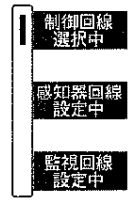
設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	制御回線表示部	感知器/監視回線表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、防排煙制御→感知器設定、防排煙制御→防排煙監視設定に合わす。	制御回線選択中 感知器回線設定中 監視回線設定中			――
制御回線の設定開始	1. 選択スイッチをまわし、制御回線を選択する。	制御回線選択中 感知器回線設定中 監視回線設定中	注1）　点滅 16		――
	2. 制御回線設定開始／完了スイッチを押す。	制御回線選択中 感知器回線設定中 監視回線設定中	点灯 16		選択された制御回線に対する感知器／監視回線の地区灯が点滅する。 地区灯（上側）……感知器回線を示す。 地区灯（下側）……監視回線を示す。
感知器／監視回線の消去	1. クリアスイッチを押す。	制御回線選択中 感知器回線設定中 監視回線設定中	点灯 16		点滅していた地区灯が消灯する。

連続して行う場合

次ページに続く

連続して行う場合

項　目	操作方法	▌表　示	制御回線表示部	感知器/監視回線表示部	地区灯の表示
※1 感知器／監視回線の設定	**感知器回線の場合** 連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、連動のきっかけとなる感知器回線を選択する。		点灯 16	(注)2) 点滅 1	該当の感知器回線の地区灯(上側)が速く点滅する。
	※2 2. 感知器・監視回線設定／取消スイッチを押す。		点灯 16	点灯 1	地区灯(上側)の点滅が上記より遅くなる。 
	監視回線の場合 連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、連動のきっかけとなる監視回線を選択する。		点灯 16	(注)1) 点滅 18	該当の監視回線の地区灯(下側)が速く点滅する。
	※2 2. 感知器・監視回線設定／取消スイッチを押す。		点灯 16	点灯 18	地区灯(下側)の点滅が上記より遅くなる。 
制御回線の設定完了	1. 制御回線設定開始／完了スイッチを押す。		点滅 17 制御回線の設定開始で表示された次の数字を点滅表示する。		—

設定後の状態にする（4ページ参照）

●複数の感知器／監視回線を設定するには、「制御回線の設定開始」「感知器／監視回線の消去」「感知器／監視回線の設定」「制御回線の設定完了」の操作を繰り返します。

※1 ●1つの制御回線に対して複数の感知器／監視回線を設定するには、「感知器／監視回線の設定」の操作を繰り返します。

※1 ●制御回線の消去だけの場合は、「感知器／監視回線の設定」の操作は不要です。

■操作中に感知器／監視回線の設定を間違えた場合

※2 ●「感知器／監視回線の設定」の操作2のあと、感知器・監視回線設定／取消スイッチを再度、押してください。その感知器／監視回線の設定は取り消されます。

(注)1) 制御回線、監視回線の表示について
その受信機に該当する防排煙機器回線を表示します。

2) 感知器回線の表示について
1→2→3→4→□
(□は受信機の最大回線を表示します。)

設定方法5

（防排煙制御→感知器設定）
（防排煙制御→防排煙監視設定）

確認方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	制御回線表示部	感知器/監視回線表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、防排煙制御→感知器設定、防排煙制御→防排煙監視設定に合わす。	制御回線選択中 感知器回線設定中 監視回線設定中			―
※1 制御回線の確認	連続して行う場合 1. 確認したい制御回線を選択スイッチで選択する。	制御回線選択中 感知器回線設定中 監視回線設定中	(注)1)　点滅 15		―
	2. 確認スイッチを押す。	制御回線選択中 感知器回線設定中 監視回線設定中	点灯 15		選択された制御回線に対する感知器／監視回線の地区灯が点滅する。 地区灯（上側）……感知器回線を示す。 地区灯（下側）……監視回線を示す。

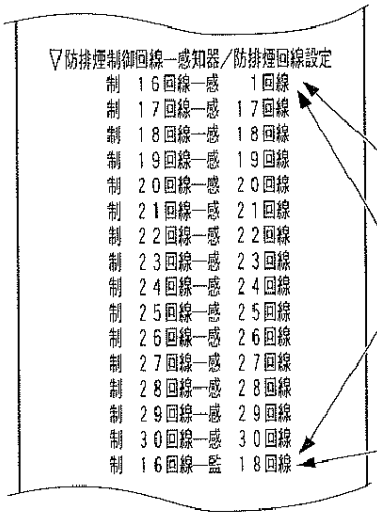
設定後の状態にする（4ページ参照）

※1 ●続けて確認するには、「制御回線の確認」の操作を繰り返します。

(注)1) 制御回線の表示について
その受信機に該当する防排煙機器回線を表示します。

■プリンター印字で確認する場合

「モード設定」の操作のあと、印字スイッチを押してください。
「防排煙連動制御設定」の内容が一括で印字されます。



(注) ●設定操作中は、それまで設定した内容がプリンター印字されますが、テーブル設定スイッチを「定位」側にし、「テーブル設定を終了します。」と音声が鳴るまで設定データは書き変わりません。

●防排煙制御回線の16回線めには、感知器回線L1と防排煙監視回線DA18が設定されていることを示します。

●感知器回線L1が、発報すれば防排煙制御回線D16が出力します。

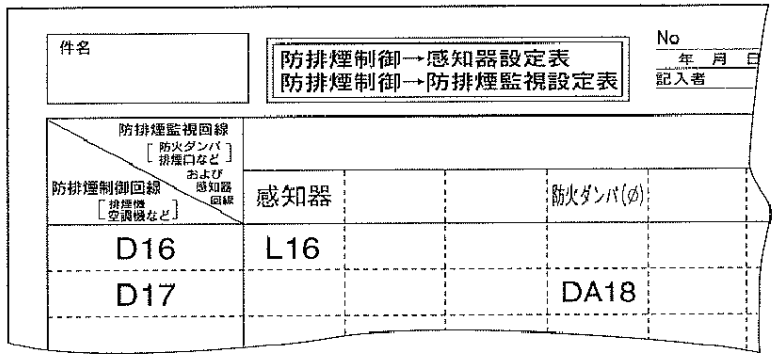
●18回線めの防排煙機器の作動信号によって、16回線めの防排煙機器に対して制御出力します。

設定例

●防排煙制御回線D16（排煙機16）に対し連動のきっかけとなる感知器回線L16（感知器16）、防排煙制御回線D17（空調機17）に対し連動のきっかけとなる防排煙監視回線DA18（防火ダンパ18）が接続されている場合の設定

操作手順

1 添付の防排煙制御→感知器・防排煙監視設定表に必要事項を記載する。



件名

防排煙制御→感知器設定表
防排煙制御→防排煙監視設定表

No
年 月 日
記入者

防排煙制御回線［排煙機 空調機など］ ＼ 防排煙監視回線［防火ダンパ 排煙口など］および感知器回線	感知器			防火ダンパ(ø)	
D16	L16				
D17				DA18	

（□部は出荷時設定されていますので、D16→L16の設定は不要です。）

↓

2 設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

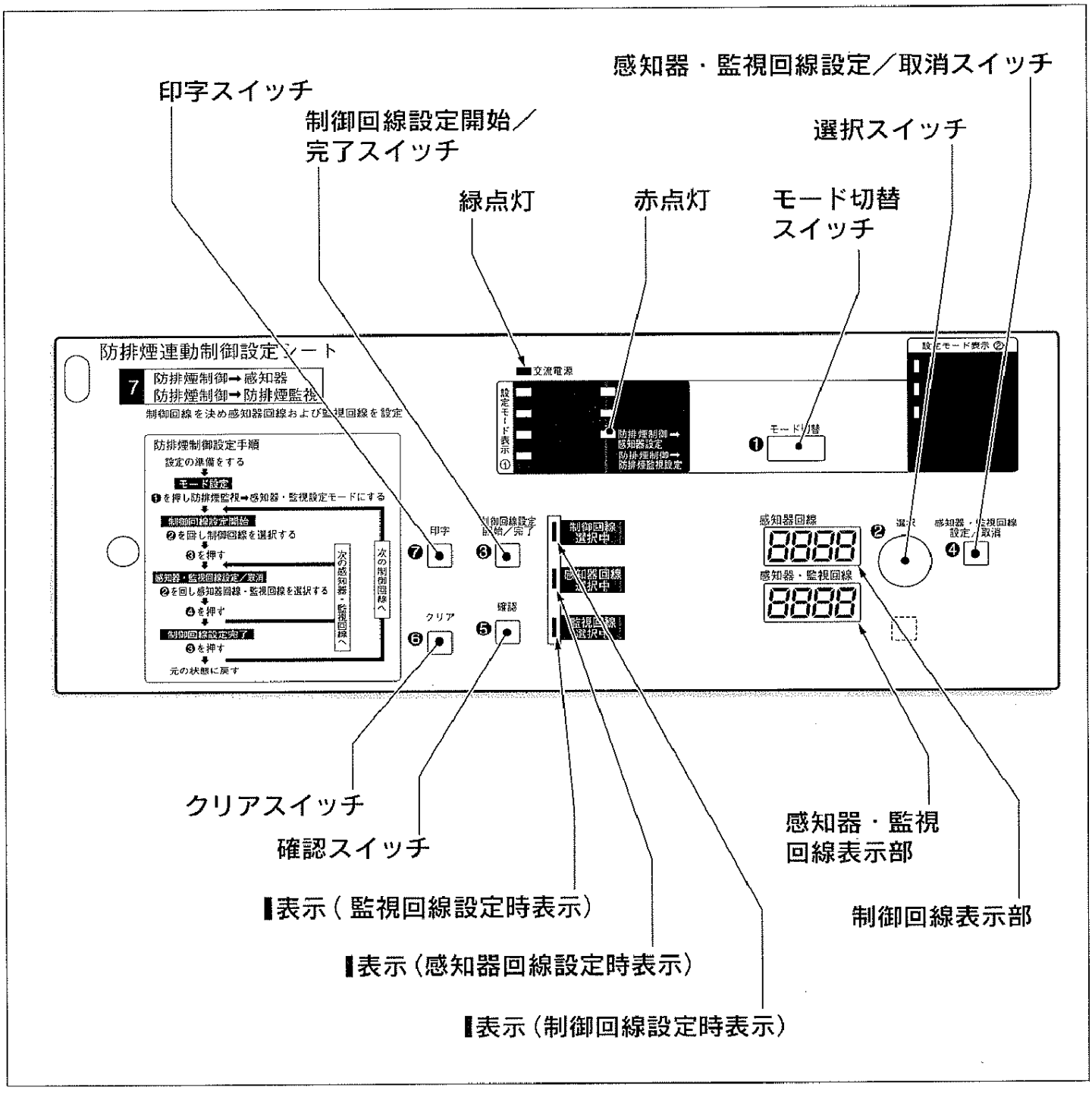
↓

次ページに続く

設定方法5

（防排煙制御→感知器設定）
（防排煙制御→防排煙監視設定）

3 下記の手順で操作する。



次ページに続く

操作方法

	各　部	操作方法	表　示	制御回線表示部	感知器/監視回線表示部	地区灯の表示
	❶ モード切替	1. モード切替スイッチを押し、防排煙制御→感知器設定、防排煙制御→防排煙監視設定に合わす。	制御回線選択中 感知器回線設定中 監視回線設定中			――
防排煙制御回線D17の設定	❷ 選択	2. 選択スイッチをまわし、制御回線DA17を選択する。	制御回線選択中 感知器回線設定中 監視回線設定中	点滅 17		――
	❸ 制御回線設定開始／完了	3. 制御回線設定開始／完了スイッチを押す。	制御回線選択中 感知器回線設定中 監視回線設定中	点灯 17		17回線めの感知器回線の地区灯（上側）が点滅する。
	❻ クリア	4. クリアスイッチを押す。	制御回線選択中 感知器回線設定中 監視回線設定中	点灯 17		点滅していた地区灯が消灯する。
	❷ 選択	5. 選択スイッチをまわし、運動のきっかけとなる監視回線DA18を選択する。	制御回線選択中 感知器回線設定中 監視回線設定中	点灯 17	点滅 18	18回線めの監視回線の地区灯（下側）が速く点滅する。
	❹ 感知器・監視回線設定／取消	6. 感知器・監視回線設定／取消スイッチを押す。	制御回線選択中 感知器回線設定中 監視回線設定中	点灯 17	点灯 18	18回線めの地区灯（下側）の点滅が上記より遅くなる。
	❸ 制御回線設定開始／完了	7. 制御回線設定開始／完了を押す。	制御回線選択中 感知器回線設定中 監視回線設定中	点滅 18		――

（注）●当該感知器回線に対応する制御回線への1対1の連動はあらかじめ設定されています。
（例：L16入力→D16出力 設定済）

4 設定後の状態にする（4ページ参照）

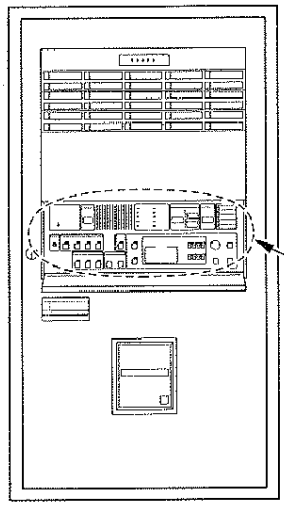
設定方法6

（接続するアイソレータアドレス設定）

アイソレータアドレス設定シート

接続するアイソレータアドレス設定

●アイソレータを接続する場合に使います。
（接続するアイソレータアドレスを設定）



【接続するアイソレータアドレス設定部】

アイソレータアドレス 設定／取消スイッチ

選択スイッチ

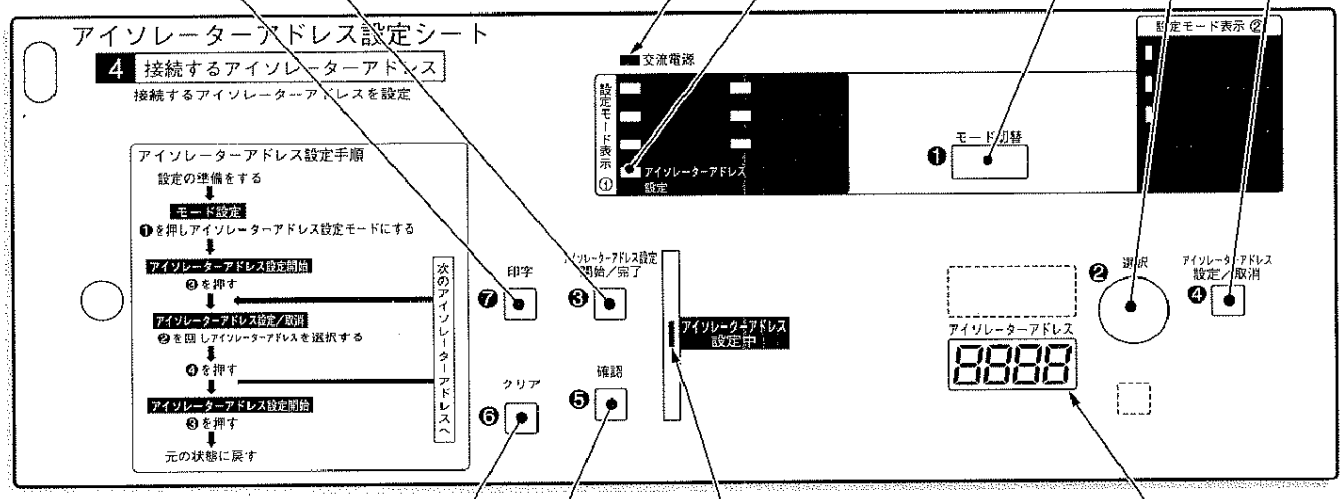
印字スイッチ

緑点灯

モード切替
スイッチ

アイソレータアドレス設定
開始／完了スイッチ

赤点灯



クリアスイッチ

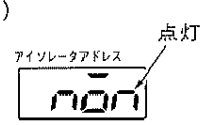
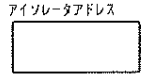
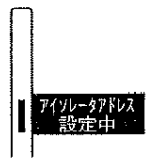
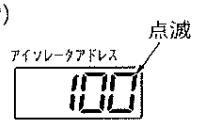
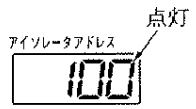
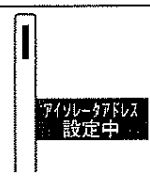
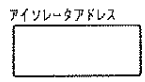
確認スイッチ

アイソレータアドレス
表示部

▌表示（アイソレータアドレス設定時表示）

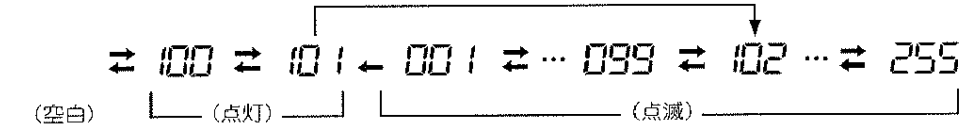
設定方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	アイソレータアドレス表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、アイソレータアドレス設定に合わす。		(注)1) 	——
アイソレータアドレスの設定開始	1. アイソレータアドレス設定開始／完了スイッチを押す。			——
※1 アイソレータアドレスの設定	連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、アイソレータアドレスを選択する。		(注)2) 	——
	※2 2. アイソレータアドレス設定／取消スイッチを押す。			——
アイソレータアドレスの設定終了	1. アイソレータアドレス設定開始／完了スイッチを押す。			——

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、non 表示がでます。

2) アイソレータアドレスの表示について



(空白)…先頭を示します。
(点灯)…すでに設定済みのアドレスがあれば、優先して点灯表示します。
(点滅)…まだ設定されていないアドレスを点滅表示します。

設定後の状態にする（4ページ参照）

※1 ●複数のアイソレータアドレスを設定するには、「アイソレータアドレスの設定」の操作を繰り返します。

■操作中にアイソレータアドレスの設定を間違えた場合

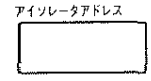
※2 ●「アイソレータアドレスの設定」の操作2のあと、アイソレータアドレス設定／取消スイッチを再度、押してください。
そのアイソレータアドレスの設定は取り消されます。

設定方法6

（接続するアイソレータアドレス設定）

確認方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	アイソレータアドレス表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、アイソレータアドレス設定に合わす。		注1) 	――
アイソレータアドレスの確認	1. 確認スイッチを押す。		注2) 	――

注）1）なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、n̄0̄n̄ 表示がでます。

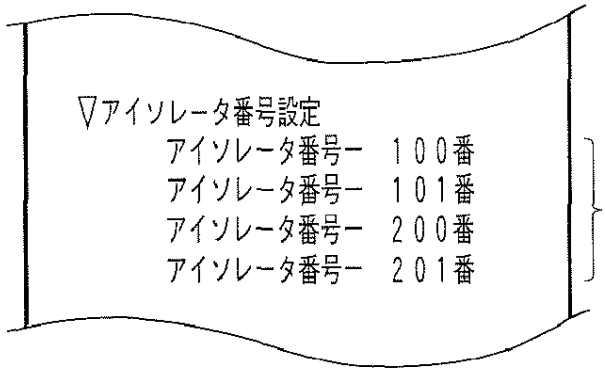
2）感知器アドレスの確認表示について

- なにも設定されていないときは、空白となります。
- 複数アドレス設定されているときは、設定されているアドレスを順番に表示します。

設定後の状態にする（4ページ参照）

■プリンター印字で確認する場合

「モード設定」の操作のあと、印字スイッチを押してください。
「アイソレータアドレス設定」の内容が一括で印字されます。

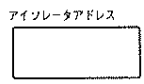
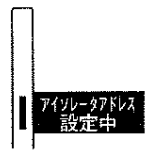
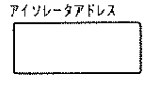
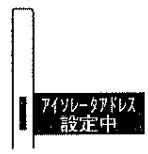
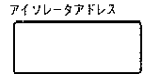
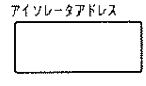


注）●設定操作中は、それまで設定した内容がプリンター印字されますが、テーブル設定スイッチを「定位」側にし、「テーブル設定を終了します。」と音声が鳴るまで設定データは書き変わりません。

●接続する4コのアイソレータのアドレスとして「100」「101」「200」「201」が設定されていることを示します。

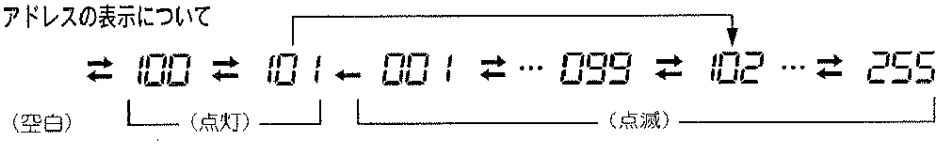
変更方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項目	操作方法	表示	アイソレータアドレス表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、アイソレータアドレス設定に合わす。		(注)1) 	―
アイソレータアドレスの設定開始	1. アイソレータアドレス設定開始／完了スイッチを押す。			―
アイソレータアドレスの消去	1. クリアスイッチを押す。			―
※1 アイソレータアドレスの設定	連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、アイソレータアドレスを選択する。		(注)2) 	―
	※2 2. アイソレータアドレス設定／取消スイッチを押す。			―
アイソレータアドレスの設定終了	1. アイソレータアドレス設定開始／完了スイッチを押す。			―

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、nOn 表示がでます。

2) アイソレータアドレスの表示について



(空白)…先頭を示します。
(点灯)…すでに設定済みのアドレスがあれば、優先して点灯表示します。
(点滅)…まだ設定されていないアドレスを点滅表示します。

設定後の状態にする（4ページ参照）

※1 ●複数のアイソレータアドレスを設定するには、「アイソレータアドレスの設定」の操作を繰り返します。

■操作中にアイソレータアドレスの設定を間違えた場合

※2 ●「アイソレータアドレスの設定」の操作2のあと、アイソレータアドレス設定／取消スイッチを再度、押してください。
そのアイソレータアドレスの設定は取り消されます。

設定方法6

（接続するアイソレータアドレス設定）

設定例

●アドレス「100」「101」のアイソレータを接続する場合の設定

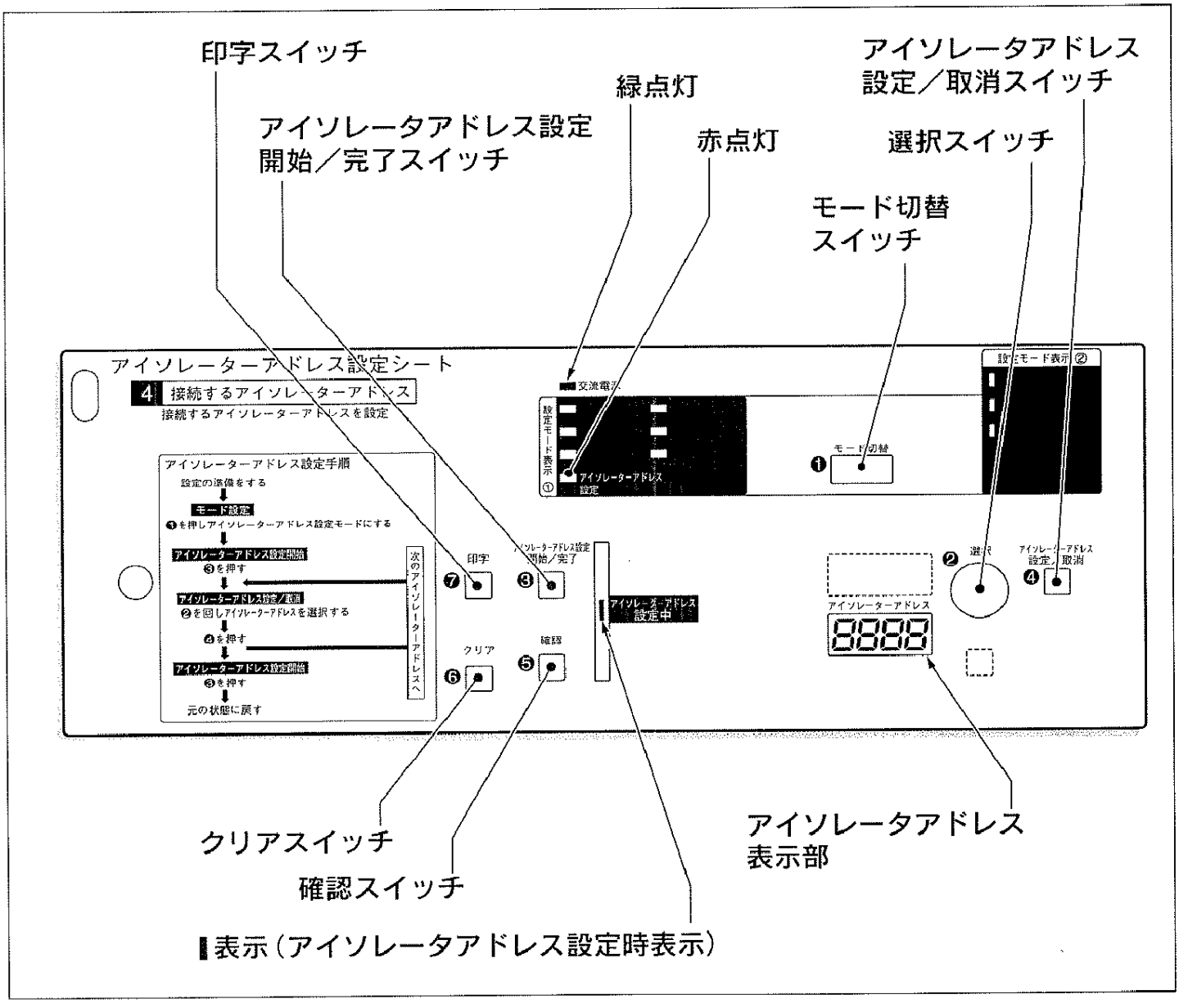
操作手順

1 設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

↓

2 下記の手順で操作する。

↓



↓

次ページに続く

操作方法

	各　部	操作方法	表　示	アイソレータアドレス表示部	地区灯の表示
アイソレータアドレス「100」の設定	❶ モード切替	1. モード切替スイッチを押し、アイソレータアドレス設定に合わす。	アイソレータアドレス設定中	(注)1) 点灯 アイソレータアドレス nON	―
	❸ アイソレータアドレス設定開始／完了	2. アイソレータアドレス設定開始／完了スイッチを押す。	アイソレータアドレス設定中	アイソレータアドレス	―
	❷ 選択	3. 選択スイッチをまわし、アイソレータアドレス「100」を選択する。	アイソレータアドレス設定中	(注)2) 点滅 アイソレータアドレス 100	―
	❹ アイソレータアドレス設定／取消	4. アイソレータアドレススイッチ設定／取消を押す。	アイソレータアドレス設定中	点灯 アイソレータアドレス 100	―
アイソレータアドレス「101」の設定	❷ 選択	5. 選択スイッチをまわし、アイソレータアドレス「101」を選択する。	アイソレータアドレス設定中	(注)2) 点滅 アイソレータアドレス 101	―
	❹ アイソレータアドレス設定／取消	6. アイソレータアドレススイッチ設定／取消を押す。	アイソレータアドレス設定中	点灯 アイソレータアドレス 101	―
	❸ アイソレータアドレス設定開始／完了	7. アイソレータアドレス設定開始／完了スイッチを押す。	アイソレータアドレス設定中	アイソレータアドレス	―

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、nON 表示がでます。
2) アイソレータアドレスの表示について

⇄ 100 ⇄ 101 ← 001 ⇄ … 099 ⇄ 102 … ⇄ 255
(空白) └(点灯)┘ └(点滅)┘

(空白)…先頭を示します。
(点灯)…すでに設定済みのアドレスがあれば、優先して点灯表示します。
(点滅)…まだ設定されていないアドレスを点滅表示します。

3 設定後の状態にする (4ページ参照)

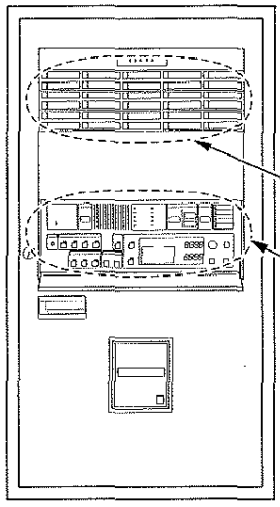
設定方法7

（非蓄積とする感知器回線設定）

非蓄積回線設定シート

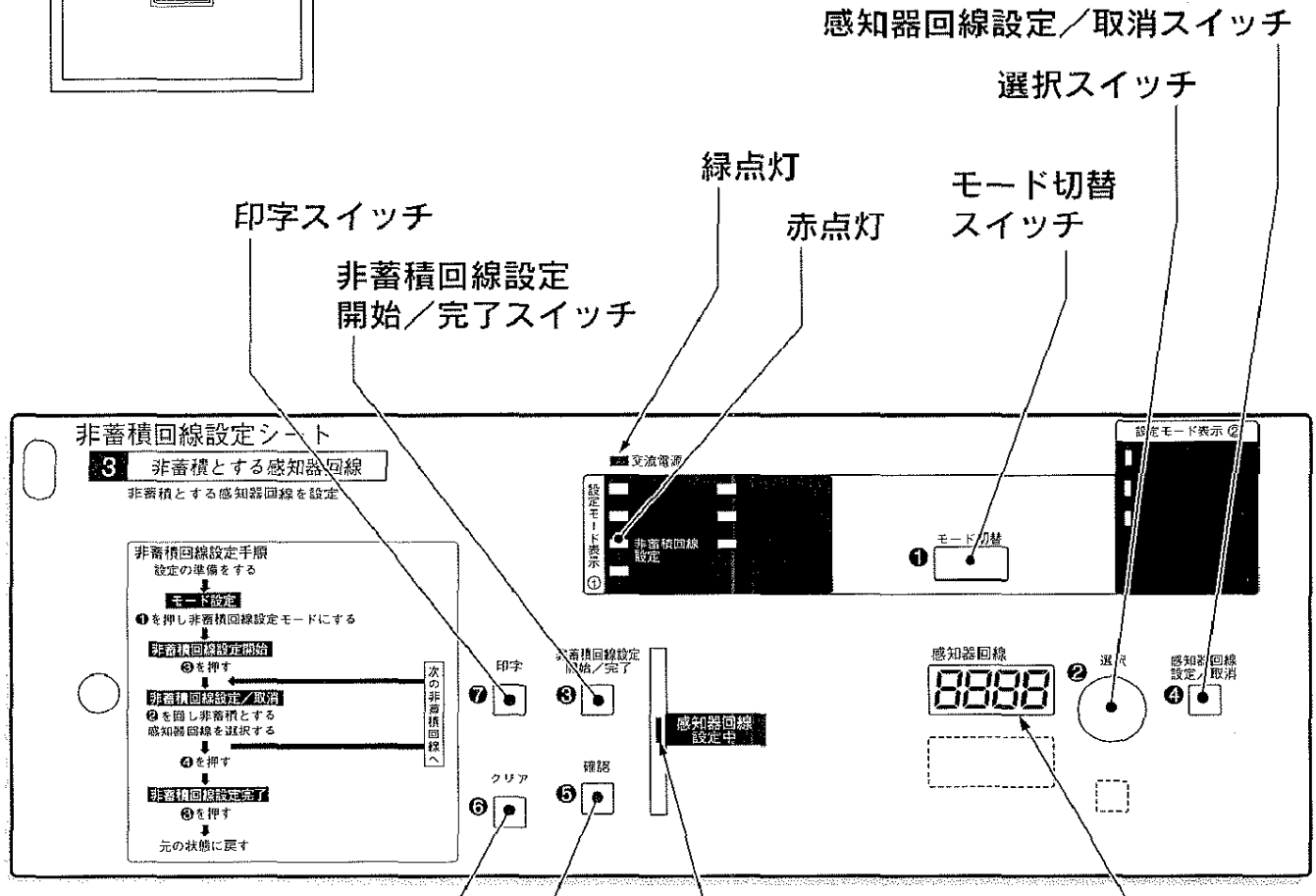
非蓄積とする感知器回線設定

●非蓄積で発報させる感知器回線の設定に使います。（非蓄積とする感知器回線を設定）



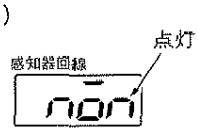
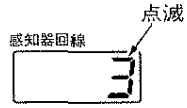
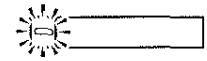
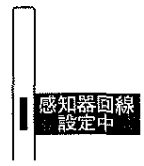
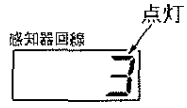
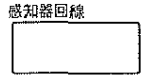
【地区灯】

【非蓄積感知器回線設定部】



設定方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	感知器回線表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、非蓄積回線設定に合わす。		(注)1) 	——
非蓄積回線の設定開始	1. 非蓄積回線設定開始／完了スイッチを押す。			——
※1 感知器回線の設定	連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、感知器回線を選択する。			該当の感知器回線の地区灯が速く点滅する。 
	※2 2. 感知器回線設定／取消スイッチを押す。			地区灯の点滅が上記より遅くなる。
非蓄積回線の設定完了	1. 非蓄積回線設定開始／完了スイッチを押す。			——

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、non 表示がでます。

設定後の状態にする（4ページ参照）

※1 ●複数の非蓄積回線を設定するには、「感知器回線の設定」の操作を繰り返します。

■操作中に感知器回線の設定を間違えた場合

※2 ●「感知器回線の設定」の操作のあと、感知器回線設定／取消スイッチを再度、押してください。
その感知器回線の設定は取り消されます。

設定方法7

（非蓄積とする感知器回線設定）

確認方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	感知器回線表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、非蓄積回線設定に合わす。	感知器回線設定中	(注)1) 感知器回線	——
非蓄積回線の設定開始	2. 確認スイッチを押す。	感知器回線設定中	感知器回線	登録済みの感知器回線の地区灯が点滅する。

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、nON 表示がでます。

設定後の状態にする（4ページ参照）

■プリンター印字で確認する場合

「モード設定」の操作のあと、印字スイッチを押してください。
「非蓄積回線設定」の内容が一括で印字されます。

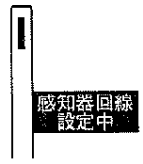
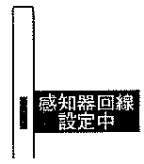
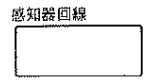
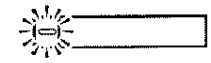
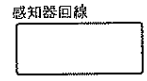
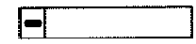
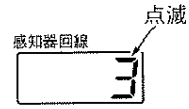
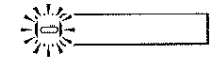
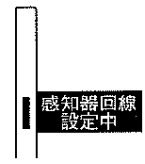
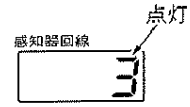
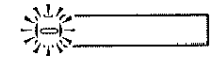
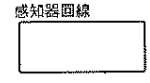
▽蓄積/非蓄積設定
非蓄積一感　3回線
非蓄積一感　4回線
非蓄積一感　6回線
非蓄積一感　7回線

(注) ●設定操作中は、それまで設定した内容がプリンター印字されますが、テーブル設定スイッチを「定位」側にし、「テーブル設定を終了します。」と音声が鳴るまで設定データは書き変わりません。

●非蓄積で発報させる回線として、感知器回線③④⑥⑦が設定されていることを示します。

変更方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	▮表　示	感知器回線表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、非蓄積回線設定に合わす。		(注)1) 	——
非蓄積回線の設定開始	1. 非蓄積回線設定開始／完了スイッチを押す。			登録済みの感知器回線の地区灯が点滅する。 
非蓄積回線の消去	1. クリアスイッチを押す。			点滅していた地区灯が消灯する。 
※1 感知器回線の設定	連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、感知器回線を選択する。			該当の感知器回線の地区灯が速く点滅する。 
	※2 2. 感知器回線設定／取消スイッチを押す。			地区灯の点滅が上記より遅くなる。 
非蓄積回線の設定完了	1. 非蓄積回線設定開始／完了スイッチを押す。			——

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、non 表示がでます。

設定後の状態にする（4ページ参照）

※1 ●非蓄積回線の消去だけの場合は、「感知器回線の設定」の操作は不要です。

※1 ●複数の非蓄積回線を設定するには、「感知器回線の設定」の操作を繰り返します。

■操作中に感知器回線の設定を間違えた場合

※2 ●「感知器回線の設定」の操作のあと、感知器回線設定／取消スイッチを再度、押してください。
その感知器回線の設定は取り消されます。

設定方法7

（非蓄積とする感知器回線設定）

設定例

●感知器回線 ⑥⑦を非蓄積回線と設定する場合

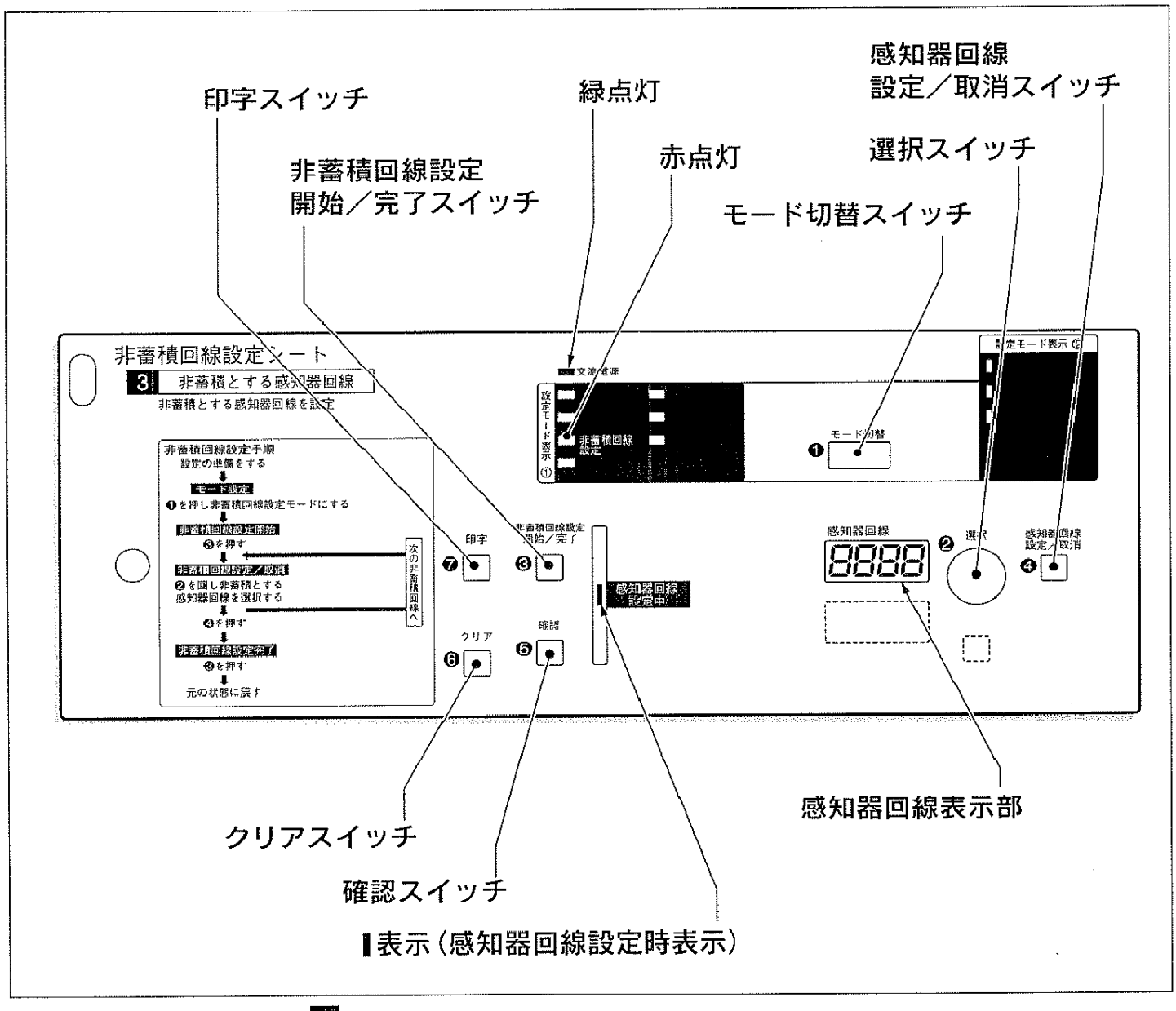
操作手順

1 設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

↓

2 下記の手順で操作する。

↓



↓

次ページに続く

操作方法

感知器回線⑥⑦を非蓄積回線に設定

項目	操作方法	表示	感知器回線表示部	地区灯の表示
❶ モード切替	1. モード切替スイッチを押し、非蓄積回線設定に合わす。	感知器回線設定中	(注1) 感知器回線 non 点灯	——
非蓄積回線設定開始／完了 ❸	2. 非蓄積回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線設定中	感知器回線	——
❷ 選択	3. 選択スイッチをまわし、感知器回線⑥を選択する。	感知器回線設定中	感知器回線 6 点滅	6回線めの地区灯が点滅する。
感知器回線設定／取消 ❹	4. 感知器回線設定／取消スイッチを押す。	感知器回線設定中	感知器回線 6 点灯	6回線めの地区灯点滅が上記より遅くなる。
❷ 選択	5. 選択スイッチをまわし、感知器回線⑦を選択する。	感知器回線設定中	感知器回線 7 点滅	7回線めの地区灯が点滅する。 このとき6回線めの地区灯も点滅しています。
感知器回線設定／取消 ❹	6. 感知器回線設定／取消スイッチを押す。	感知器回線設定中	感知器回線 7 点灯	7回線めの地区灯点滅が上記より遅くなる。 このとき6回線めの地区灯も点滅しています。
非蓄積回線設定開始／完了 ❸	7. 非蓄積回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線設定中	感知器回線	——

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、non 表示がでます。

3 設定後の状態にする（4ページ参照）

設定方法8

（防排煙用感知器回線設定）

防排煙用感知器回線設定シート

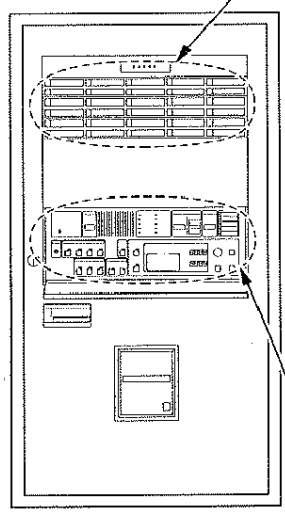
防排煙用感知器回線設定

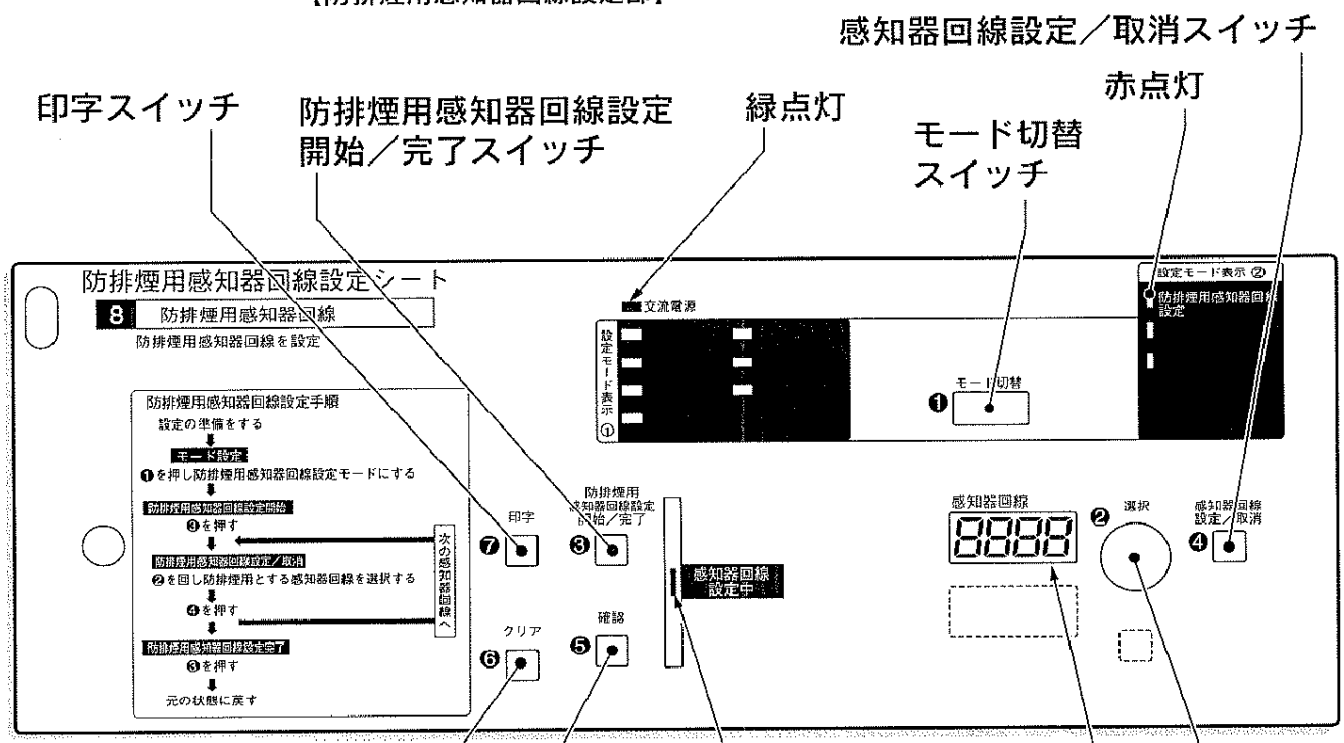
●防排煙連動用感知器を接続する感知器回線の設定に使います。
（防排煙連動用感知器の感知器回線を設定）

注 ●自火報・防排煙兼用回線を防排煙として使用する回線は、必ず防排煙用感知器回線設定を行ってください。
設定しないと防排煙連動用感知器の作動で拡大警報動作をします。拡大警報動作については取扱説明書13・14ページを参照してください。

注 ●防排煙用感知器回線に設定すると、発報時は下記動作になります。

1. 火災代表移信出力をしない。
2. 副受信機音響出力をしない。
3. 非常放送火災確認移信出力をしない。
4. 音声警報は火災第1報めのメッセージに固定されます。
5. 地区音響は、逐次鳴動動作および拡大警報動作をしない。





設定方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	感知器回線表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、防排煙用感知器回線設定に合わす。	感知器回線設定中	(注)1) 感知器回線 点灯 non	——
防排煙用感知器回線の設定開始	1. 防排煙用感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線設定中	感知器回線	——
※1 感知器回線の設定	連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、感知器回線を選択する。	感知器回線設定中	感知器回線 点滅 16	該当の感知器回線の地区灯が速く点滅する。
	※2 2. 感知器回線設定／取消スイッチを押す。	感知器回線設定中	感知器回線 点灯 16	地区灯の点滅が上記より遅くなる。
防排煙用感知器回線の設定完了	1. 防排煙用感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線設定中	感知器回線	——

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、non 表示がでます。

設定後の状態にする（4ページ参照）

※1 ●複数の防排煙用感知器回線を設定するには、「感知器回線の設定」の操作を繰り返します。

■操作中に感知器回線の設定を間違えた場合

※2 ●「感知器回線の設定」の操作2のあと、感知器回線設定／取消スイッチを再度、押してください。
その感知器回線の設定は取り消されます。

設定方法8

（防排煙用感知器回線設定）

確認方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	感知器回線表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、防排煙用感知器回線設定に合わす。	感知器回線設定中	(注)1) 感知器回線	――
防排煙用感知器回線の設定開始	2. 確認スイッチを押す。	感知器回線設定中	感知器回線	登録済みの感知器回線の地区灯が点滅する。

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、n̄ōn 表示がでます。

設定後の状態にする（4ページ参照）

■プリンター印字で確認する場合

「モード設定」の操作のあと、印字スイッチを押してください。
「防排煙用感知器回線設定」の内容が一括で印字されます。

▽連動用感知器回線設定
　連動用感知器回線―感　16回線
　連動用感知器回線―感　17回線
　連動用感知器回線―感　18回線
　連動用感知器回線―感　19回線

(注) ●設定操作中は、それまで設定した内容がプリンター印字されますが、テーブル設定スイッチを「定位」側にし、「テーブル設定を終了します。」と音声が鳴るまで設定データは書き変わりません。

●防排煙用感知器回線として、感知器回線⑯⑰⑱⑲が設定されていることを示します。

変更方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	感知器回線表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、防排煙用感知器回線設定に合わす。	感知器回線設定中	(注1) 感知器回線	――
防排煙用感知器回線の設定開始	1. 防排煙用感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線設定中	感知器回線	登録済みの感知器回線の地区灯が点滅する。
防排煙用感知器回線の消去	1. クリアスイッチスイッチを押す。	感知器回線設定中	感知器回線	点滅していた地区灯が消灯する。
※1 感知器回線の設定	連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、感知器回線を選択する。	感知器回線設定中	感知器回線 16 点滅	該当の感知器回線の地区灯が速く点滅する。
	※2 2. 感知器回線設定／取消スイッチを押す。	感知器回線設定中	感知器回線 16 点灯	地区灯の点滅が上記より遅くなる。
防排煙用感知器回線の設定完了	1. 防排煙用感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線設定中	感知器回線	――

(注1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、nON 表示がでます。

設定後の状態にする（4ページ参照）

※1●防排煙用感知器回線の消去だけの場合は、「感知器回線の設定」の操作は不要です。
※1●複数の防排煙用感知器回線を設定するには、「感知器回線の設定」の操作を繰り返します。

■操作中に感知器回線の設定を間違えた場合

※2●「感知器回線の設定」の操作2のあと、感知器回線設定／取消スイッチを再度、押してください。
その感知器回線の設定は取り消されます。

設定方法8

（防排煙用感知器回線設定）

設定例

●感知器回線⑯⑰を防排煙用感知器回線と設定する場合

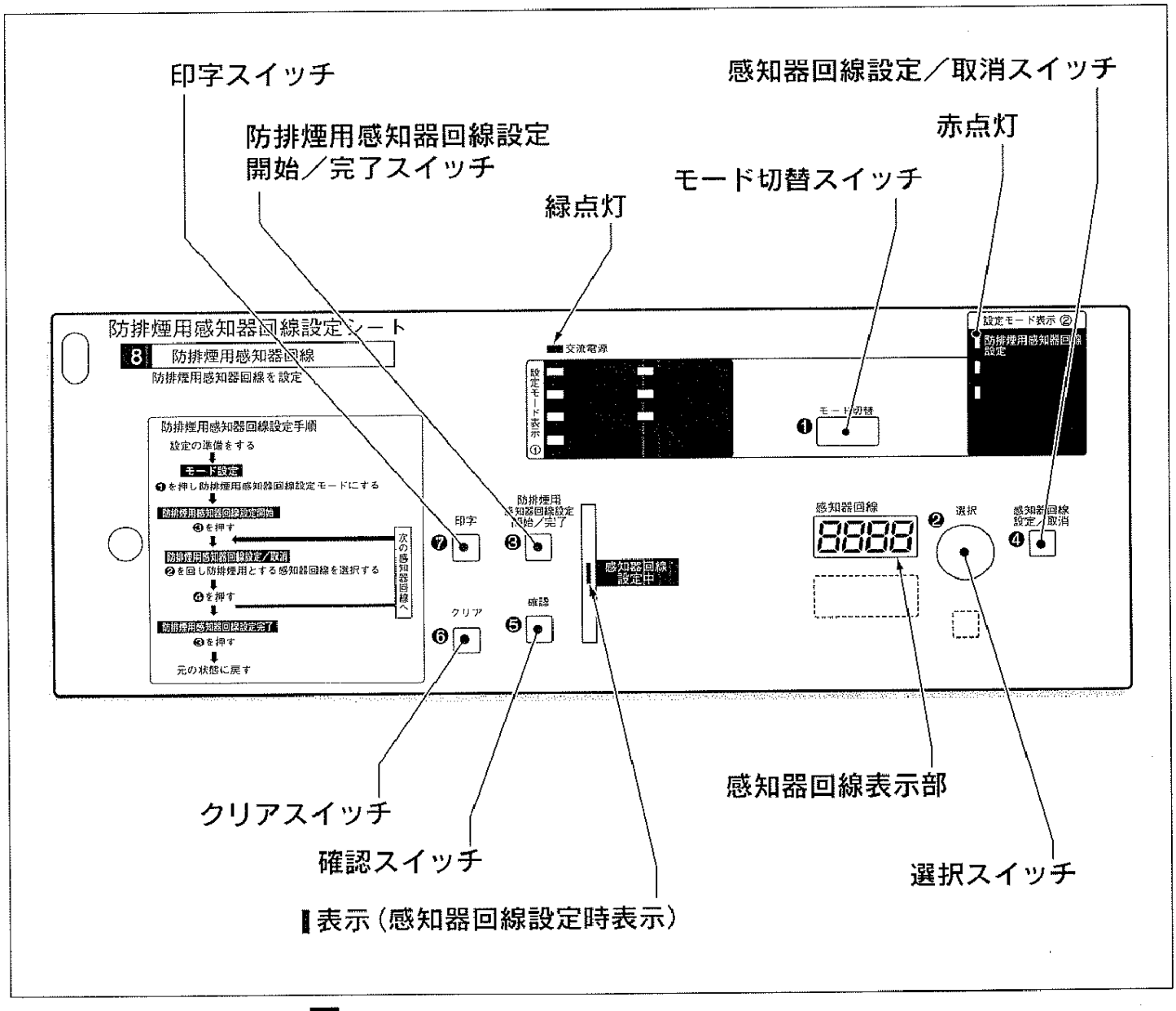
操作手順

1 設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

↓

2 下記の手順で操作する。

↓



↓

次ページに続く

操作方法

	各部	操作方法	表示	感知器回線表示部	地区灯の表示
	❶ モード切替	1. モード切替スイッチを押し、防排煙用感知器回線設定に合わす。	感知器回線選択中	(注)1) 感知器回線 点灯 non	――
感知器回線⑯を防排煙用感知器回線に設定	防排煙用感知器回線設定開始／完了 ❸	2. 防排煙用感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線選択中	感知器回線	――
	❷ 選択	3. 選択スイッチをまわし、感知器回線⑯を選択する。	感知器回線選択中	感知器回線 点滅 16	16回線めの地区灯が速く点滅する。
	感知器回線設定／取消 ❹	4. 感知器回線設定／取消スイッチを押す。	感知器回線選択中	感知器回線 点灯 16	16回線めの地区灯の点滅が上記より遅くなる。
感知器回線⑰を防排煙用感知器回線に設定	❷ 選択	5. 選択スイッチをまわし、感知器回線⑰を選択する。	感知器回線選択中	感知器回線 点滅 17	17回線めの地区灯が速く点滅する。 このとき16回線めの地区灯も点滅しています。
	感知器回線設定／取消 ❹	6. 感知器回線設定／取消スイッチを押す。	感知器回線選択中	感知器回線 点灯 17	17回線めの地区灯の点滅が上記より遅くなる。 このとき16回線めの地区灯も点滅しています。
	防排煙用感知器回線設定開始／完了 ❸	7. 防排煙用感知器回線設定開始／完了スイッチを押す。	感知器回線選択中	感知器回線	――

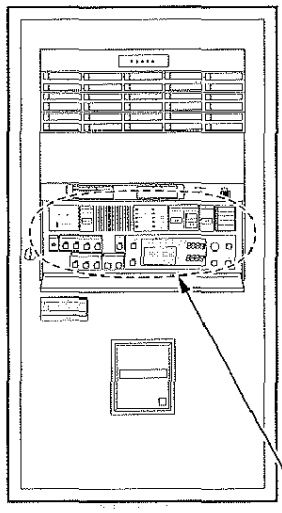
(注)1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、non 表示がでます。

3 設定後の状態にする (4ページ参照)

設定方法9

（部屋番号→感知器アドレス設定）

※部屋番号→感知器アドレス設定については、BVR210□□2KH（□□は回線）の場合のみ設定できます。
BVR210□□KH（□□は回線）の場合は、設定できません。



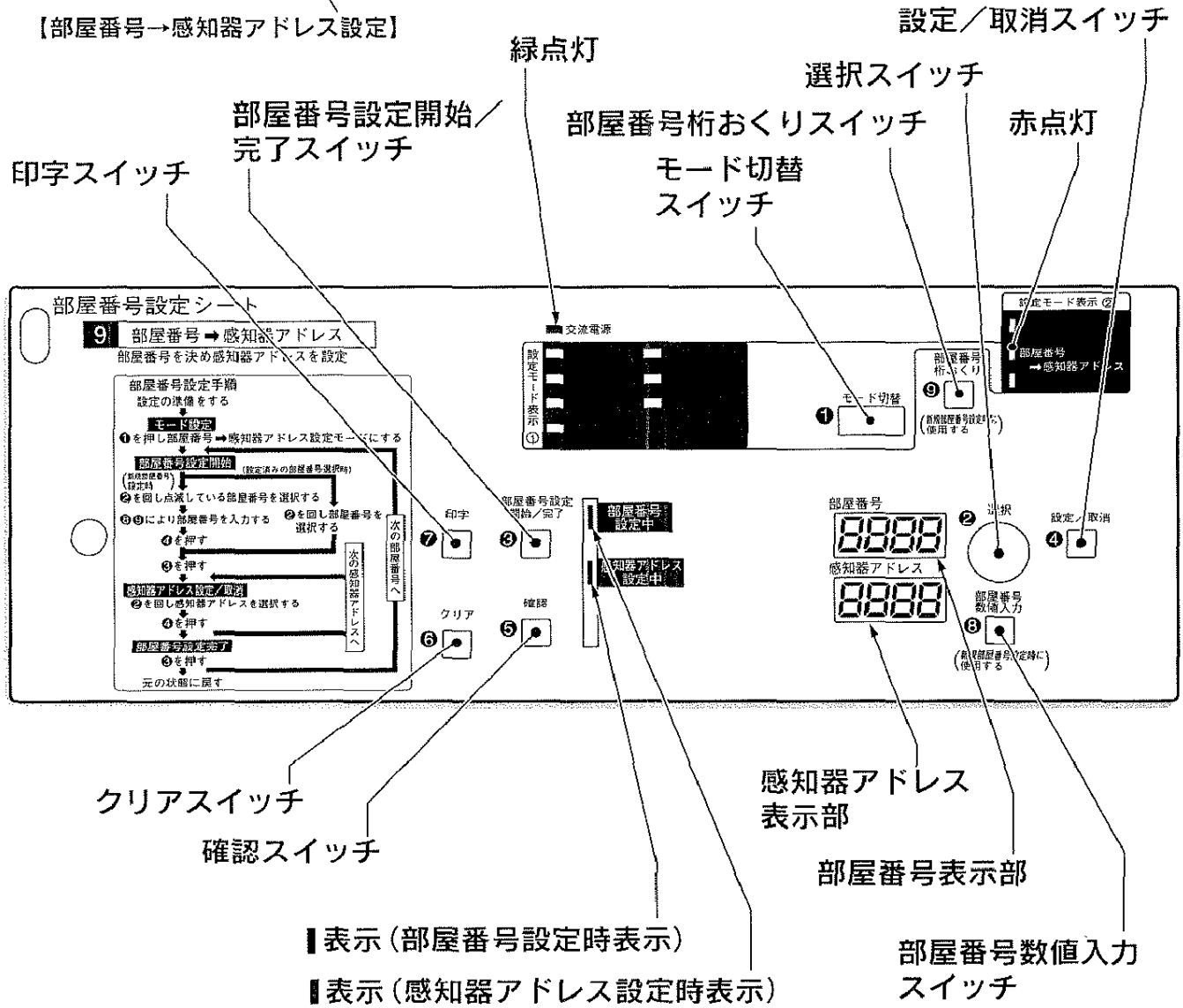
【部屋番号→感知器アドレス設定】

部屋番号設定シート

部屋番号→感知器アドレス設定

●アドレス感知器の発報信号を、どの部屋番号として表示させるのかの設定に使います。
（部屋番号を決め、感知器アドレスを設定）

注 ●あらかじめ感知器アドレスが、そのまま部屋番号となる対応が初期設定されています。
（例：感知器アドレス「1」発報→部屋番号「－001」表示）
ただし、「部屋番号設定」を行うと初期設定の内容はすべて消去されます。



設定方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	部屋番号表示部	感知器アドレス表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、部屋番号→感知器アドレス設定に合わす。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	(注)1) 部屋番号 nOn 点灯	感知器アドレス	—
部屋番号の設定開始	1. 選択スイッチをまわし、点滅している部屋番号を選択する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	(注)2) 部屋番号 0000 点滅	感知器アドレス	—
	2. 部屋番号数値入力スイッチを押し、部屋番号1桁めを設定する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号1桁めが点滅する。 (注)3) 部屋番号 0001 点灯 点滅	感知器アドレス	—
	3. 部屋番号桁おくりスイッチを押し、部屋番号2桁めを選択し、部屋番号数値入力スイッチを押し、部屋番号2桁めを設定する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号2桁めが点滅する。 (注)3) 部屋番号 0021 点滅 点灯	感知器アドレス	—
	4. 部屋番号桁おくりスイッチを押し、部屋番号3桁めを選択し、部屋番号数値入力スイッチを押し、部屋番号3桁めを設定する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号3桁めが点滅する。 (注)3) 部屋番号 0121 点滅 点灯	感知器アドレス	—
	5. 部屋番号桁おくりスイッチを押し、部屋番号4桁めを選択し、部屋番号数値入力スイッチを押し、部屋番号4桁めを設定する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号4桁めが点滅する。 (注)3) 部屋番号 1121 点滅 点灯	感知器アドレス	—
	※2 6. 設定／取消スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 1121 点灯	感知器アドレス	—
	7. 部屋番号設定開始／完了スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 1121 点灯	感知器アドレス	—

連続して行う場合

次ページに続く

設定方法9

（部屋番号→感知器アドレス設定）

項　目	操作方法	表　示	部屋番号表示部	感知器アドレス表示部	地区灯の表示
※1 感知器アドレスの設定	連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、感知器アドレスを選択する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	(注)1) 部屋番号 1121 点灯	(注)4) 感知器アドレス ⁻003 点滅	―
	※3 2. 設定／取消スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 1121 点灯	感知器アドレス ⁻003 点灯	―
部屋番号の設定開始	1. 部屋番号設定開始／完了スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 1122 点滅 部屋番号の設定開始で表示された次の数字を点滅表示する。	感知器アドレス	―

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、non表示がでます。

2) 部屋番号の表示について

⇄ 1 12 ⇄ 1122 ⇄ 1123
（空白）　（点灯）　（点滅）

（空白）…先頭を示します。
（点灯）…すでに設定済みの部屋番号があれば、優先して点灯表示します。
（点滅）…まだ設定されていない部屋番号を1つだけ点滅表示します。

3) 部屋番号数値入力スイッチ操作時の表示について

（空白）→ 0 → 1 → 2 → 3 → … → 9 → b → P → –

4) 感知器アドレスの表示について

⇄ ⁻005 ⇄ ⁻006 ← ⁻001 ⇄ … ⇄ ⁻004 ⇄ ⁻007 ⇄ … ⇄ ⁻255
（空白）　（点灯）　（点滅）

（空白）…先頭を示します。
（点灯）…すでに設定済みの部屋番号があれば、優先して点灯表示します。
（点滅）…まだ設定されていないアドレスを点滅表示します。

設定後の状態にする（4ページ参照）

●複数の部屋番号を設定するには、「部屋番号の設定開始」「感知器アドレスの設定」「部屋番号の設定完了」の操作を繰り返します。

※1 ●1つの部屋番号に対して複数の感知器アドレスを設定するには、「感知器アドレスの設定」の操作を繰り返します。

■操作中に部屋番号の設定を間違えた場合

※2 ●「部屋番号の設定開始」の操作6のあと、設定／取消スイッチを再度、押してください。
その部屋番号の設定は取り消されます。

■操作中に感知器アドレスの設定を間違えた場合

※3 ●「感知器アドレスの設定」の操作2のあと、設定／取消スイッチを再度、押してください。
その感知器アドレスの設定は取り消されます。

確認方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	部屋番号表示部	感知器アドレス表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、部屋番号→感知器アドレス設定に合わす。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	(注)1) 部屋番号	感知器アドレス	―
※1 部屋番号の確認	連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、確認したい部屋番号を選択する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	(注)2) 部屋番号 1121 点灯	感知器アドレス	―
	2. 確認スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 1121 点灯	(注)3) 感知器アドレス 003 点灯	―

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、non 表示がでます。

2) 部屋番号の表示について

⇄ 1121 ⇄ 1122 ⇄ 1123

(空白)　(点灯)　(点滅)

（空白）…先頭を示します。
（点灯）…すでに設定済みの部屋番号があれば、優先して点灯表示します。
（点滅）…まだ設定されていない部屋番号を1つだけ点滅表示します。

3) 感知器アドレスの確認表示について

●なにも設定されていないときは、空白となります。
●複数アドレス設定されているときは、設定されているアドレスを約5秒間隔で順番に表示します。

設定後の状態にする（4ページ参照）

※1 ●続けて確認するには、「部屋番号の確認」の操作を繰り返します。

■プリンター印字で確認する場合

「モード設定」の操作のあと、印字スイッチを押してください。「部屋番号設定」の内容が一括で印字されます。

▽部屋番号―感知器番号設定
1121号室―　001回線
1121号室―　002回線
1121号室―　003回線
1122号室―　004回線
1123号室―　005回線
1123号室―　006回線

●部屋番号「1121」には、感知器アドレス「1」「2」「3」が設定されていることを示します。

●アドレス4の感知器が発報すれば、部屋番号「1122」として表示されます。

(注) ●設定操作中は、それまで設定した内容がプリンター印字されますが、テーブル設定スイッチを「定位」側にし、「テーブル設定を終了します。」と音声が鳴るまで設定データは書き変わりません。

設定方法9

（部屋番号→感知器アドレス設定）

変更方法

設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

項　目	操作方法	表　示	部屋番号表示部	感知器アドレス表示部	地区灯の表示
モード設定	1. モード切替スイッチを押し、部屋番号→感知器アドレス設定に合わす。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	注1) 部屋番号	感知器アドレス	――
部屋番号の設定開始（方法1）	すでに設定済みの部屋番号を選択する場合 1. 選択スイッチをまわし、部屋番号を選択する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	注2) 部屋番号 1121 点灯	感知器アドレス	――
	2. 部屋番号設定開始／完了スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 1121 点灯	感知器アドレス	――
部屋番号の設定開始（方法2）	すでに設定済みの部屋番号を変更する場合 1. 選択スイッチをまわし、部屋番号を選択する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	注2) 部屋番号 1121 点灯	感知器アドレス	――
	複数の桁の変更を行う場合 ※2 2. 部屋番号桁おくりスイッチを押し、変更する桁を選択する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	変更する桁が点滅する。 部屋番号 1121 点滅 点灯	感知器アドレス	――
	3. 部屋番号数値入力スイッチを押し、設定する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	変更する桁が点滅する。 注3) 部屋番号 1131 点滅 点灯	感知器アドレス	――
	4. 設定／取消スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 1131 点灯	感知器アドレス	――
	5. 部屋番号設定開始／完了スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 1131 点灯	感知器アドレス	――

連続して行う場合

次ページに続く

連続して行う場合

項　目	操作方法	▮表　示	部屋番号表示部	感知器アドレス表示部	地区灯の表示
部屋番号の設定開始（方法3）	新規に部屋番号を設定する場合 1. 選択スイッチをまわし、点滅している部屋番号を選択する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	(注:2) 部屋番号 1122 点滅	感知器アドレス	―
	複数の桁の変更を行う場合 2. 部屋番号桁おくりスイッチを押し、設定する桁を選択する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	設定する桁が点滅する。 部屋番号 1122 点滅 点灯	感知器アドレス	―
	3. 部屋番号数値入力スイッチを押し、設定する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	設定する桁が点滅する。 (注:3) 部屋番号 1132 点滅 点灯	感知器アドレス	―
	※3 4. 設定／取消スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 1132 点灯	感知器アドレス	―
	5. 部屋番号設定開始／完了スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 1132 点灯	感知器アドレス	―
感知器アドレスの消去	1. クリアスイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 1121 点滅 これ以降の部屋番号表示例は「方法1」で設定開始した場合の表示例を示す。	感知器アドレス	―
※1 感知器アドレスの設定	連続して行う場合 1. 選択スイッチをまわし、感知器アドレスを選択する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 1121 点灯	(注:4) 感知器アドレス 003 点滅	―
	※4 2. 設定／取消スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 1121 点灯	感知器アドレス 003 点灯	―
部屋番号の設定完了	1. 部屋番号設定開始／完了スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 1122 点滅 部屋番号の設定開始で表示された次の数字を点滅表示する。	感知器アドレス	―

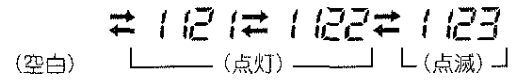
次ページに続く

設定方法9

（部屋番号→感知器アドレス設定）

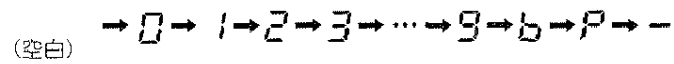
注 1）なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、non 表示がでます。

2）部屋番号の表示について

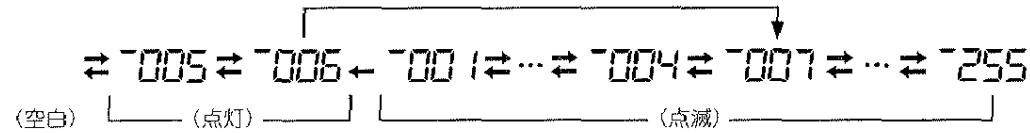


（空白）…先頭を示します。
（点灯）…すでに設定済みの部屋番号があれば、優先して点灯表示します。
（点滅）…まだ設定されていない部屋番号を1つだけ点滅表示します。

3）部屋番号数値入力スイッチ操作時の表示について



4）感知器アドレスの表示について



（空白）…先頭を示します。
（点灯）…すでに設定済みの部屋番号があれば、優先して点灯表示します。
（点滅）…まだ設定されていないアドレスを点滅表示します。

設定後の状態にする（4ページ参照）

●複数の部屋番号を設定するには、「部屋番号の設定開始」「感知器アドレスの設定」「部屋番号の設定完了」の操作を繰り返します。

※1 ●感知器アドレスの消去だけの場合は、「感知器アドレスの設定」の操作は不要です。

※1 ●1つの部屋番号に対して複数の感知器アドレスを設定するには、「感知器アドレスの設定」の操作を繰り返します。

■操作中に部屋番号の設定を間違えた場合

※2 ●「部屋番号の設定開始（方法2）」の場合、再度、操作2・操作3を繰り返して、正しい部屋番号を設定してください。

※3 ●「部屋番号の設定開始（方法3）」の場合、操作4のあと、設定／取消スイッチを再度、押してください。
その部屋番号の設定は取り消されます。

■操作中に感知器アドレスの設定を間違えた場合

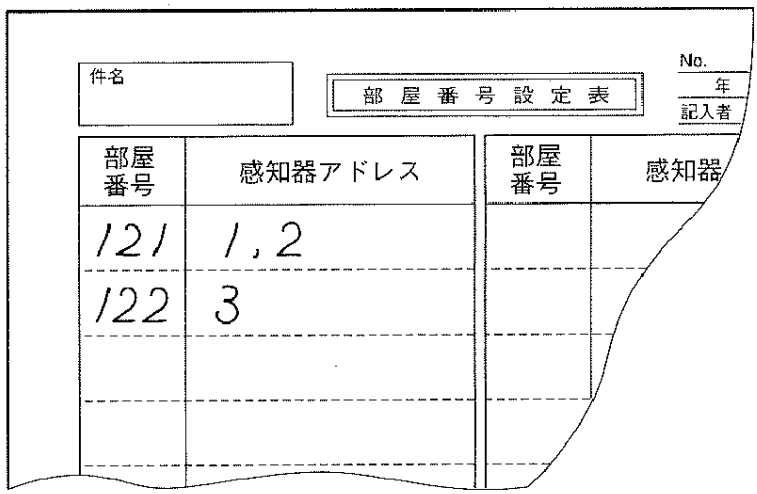
※4 ●「感知器アドレスの設定」の操作2のあと、設定／取消スイッチを再度、押してください。
その感知器アドレスの設定は取り消されます。

設定例

●感知器アドレス「1」「2」の発報信号を部屋番号「121」として表示させ、感知器アドレス「3」の発報信号を部屋番号「122」として表示させる場合

操作手順

1 添付の感知器アドレス設定表に必要事項を記載する。



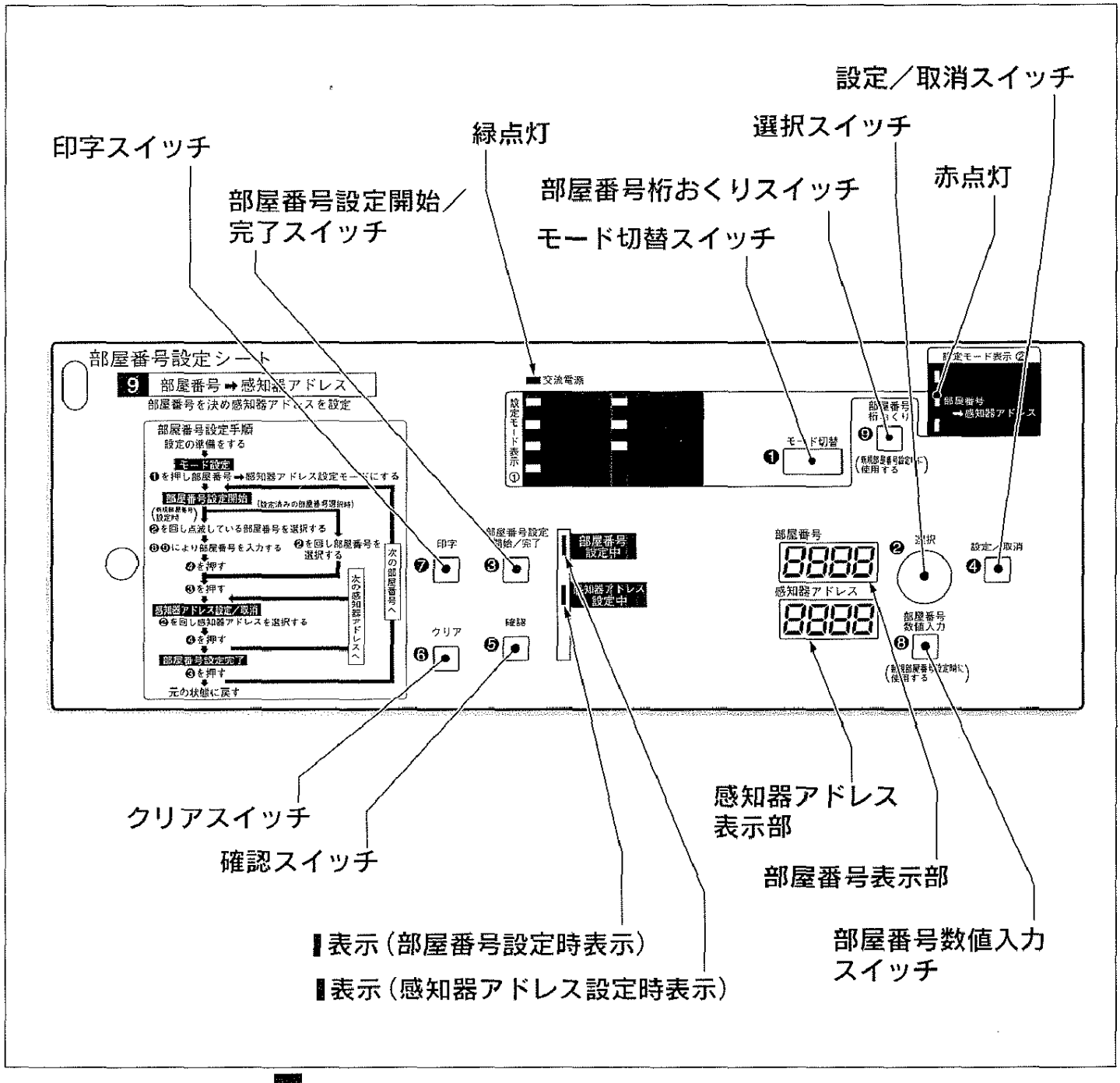
2 設定まえの準備をする（3・4ページ参照）

次ページに続く

設定方法9

（部屋番号→感知器アドレス設定）

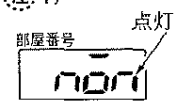
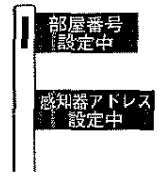
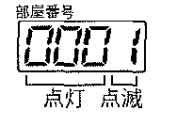
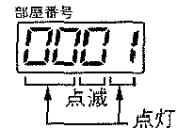
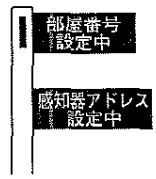
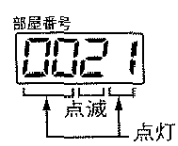
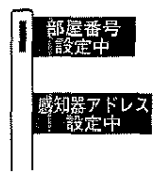
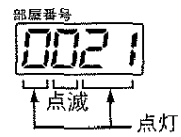
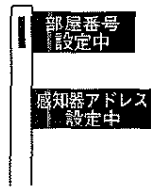
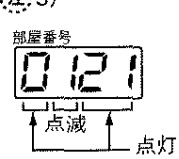
3 下記の手順で操作する。



次ページに続く

操作方法

部屋番号「121」の設定

	各　部	操作方法	表　示	部屋番号表示部	感知器アドレス表示部	地区灯の表示
	❶ モード切替	1. モード切替スイッチを押し、部屋番号→感知器アドレス設定に合わす。		(注)1) 	感知器アドレス	——
	❷ 選択	2. 選択スイッチをまわし、点滅している部屋番号を選択する。		(注)2) 	感知器アドレス	——
	❽ 部屋番号数値入力	3. 部屋番号数値入力スイッチを押し、部屋番号1桁めに「1」を設定する。		部屋番号1桁めが点滅する。 (注)3) 	感知器アドレス	——
	❾ 部屋番号桁おくり	4. 部屋番号桁おくりスイッチを押し、部屋番号2桁めを選択する。		部屋番号2桁めが点滅する。 	感知器アドレス	——
	❽ 部屋番号数値入力	5. 部屋番号数値入力スイッチを押し、部屋番号2桁めに「2」を設定する。		部屋番号2桁めが点滅する。 (注)3) 	感知器アドレス	——
	❾ 部屋番号桁おくり	6. 部屋番号桁おくりスイッチを押し、部屋番号3桁めを選択する。		部屋番号3桁めが点滅する。 	感知器アドレス	——
	❽ 部屋番号数値入力	7. 部屋番号数値入力スイッチを押し、部屋番号3桁めに「1」を設定する。		部屋番号3桁めが点滅する。 (注)3) 	感知器アドレス	——

次ページに続く

設定方法9

（部屋番号→感知器アドレス設定）

	各　部	操作方法	表　示	部屋番号表示部	感知器アドレス表示部	地区灯の表示
部屋番号「121」の設定	部屋番号桁おくり ⑨	8. 部屋番号桁おくりスイッチを押し、部屋番号4桁めを選択する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号4桁めが点滅する。 部屋番号 0121 点滅　点灯	感知器アドレス	—
	部屋番号数値入力 ⑧	9. 部屋番号数値入力スイッチを押し、部屋番号4桁めに「空白」を設定する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	(注3) 部屋番号 121 点灯	感知器アドレス	—
	設定／取消 ④	10. 設定／取消スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 121 点灯	感知器アドレス	—
	部屋番号設定開始／完了 ③	11. 部屋番号設定開始／完了スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 121 点灯	感知器アドレス	—
	② 選択	12. 選択スイッチをまわし、感知器アドレス「1」を選択する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 121 点灯	(注4) 感知器アドレス 001 点滅	—
	設定／取消 ④	13. 設定／取消スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 121 点灯	感知器アドレス 001 点灯	—
	② 選択	14. 選択スイッチをまわし、感知器アドレス「2」を選択する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 121 点灯	(注4) 感知器アドレス 002 点滅	—
	設定／取消 ④	15. 設定／取消スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 121 点灯	感知器アドレス 002 点灯	—
	部屋番号設定開始／完了 ③	16. 部屋番号設定開始／完了スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	部屋番号 122 点滅	感知器アドレス	—

次ページに続く

	各　部	操作方法	表　示	部屋番号表示部	感知器アドレス表示部	地区灯の表示
部屋番号「122」の設定	設定／取消 ❹	17.設定／取消スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	点灯 部屋番号 122	感知器アドレス	――
	部屋番号設定開始／完了 ❸	18.部屋番号設定開始／完了スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	点灯 部屋番号 122	感知器アドレス	――
	❷ 選択	19.選択スイッチをまわし、感知器アドレス「3」を選択する。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	点灯 部屋番号 122	(注)4) 点滅 感知器アドレス 003	――
	設定／取消 ❹	20.設定／取消スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	点灯 部屋番号 122	点灯 感知器アドレス 003	――
	部屋番号設定開始／完了 ❸	21.部屋番号設定開始／完了スイッチを押す。	部屋番号設定中 感知器アドレス設定中	点滅 部屋番号 123	感知器アドレス	――

(注) 1) なにも設定されていないとき、「モード設定」の操作時、non 表示がでます。

2) 部屋番号の表示について

⇄ 1 12 1⇄ 1 122⇄ 1 123

(空白)　(点灯)　(点滅)

(空白) …先頭を示します。
(点灯) …すでに設定済みの部屋番号があれば、優先して点灯表示します。
(点滅) …まだ設定されていない部屋番号を1つだけ点滅表示します。

3) 部屋番号数値入力スイッチ操作時の表示について

(空白) → 0 → 1 → 2 → 3 → … → 9 → b → P → –

4) 感知器アドレスの表示について

⇄ 005 ⇄ 006 ← 001 ⇄ … ⇄ 004 ⇄ 007 ⇄ … ⇄ 255

(空白)　(点灯)　(点滅)

(空白) …先頭を示します。
(点灯) …すでに設定済みの部屋番号があれば、優先して点灯表示します。
(点滅) …まだ設定されていないアドレスを点滅表示します。

設定後の状態にする (4ページ参照)

〔〒571-8686〕大阪府門真市門真1048　松下電工株式会社　TEL (06) 6908-1131 (大代表)
8A9 371 00001
1204-1ⓀⒶ